

第3章 評価および保全対策

目 次

1. 予測・評価	3- 1
1.1 動物	3- 1
1.2 植物	3-23
1.3 地下水	3-27
2. 環境保全措置の検討.....	3-28
2.1 環境保全措置の検討の状況.....	3-28
2.2 モニタリング調査.....	3-28
2.3 評価	3-28
3. 環境に配慮する事項.....	3-29
3.1 工事中	3-29
3.2 供用後	3-30
4. 環境モニタリング（監視）.....	3-31
4.1 調査の目的	3-31
4.2 動物・植物	3-31
4.3 地下水	3-35
4.4 調査結果の公表	3-36
4.5 環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応方針.....	3-36

1. 予測・評価

1.1 動物

1) 予測の手法

a) 予測の基本的な手法

重要な種および生息地への影響について、工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在により、生息地が消失・縮小する区間およびその程度、重要な種等の移動経路が分断される区間およびその程度、地下水位の変化が生じる区間およびその程度を把握した。また、それらが重要な種の生息に及ぼす影響の程度を、科学的知見や類似事例を参考に定性的に予測した。

予測フローは、図 1-1 に示すとおりである。

b) 予測地域

予測地域は、調査地域と同様とした。

c) 予測対象

予測対象は、既存資料調査または聞き取り調査、または現地調査によって確認された重要な種のうち、予測地域内で生息する可能性のある種および生息地とした。

予測対象とした重要な種は、表 1-1 に示すとおりである。

d) 予測対象時期等

予測対象時期は、工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在に係る重要な種への影響が最大となるおそれのある時期とした。

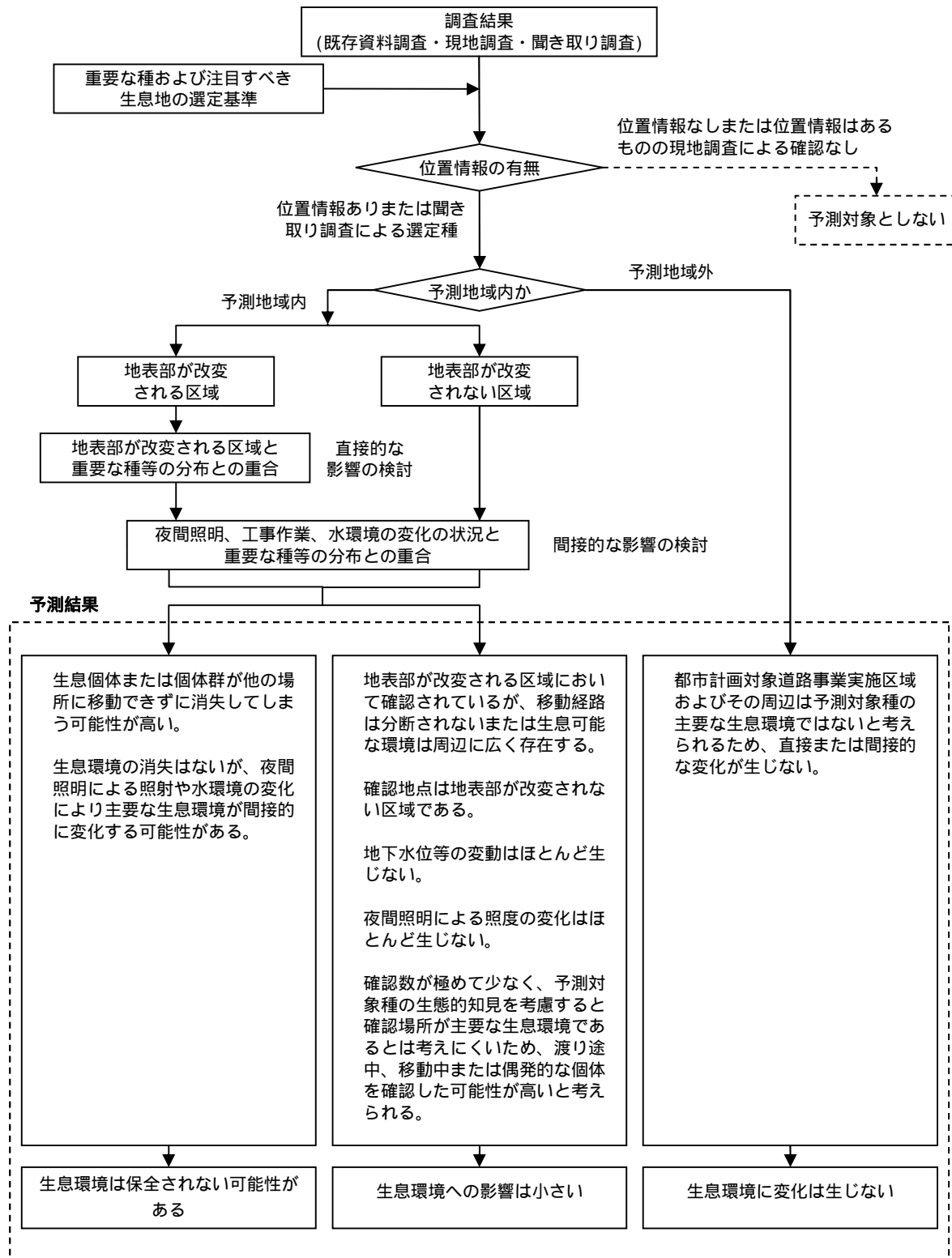


図 1-1 予測フロー（動物）

注）予測フローは予測の考え方をわかりやすく表現するために作成したものである。

表 1-1(1) 予測対象とする重要な種

区分	種名	確認状況				予測対象
		既存資料調査	既存資料の位置情報	現地調査	聞き取り調査	
哺乳類	哺乳-1					
鳥類	鳥-1					
	鳥-2					
	鳥-3					
	鳥-4					
	鳥-5					
	鳥-6					
	鳥-7					
	鳥-8					
	鳥-9					
	鳥-10					
	鳥-11					
	鳥-12					
	鳥-13					
	鳥-14					
	鳥-15					
	鳥-16					
	鳥-17					
	鳥-18					
	鳥-19					
	鳥-20					
	鳥-21					
	鳥-22					
	鳥-23					
	鳥-24					
	鳥-25					
	鳥-26					
	鳥-27					
	鳥-28					
	鳥-29					
	鳥-30					
	鳥-31					
	鳥-32					
	鳥-33					
	鳥-34					
	鳥-35					
	鳥-36					
	鳥-37					
	鳥-38					
	鳥-39					
	鳥-40					
	鳥-41					
	鳥-42					
	鳥-43					
	鳥-44					
	鳥-45					
爬虫類	爬-1					
	爬-2					
	爬-3					
	爬-4					

注) ・表中の確認状況における記号の意味は以下に示すとおりである。

○ : 予測地域内、△ : 位置情報なし、◇ : 聞き取り調査による選定種

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-1(2) 予測対象とする重要な種

区分	種名	確認状況				予測対象
		既存資料調査	既存資料の位置情報	現地調査	聞き取り調査	
両生類	両-1					
	両-2					
	両-3					
	両-4					
魚類	魚-1					
	魚-2					
	魚-3					
	魚-4					
昆虫類等 (クモ類)	虫-1					
昆虫類等 (昆虫類)	虫-2					
	虫-3					
	虫-4					
	虫-5					
	虫-6					
	虫-7					
	虫-8					
	虫-9					
	虫-10					
	虫-11					
	虫-12					
	虫-13					
	虫-14					
	虫-15					
	虫-16					
	虫-17					
	虫-18					
	虫-19					
	虫-20					
	虫-21					
	虫-22					
	虫-23					
	虫-24					
	虫-25					
	虫-26					
	底生動物	底-1				
底-2						
底-3						
底-4						
底-5						
底-6						
底-7						
底-8						

注)・表中の確認状況における記号の意味は以下に示すとおりである。

○：予測地域内、△：位置情報なし、◇：聞き取り調査による選定種

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

e) 予測結果

都市計画対象道路事業実施区域およびその周辺に生息する重要な種について、事業の実施による影響の種類およびその程度を予測した。予測結果の概要は、表 1-2(1)～(4)に示すとおりである。重要な種および注目すべき生息地の個別の予測結果については、表 1-3～表 1-38 に示すとおりである。

表 1-2(1) 重要な種の予測結果の概要 (1/4)

項目	種名	主要な生息環境	既存資料の位置情報なし	地表部が改変される区域	地表部が改変されない区域	水環境に特徴的な種	生息環境への影響
哺乳類	哺乳-1	河川水辺					生息環境への影響は小さい。
鳥類	鳥-1	海上・沿岸					生息環境への影響は小さい。
	鳥-2	河川水辺					生息環境への影響は小さい。
	鳥-3	湿地、水田					生息環境への影響は小さい。
	鳥-4	河川水辺					生息環境への影響は小さい。
	鳥-5	山麓、丘陵地の森林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-6	山地、丘陵地の森林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-7	落葉広葉樹林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-8	丘陵地や低山地、水田					生息環境への影響は小さい。
	鳥-9	ヨシ原					生息環境への影響は小さい。
	鳥-10	海岸、断崖					生息環境への影響は小さい。
	鳥-11	休耕田、水田					生息環境への影響は小さい。
	鳥-12	河川水辺					生息環境への影響は小さい。
	鳥-13	河川水辺、砂礫地					生息環境への影響は小さい。
	鳥-14	干潟、河川水辺					生息環境への影響は小さい。
	鳥-15	河川、水田、休耕田					生息環境への影響は小さい。
	鳥-16	河川、水田、休耕田					生息環境への影響は小さい。
	鳥-17	河川、湖沼の草地					生息環境への影響は小さい。
	鳥-18	河川水辺、休耕田					生息環境への影響は小さい。
	鳥-19	河川水辺、水田、水路					生息環境への影響は小さい。
	鳥-20	丘陵地、山地の森林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-21	平地					生息環境への影響は小さい。
	鳥-22	農耕地、牧場、造成地					生息環境への影響は小さい。
	鳥-23	市街地					生息環境への影響は小さい。
	鳥-24	海岸沿いの地域					生息環境への影響は小さい。

注)・主要な生息環境は「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(平成 18 年 7 月 神奈川県立生命の星・地球博物館)を参考とした。

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-2(2) 重要な種の予測結果の概要 (2/4)

項目	種名	主要な生息環境	既存資料の位置情報なし	地表部が改変される区域	地表部が改変されない区域	水環境に特徴的な種	生息環境への影響
鳥類	鳥-25	川岸、湖沼、農耕地					生息環境への影響は小さい。
	鳥-26	河川水辺、農耕地					生息環境への影響は小さい。
	鳥-27	亜高山帯					生息環境への影響は小さい。
	鳥-28	農耕地					生息環境への影響は小さい。
	鳥-29	山地上部、亜高山帯					生息環境への影響は小さい。
	鳥-30	落葉広葉樹林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-31	雑木林、都市公園					生息環境への影響は小さい。
	鳥-32	落葉広葉樹林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-33	山地、丘陵地の暗い林内					生息環境への影響は小さい。
	鳥-34	河川湿地、ヨシ原					生息環境への影響は小さい。
	鳥-35	亜高山帯、針葉樹林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-36	丘陵地、山地の森林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-37	河原、水田周辺の草原					生息環境への影響は小さい。
	鳥-38	落葉広葉樹林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-39	山地、丘陵地の沢沿いの林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-40	山地、丘陵地の林					生息環境への影響は小さい。
	鳥-41	常緑広葉樹林					生息環境への影響は小さい。
鳥-43	山地、雑木林、草やぶ					生息環境への影響は小さい。	
鳥-44	丘陵地や低山の林					生息環境への影響は小さい。	
鳥-45	平野部、市街地					生息環境への影響は小さい。	
爬虫類	爬-1	石の下、石垣の隙間、土手の斜面等					生息環境への影響は小さい。
	爬-2	山地の林、平野部等					生息環境への影響は小さい。
	爬-3	農耕地					生息環境への影響は小さい。
両生類	両-1	雑木林の林床					生息環境への影響は小さい。
	両-2	湿地、水田					生息環境への影響は小さい。
	両-3	湿地、水田					生息環境への影響は小さい。
	両-4	水田、湧水、雑木林					生息環境への影響は小さい。

注)・主要な生息環境は「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(平成 18 年 7 月 神奈川県立生命の星・地球博物館)を参考とした。

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-2(3) 重要な種の予測結果の概要 (3/4)

項目	種名	主要な生息環境	既存資 料の位 置情報 なし	地表部 が改変 される 区域	地表部 が改変 されない区域	水環境 に特徴 的な種	生息環境への 影響
魚類	魚-2	水田、水路					生息環境への影響は小さい。
	魚-3	谷戸の源流域、湧水のある水路					生息環境への影響は小さい。
	魚-4	河川水辺、農耕地					生息環境への影響は小さい。
昆虫類 等	虫-1	林床の斜面、崖地					生息環境への影響は小さい。
	虫-2	平野部の池沼					生息環境への影響は小さい。
	虫-3	池沼					生息環境への影響は小さい。
	虫-4	水田、池沼					生息環境への影響は小さい。
	虫-5	河川上流域					生息環境への影響は小さい。
	虫-6	河川源流～上流域					生息環境への影響は小さい。
	虫-7	休耕地、湿田、池沼、湿地					生息環境への影響は小さい。
	虫-8	池沼					生息環境への影響は小さい。
	虫-9	ため池、湿地、水溜り					生息環境への影響は小さい。
	虫-10	草原					生息環境への影響は小さい。
	虫-11	草原、荒地					生息環境への影響は小さい。
	虫-12	水田、湿地					生息環境への影響は小さい。
	虫-13	チガヤなどの茂る土堤					生息環境への影響は小さい。
	虫-14	標高の低い山地、サクラ等バラ科植物に寄生					生息環境への影響は小さい。
	虫-15	池畔、湿地					生息環境への影響は小さい。
	虫-16	谷戸のアシ原の根際					生息環境への影響は小さい。
	虫-17	谷戸、湿地					生息環境への影響は小さい。
	虫-18	湿地のヨシ原					生息環境への影響は小さい。
	虫-19	河川敷のまばらに草の生えた砂礫地					生息環境への影響は小さい。
	虫-22	流れの穏やかな川や水田					生息環境への影響は小さい。
虫-24	河川敷の草地					生息環境への影響は小さい。	
虫-25	ハチ類に寄生					生息環境への影響は小さい。	
虫-26	平地～低山地、公園、街路樹					生息環境への影響は小さい。	

注)・主要な生息環境は「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(平成 18 年 7 月 神奈川県立生命の星・地球博物館)を参考とした。

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-2(4) 重要な種の予測結果の概要 (4/4)

項目	種名	主要な生息環境	既存資料の位置情報なし	地表部が改変される区域	地表部が改変されない区域	水環境に特徴的な種	生息環境への影響
底生動物	底-1	農業用水路					生息環境への影響は小さい。
	底-2	河川中流域の砂礫地					生息環境への影響は小さい。
	底-3	池沼					生息環境への影響は小さい。
	底-4	池沼					生息環境への影響は小さい。
	底-5	河川源流域～上流域					生息環境への影響は小さい。
	底-6	河川上流域					生息環境への影響は小さい。
	底-7	小川、溜池					生息環境への影響は小さい。
	底-8	流れの穏やかな川や水田					生息環境への影響は小さい。

注)・主要な生息環境は「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(平成 18 年 7 月 神奈川県立生命の星・地球博物館)を参考とした。

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

重要な哺乳類

川名緑地内における重要な哺乳類に関する予測結果は、表 1-3 に示すとおりである。

表 1-3 重要な哺乳類の予測結果（現地調査において確認されなかった予測対象種）

項目	内容
確認状況	既存資料調査において生息記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった予測対象種は哺乳-1 の 1 種である。
工事施工ヤードの設置、工事中道路等の設置による影響	哺乳-1 は、既存資料調査において生息確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった。 川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工事中道路等の設置により改変されない。したがって、哺乳-1 の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	哺乳-1 は、川名緑地の谷戸を主要な生息環境としていられる。 川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。したがって、哺乳-1 の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

重要な鳥類

川名緑地内における重要な鳥類に関する予測結果は、表 1-4 ~ 表 1-14 に示すとおりである。

表 1-4 重要な鳥類の予測結果（現地調査において確認されなかった予測対象種）

項目	内容
確認状況	聞き取り調査において生息確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった予測対象種は以下の 34 種である。 鳥-1、鳥-2、鳥-3、鳥-4、鳥-5、鳥-6、鳥-8、鳥-9、鳥-10、鳥-11、鳥-12、鳥-13、鳥-14、鳥-15、鳥-16、鳥-17、鳥-18、鳥-19、鳥-21、鳥-22、鳥-24、鳥-26、鳥-27、鳥-29、鳥-31、鳥-32、鳥-33、鳥-34、鳥-35、鳥-36、鳥-37、鳥-39、鳥-40、鳥-44
工事施工ヤードの設置、工事中道路等の設置による影響	鳥-1 をはじめとするこれらの種は聞き取り調査において生息確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった。 川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工事中道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事中道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、現地調査において確認されなかった予測対象種の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	鳥-1 をはじめとするこれらの種は聞き取り調査において生息確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった。 川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、現地調査において確認されなかった予測対象種の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-5 重要な鳥類の予測結果（鳥-7）

項目	内容
確認状況	密猟等によりその生息に悪影響が生じるおそれがあるため、猛禽類については詳細な確認状況は記載しないこととする。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	鳥-7が生息環境の一部として利用する地域は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 なお、鳥-7は、確認数が極めて少なく、生態的知見から確認場所が主要な生息環境であるとは考えにくいいため、渡り途中、移動中又は偶発的な個体を確認した可能性が高いと考えられる。 したがって、鳥-7の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	鳥-7が生息環境の一部として利用する地域は、道路（地下式）の存在により改変されない。 なお、鳥-7は、確認数が極めて少なく、生態的知見から確認場所が主要な生息環境であるとは考えにくいいため、渡り途中、移動中又は偶発的な個体を確認した可能性が高いと考えられる。 したがって、鳥-7の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-6 重要な鳥類の予測結果（鳥-20）

項目	内容
確認状況	9月に奥谷戸の斜面上部において1個体の鳴き声が任意調査中に確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	鳥-20は繁殖期には確認されておらず、移動中の個体を確認した可能性が高いと考えられる。 鳥-20が生息環境の一部として利用する地域は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 したがって、鳥-20の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	鳥-20は繁殖期には確認されておらず、移動中の個体を確認した可能性が高いと考えられる。 川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、鳥-20の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-7 重要な鳥類の予測結果（鳥-23）

項目	内容
確認状況	6月に水田や谷戸の上空において4個体がラインセンス法や定点観察法により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	鳥-23は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内の谷戸は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 したがって、鳥-23の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	鳥-23は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内の谷戸は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、鳥-23の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-8 重要な鳥類の予測結果（鳥-25）

項目	内容
確認状況	9月に奥谷戸の斜面上部で鳴き声が確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	鳥-25は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていと考えられる。 川名緑地内の谷戸は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、鳥-25の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	鳥-25は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていと考えられる。 川名緑地内の谷戸は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、鳥-25の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-9 重要な鳥類の予測結果（鳥-28）

項目	内容
確認状況	5月に谷戸の入り口付近に広がる高茎草地で1個体が確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	鳥-28は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていと考えられる。 川名緑地内の谷戸は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 したがって、鳥-28の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	鳥-28は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていと考えられる。 川名緑地内の谷戸は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、鳥-28の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-10 重要な鳥類の予測結果（鳥-30）

項目	内容
確認状況	1月に中谷戸の林縁付近で1個体が確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 鳥-30は確認数が極めて少なく、生態的知見から確認場所が主要な生息環境であるとは考えにくいいため、移動中の個体を確認した可能性が高いと考えられる。 したがって、鳥-30の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。 鳥-30は確認数が極めて少なく、生態的知見から確認場所が主要な生息環境であるとは考えにくいいため、移動中の個体を確認した可能性が高いと考えられる。 したがって、鳥-30の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-11 重要な鳥類の予測結果（鳥-38）

項目	内容
確認状況	5月に奥谷戸の斜面林で鳴き声が定点観察法により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 鳥-38は確認数が極めて少なく、生態的知見から確認場所が主要な生息環境であるとは考えにくいいため、移動中の個体を確認した可能性が高いと考えられる。 したがって、鳥-38の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。 鳥-38は確認数が極めて少なく、生態的知見から確認場所が主要な生息環境であるとは考えにくいいため、移動中の個体を確認した可能性が高いと考えられる。 したがって、鳥-38の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-12 重要な鳥類の予測結果（鳥-41）

項目	内容
確認状況	6月に樹林内において1個体が定点観察法により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 なお、鳥-41は確認数が極めて少なく、生態的知見から確認場所が主要な生息環境であるとは考えにくいいため、移動中の個体を確認した可能性が高いと考えられる。 したがって、鳥-41の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。 なお、鳥-41は確認数が極めて少なく、生態的知見から確認場所が主要な生息環境であるとは考えにくいいため、移動中の個体を確認した可能性が高いと考えられる。 したがって、鳥-41の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-13 重要な鳥類の予測結果（鳥-43）

項目	内容
確認状況	5月に中谷戸の高茎草地と奥谷戸の林縁で確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	鳥-43は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていいると考えられる。 川名緑地内の谷戸および林縁は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 したがって、鳥-43の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	鳥-43は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていいると考えられる。 川名緑地内の谷戸および林縁は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、鳥-43の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-14 重要な鳥類の予測結果（鳥-45）

項目	内容
確認状況	1月に中谷戸の斜面樹林で確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	鳥-45は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていいると考えられる。 川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 したがって、鳥-45の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	鳥-45は川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていいると考えられる。 川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、鳥-45の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

重要な爬虫類

川名緑地内における重要な爬虫類に関する予測結果は、表 1-15～表 1-17 に示すとおりである。

表 1-15 重要な爬虫類の予測結果（爬-1）

項目	内容
確認状況	平成 24 年 7 月に川名御霊神社の境内で幼体が 1 個体確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	爬-1 は、川名御霊神社の境内周辺を主要な生息環境としていと考えられます。 川名御霊神社の境内は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 したがって、爬-1 の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	爬-1 は、川名御霊神社の境内を主要な生息環境としていと考えられる。 川名御霊神社の境内は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、爬-1 の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-16 重要な爬虫類の予測結果（爬-2）

項目	内容
確認状況	平成 23 年 7 月に広葉樹林尾根において成体 1 個体が、直接観察法により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	爬-2 は、川名緑地内の広葉樹林を主要な生息環境としていと考えられる。 川名緑地内の広葉樹林は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 したがって、爬-2 の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	爬-2 は、川名緑地内の広葉樹林を主要な生息環境としていと考えられる。 川名緑地内の広葉樹林は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、爬-2 の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-17 重要な爬虫類の予測結果（爬-3）

項目	内容
確認状況	平成 23 年 6 月に中谷戸入り口の水路において幼体 1 個体が、直接観察法により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	爬-3 は、川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていと考えられる。 川名緑地の中谷戸周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。 したがって、爬-3 の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	爬-3 は、川名緑地内の谷戸を主要な生息環境としていと考えられる。 川名緑地内の谷戸は、道路（地下式）の存在により改変されない。 したがって、爬-3 の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

重要な両生類

川名緑地内における重要な両生類に関する予測結果は、表 1-18～表 1-21 に示すとおりである。

表 1-18 重要な両生類の予測結果（現地調査において確認されなかった予測対象種）

項目	内容
確認状況	聞き取り調査において生息確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった予測対象種は両-3 の 1 種である。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	両-3 は、現地調査では確認できなかったが、川名緑地内の水路やため池を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内の水路やため池は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、両-3 の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	両-3 は、現地調査では確認できなかったが、川名緑地内の水路やため池を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内の水路やため池は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、両-3 の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-19 重要な両生類の予測結果（両-1）

項目	内容
確認状況	中谷戸を中心に、平成 23 年 6 月に幼体・幼生 10 個体、平成 23 年 7 月に成体・幼体多数、平成 24 年 2～3 月に卵塊多数、平成 24 年 7 月に成体・幼体多数が直接観察法により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	両-1 は、川名緑地内の谷戸周辺を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内の谷戸周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、両-1 の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	両-1 は、川名緑地内の谷戸周辺を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内の谷戸周辺は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、両-1 の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-20 重要な両生類の予測結果（両-2）

項目	内容
確認状況	平成 23 年 7 月に水田周辺において少数の鳴き声、平成 24 年 7 月に谷戸内の湿性草地上陸間もない幼体が確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	両-2 は、川名緑地内の水田周辺を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内の水田周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、両-2 の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	両-2 は、川名緑地内の水田周辺を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内の水田周辺は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、両-2 の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-21 重要な両生類の予測結果（両-4）

項目	内容
確認状況	平成 25 年 3 月に谷戸内の人工的に作られた水たまりで卵塊が確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	両-4 は、川名緑地内の谷戸周辺を主要な生息環境としていると考えられる。川名緑地内の谷戸周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、両-4 の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	両-4 は、川名緑地内の谷戸周辺を主要な生息環境としていると考えられる。川名緑地内の谷戸周辺は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、両-4 の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

重要な魚類

川名緑地内における重要な魚類に関する予測結果は、表 1-22～表 1-24 に示すとおりである。

表 1-22 重要な魚類の予測結果（魚-2）

項目	内容
確認状況	7月に2個体がタモ網・サデ網により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	魚-2は川名緑地内に広がる水路を主要な生息環境とされていると考えられる。川名緑地内に広がる水路は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。したがって、魚-2の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	魚-2は川名緑地内に広がる水路を主要な生息環境とされていると考えられる。川名緑地内に広がる水路は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。したがって、魚-2の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-23 重要な魚類の予測結果（魚-3）

項目	内容
確認状況	6月に川名緑地内に広がる水路において幼魚48個体、7月に幼魚168個体がそれぞれタモ網、サデ網により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	魚-3は川名緑地内に広がる水路を主要な生息環境とされていると考えられる。川名緑地内に広がる水路は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。したがって、魚-3の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	魚-3は川名緑地内に広がる水路を主要な生息環境とされていると考えられる。川名緑地内に広がる水路は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。したがって、魚-3の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-24 重要な魚類の予測結果（魚-4）

項目	内容
確認状況	7月にため池近くの水路において1個体がタモ網・サデ網により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	魚-4は川名緑地内の水路を主要な生息環境とされていると考えられる。川名緑地内の水路は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。したがって、魚-4の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	魚-4は川名緑地内の水路を主要な生息環境とされていると考えられる。川名緑地内の水路は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。したがって、魚-4の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

重要な昆虫類等

川名緑地内における重要な昆虫類等に関する予測結果は、表 1-25～表 1-31 に示すとおりである。

表 1-25 重要な昆虫類等の予測結果（現地調査において確認されなかった予測対象種）

項目	内容
確認状況	聞き取り調査において生息確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった予測対象種は以下の 17 種である。 虫-1、虫-2、虫-3、虫-5、虫-6、虫-8、虫-9、虫-10、虫-11、虫-12、虫-13、虫-14、虫-15、虫-17、虫-24、虫-25、虫-26
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	虫-1 をはじめとする 17 種については、聞き取り調査において生息確認記録があるものの、現地調査では確認できなかったが、川名緑地周辺を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-1 をはじめとするこれらの種の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	虫-1 をはじめとする 17 種については、聞き取り調査において生息確認記録があるものの、現地調査では確認できなかったが、川名緑地周辺を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-1 をはじめとするこれらの種の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-26 重要な昆虫類等の予測結果（虫-3）

項目	内容
確認状況	6月にため池において1個体、7月に1個体が任意調査により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	虫-3は川名緑地内のため池を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内のため池は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-3の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	虫-3は川名緑地内のため池を主要な生息環境としていると考えられる。 川名緑地内のため池は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-3の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-27 重要な昆虫類等の予測結果（虫-7）

項目	内容
確認状況	6月にため池上流の谷戸において成虫2個体が任意調査により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	虫-7はため池上流の谷戸周辺を主要な生息環境とされていると考えられる。 ため池上流の谷戸周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-7の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	虫-7はため池上流の谷戸周辺を主要な生息環境とされていると考えられる。 ため池上流の谷戸周辺は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-7の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-28 重要な昆虫類等の予測結果（虫-16）

項目	内容
生息環境と生態	谷戸のアシ原の根際に生息。
県内分布	横浜市から湘南地域の平野部、大和市、箱根町
確認状況	7月に中谷戸において成体29個体がベイトトラップにより確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	虫-16は川名緑地内の中谷戸の低湿高茎草地周辺を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内の中谷戸の低湿高茎草地周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-16の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	ヒロムネナガゴムシは川名緑地内の中谷戸の低湿高茎草地周辺を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内の中谷戸の低湿高茎草地周辺は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-16の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-29 重要な昆虫類等の予測結果（虫-18）

項目	内容
確認状況	7月に中谷戸において成体1個体がベイトトラップにより確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	虫-18は川名緑地内の中谷戸の低湿高茎草地周辺を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内の中谷戸の低湿高茎草地周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-18の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	虫-18は川名緑地内の中谷戸の低湿高茎草地周辺を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内の中谷戸の低湿高茎草地周辺は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-18の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-30 重要な昆虫類等の予測結果（虫-19）

項目	内容
確認状況	7月に奥谷戸において成虫2個体をライトトラップにより確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	虫-19は川名緑地の奥谷戸周辺を主要な生息環境としていられる。 川名緑地の奥谷戸は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-19の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	虫-19は川名緑地の奥谷戸周辺を主要な生息環境としていられる。 川名緑地の奥谷戸は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-19の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-31 重要な昆虫類の予測結果（虫-22）

項目	内容
確認状況	6月に前谷戸において成虫1個体、7月に成虫90個体が任意調査により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	虫-22は川名緑地内のため池下流部や前谷戸周辺を主要な生息環境としていられる。 川名緑地内のため池下流部や前谷戸周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-22の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	虫-22は川名緑地内のため池下流部や前谷戸周辺を主要な生息環境としていられる。 川名緑地内のため池下流部や前谷戸周辺は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、虫-22の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

重要な底生動物

川名緑地内における重要な底生動物に関する予測結果は、表 1-32～表 1-38 に示すとおりである。

表 1-32 重要な底生動物の予測結果（現地調査において確認されなかった予測対象種）

項目	内容
確認状況	聞き取り調査において生息確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった予測対象種は以下の2種である。 底-1、底-2
工事施工ヤードの設置、工用道路等の設置による影響	底-1、底-2は、聞き取り調査において生息確認記録があるものの、現地調査では確認できなかったが、川名緑地周辺を主要な生息環境としていと考えられる。川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-1、底-2の生息環境への影響は小さいと予測される
道路（地下式）の存在による影響	底-1および底-2は、聞き取り調査において生息確認記録があるものの、現地調査では確認できなかったが、川名緑地周辺を主要な生息環境としていと考えられる。川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-1、底-2の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-33 重要な底生動物の予測結果（底-3）

項目	内容
確認状況	6月にため池において1個体、7月に1個体が直接観察および定性採集により確認された。
工事施工ヤードの設置、工用道路等の設置による影響	底-3は川名緑地内のため池を主要な生息環境としていと考えられる。川名緑地内のため池は、工事施工ヤードの設置や工用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-3の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	底-3は川名緑地内のため池を主要な生息環境としていと考えられる。川名緑地内のため池は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-3の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-34 重要な底生動物の予測結果（底-4）

項目	内容
確認状況	7月にため池において9個体が直接観察および定性採集により確認された。
工事施工ヤードの設置、工用道路等の設置による影響	底-4は川名緑地内のため池を主要な生息環境としていと考えられる。川名緑地内のため池は、工事施工ヤードの設置や工用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-4の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	底-4は川名緑地内のため池を主要な生息環境としていと考えられる。川名緑地内のため池は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-4の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-35 重要な底生動物の予測結果（底-5）

項目	内容
確認状況	6月に谷戸の水路において3個体、7月に2個体が直接観察および定性採集により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	底-5は川名緑地内の水路を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内の水路は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-5の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	底-5は川名緑地内の水路を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内の水路は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-5の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-36 重要な底生動物の予測結果（底-6）

項目	内容
確認状況	6月にため池や水路において20個体、7月に25個体が直接観察および定性採集により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	底-6は川名緑地内のため池や水路を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内のため池や水路は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-6の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	底-6は川名緑地内のため池や水路を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内のため池や水路は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-6の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-37 重要な底生動物の予測結果（底-7）

項目	内容
確認状況	7月にため池において2個体が直接観察および定性採集により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	底-7は川名緑地内のため池を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内のため池は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-7の生息環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	底-7は川名緑地内のため池を主要な生息環境とされていると考えられる。 川名緑地内のため池は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、底-7の生息環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-38 重要な底生動物の予測結果（底-8）

項目	内容
確認状況	1月に前谷戸、奥谷戸、ため池において幼虫8個体が定性採集および定量採集により確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	<p>底-8は川名緑地内のため池や手前・奥谷戸周辺を主要な生息環境としていると考えられる。</p> <p>川名緑地内のため池や手前・奥谷戸周辺は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。</p> <p>したがって、底-8の生息環境への影響は小さいと予測される。</p>
道路（地下式）の存在による影響	<p>底-8は川名緑地内のため池や手前・奥谷戸周辺を主要な生息環境としていると考えられる。</p> <p>川名緑地内のため池や手前・奥谷戸周辺は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。さらに、夜間照明による照度の変化についてはトンネル坑口から150m以上離れているためほとんど生じない。</p> <p>したがって、底-8の生息環境への影響は小さいと予測される。</p>

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

1.2 植物

1) 予測の手法

a) 予測の基本的な手法

植物の重要な種および群落について、工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在により、生育地が消失・縮小、質的变化をする区間およびその程度を把握した。また、それらが植物の重要な種の生育に及ぼす影響の程度を、科学的知見や類似事例を参考に定性的に予測した。

予測フローは、図 1-2 に示すとおりである。

b) 予測地域

予測地域は、調査地域と同様とした。

c) 予測対象

予測対象は、既存資料調査または聞き取り調査、または現地調査によって確認された重要な種のうち、予測地域内で生育する可能性のある種とした。

予測対象とした重要な種は、表 1-39 に示すとおりである。

d) 予測対象時期等

予測対象時期は、工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在に係る重要な種への影響が最大となるおそれのある時期とした。

表 1-39 予測対象とする重要な種

区分	種名	確認状況				予測対象
		既存資料調査	既存資料の位置情報	現地調査	聞き取り調査	
植物	植-1					
	植-2					
	植-3					
	植-4					
	植-5					
	植-6					
	植-7					
	植 8					
	植-9					
	植-10					

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

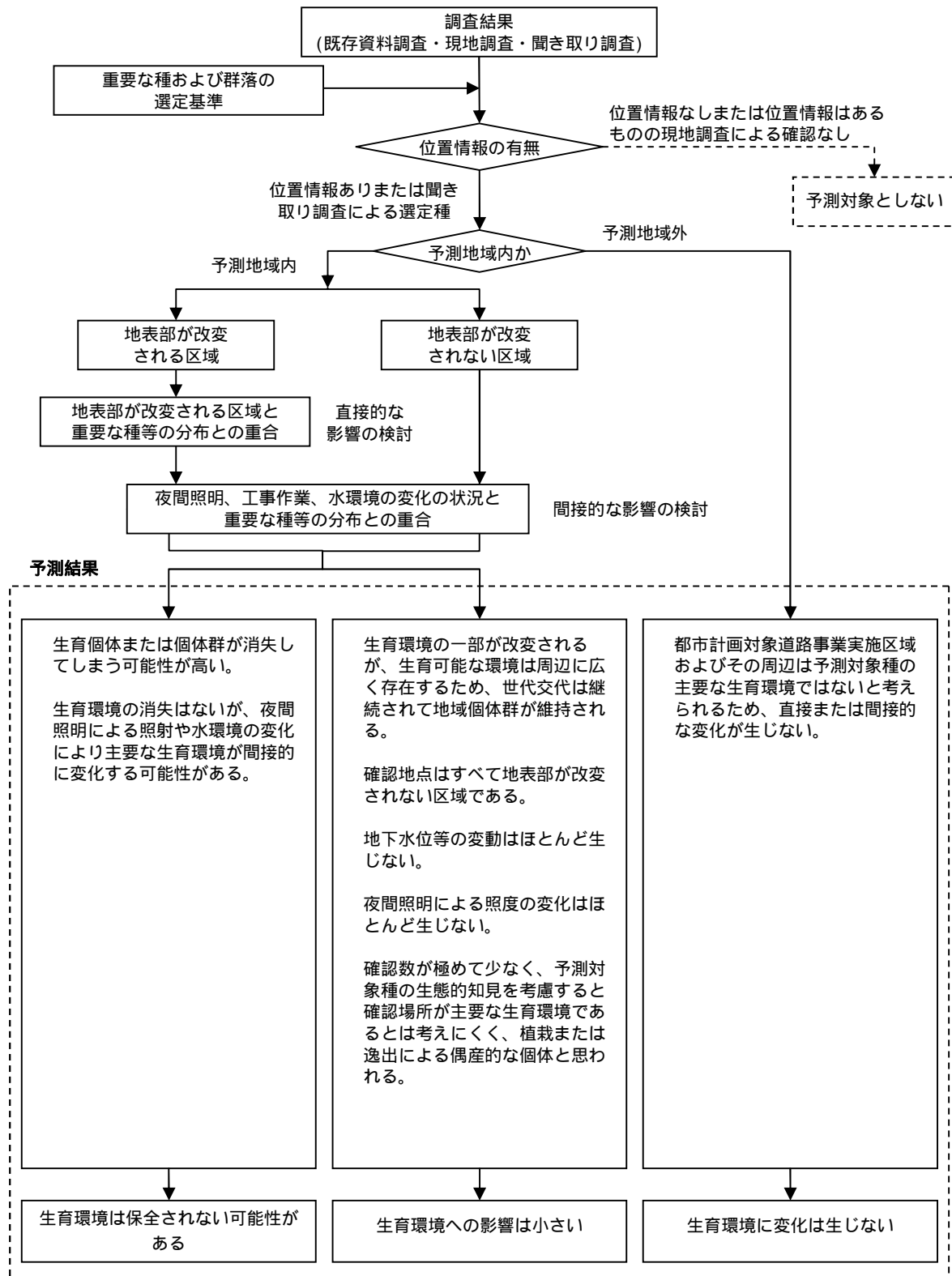


図 1-2 予測フロー（植物）

注）予測フローは予測の考え方をわかりやすく表現するために作成したものである。

e) 予測結果

川名緑地内に生育する重要な種について、事業の実施による影響の種類およびその程度を予測した。予測結果の概要は、表 1-40 に示すとおりである。重要な種の個別の予測結果については、表 1-41～表 1-42 に示すとおりである。

表 1-40 重要な種の予測結果の概要

項目	種名	主要な生育環境	既存資料の位置情報なし	地表部が改変される区域	地表部が改変されない区域	水環境に特徴的な種	生育環境への影響
維管束植物	植-1	水田や湿地					生息環境への影響は小さい。
	植-2	林縁や明るい二次林					生息環境への影響は小さい。
	植-3	川岸、溝のふち、田					生息環境への影響は小さい。
	植-4	丘陵から山地の草原や明るい林内					生息環境への影響は小さい。
	植-5	丘陵地から山地にかけての畑の畦、土手、疎林内					生息環境への影響は小さい。
	植-6	山野の樹林内					生息環境への影響は小さい。
	植-7	山地や丘陵の疎林内や林縁					生息環境への影響は小さい。
	植-8	沿海地の疎林内の砂地や松林の林床					生息環境への影響は小さい。
	植-9	常緑広葉樹林下					生息環境への影響は小さい。
	植-10	シイ・カシ帯～ブナ帯の沖積地～山地の樹陰や竹林					生息環境への影響は小さい。

注) ・主要な生育環境は「改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 植物 (維管束植物)」(平成 12 年 7 月 環境庁)、および「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(平成 18 年 7 月 神奈川県立生命の星・地球博物館)を参考とした。

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-41 重要な維管束植物の予測結果（現地調査において確認されなかった予測対象種）

項目	内容
確認状況	聞き取り調査において生育確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった予測対象種は以下の9種である。 植-1、植-2、植-4、植-5、植-6、植-7、植-8、植-9、植-10
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	植-1をはじめとする9種は聞き取り調査において生育確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった。 川名緑地は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されない。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、現地調査において確認されなかった予測対象種の生育環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	植-1をはじめとする9種は聞き取り調査において生育確認記録があるものの、その位置情報が示されておらず、現地調査において確認されなかった。 川名緑地は、道路（地下式）の存在により改変されない。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、現地調査において確認されなかった予測対象種の生育環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

表 1-42 重要な維管束植物の予測結果（植-3）

項目	内容
確認状況	6月に水田において約80個体が確認された。
工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置による影響	植-3は、川名緑地内の水田を生育環境としていられる。 川名緑地内の水田は、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置により改変されず、水田環境が保たれていれば、世代交代は継続されて地域個体群が維持されると考えられる。また、工事施工ヤードの設置や工事用道路等の設置による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、植-3の生育環境への影響は小さいと予測される。
道路（地下式）の存在による影響	植-3は、川名緑地内の水田を生育環境としていられる。 川名緑地内の水田は、道路（地下式）の存在により改変されず、水田環境が保たれていれば、世代交代は継続されて地域個体群が維持されると考えられる。また、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じない。 したがって、植-3の生育環境への影響は小さいと予測される。

注) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

1.3 地下水

1) 予測の手法

a) 予測の基本的な手法

工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在により、地下水への影響の程度を、科学的知見や類似事例を参考に定性的に予測した。

b) 予測地域

予測地域は、調査地域と同様とした。

c) 予測対象

予測対象は、既存資料調査または現地調査によって確認された地下水で、予測地域内の湿地等へ供給していると考えられる集水域の地下水とした。

d) 予測対象時期等

予測対象時期は、工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在に係る地下水への影響が最大となるおそれのある時期とした。

e) 予測結果

調査地域内の湿地等について、事業の実施による影響の種類およびその程度を予測した。

予測の結果、湿地等に供給している地下水は、集水域に貯留された地下水と考えられる。また、砂岩泥岩の互層からなる岩盤は、南北系の走向で西へ10°程度の緩い傾斜であることから、トンネル構造物が緑地の湿地等の地下水を直接引き込む可能性はほとんどないと考えられ、影響はほとんど生じないと予測された。

なお、これらの予測については、不確実性が高いためモニタリングを実施する。

【参考】地下水の変化による影響の予測について

地下水の変化による影響を予測するためには、調査地域の水理地質構造を把握する必要がある。しかしながら、水理地質構造は、地形条件や地質条件に加えて気象条件等の不確実性を伴う要素と複雑に関連しているため、これを確実に把握することは非常に困難である。したがって、地下水の変化については常に不確実性を伴った予測が主体となる。しかし不確実性の程度については、地質条件等により様々であり、また調査を行えばより不確実性が低減した予測が行えることは言うまでもない。現地踏査程度でも調査地域に分布する地表水を把握することによって大まかな地下水の分布形態を把握する（推定地下水ラインや地下水コンターマップ等の作成により把握する）ことなどは可能であるので、これらをもとに対象道路事業における影響を可能な範囲で予測することができる。

（出典：道路環境影響評価の技術手法 2007改訂版 第3巻、財団法人 道路環境研究所、2007）

2. 環境保全措置の検討

2.1 環境保全措置の検討の状況

工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在により、一部の重要な種の生息環境および生育環境において改変は生じないこと、道路（地下式）の存在による地下水位等の変化はほとんど生じないこと等から、重要な種の生息環境および生育環境は保全されるまたは変化は生じないと予測した。

このことから、工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在に係る動物および植物への影響はないものと考えられ、環境保全措置の検討は行わないこととする。

なお、事業実施段階において、重要な種への影響があると判断された場合には、必要に応じて適切な環境保全措置の実施について検討を行う。

2.2 モニタリング調査

予測の結果、環境保全措置の検討は行わないものとしたが、対象事業が前例のない工事を実施するため、影響予測について不確実性が伴うことから、事業者が自主的に影響を把握するためのモニタリング調査を実施するものとする。

モニタリング調査の内容は「第7章 環境モニタリング（監視）」に示すとおりである。

2.3 評価

1) 評価の手法

工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在に係る動物への環境影響の評価については、事業の実施による影響が、事業者により実行可能な範囲でできる限り回避または低減が図られているか否かについて見解を明らかにすることにより行った。

2) 評価結果

計画路線の大部分はトンネル部であり、工事施工ヤードおよび工事用道路の設置位置に配慮することにより、地表部が改変される区域を極力小さくしている。

このことから、事業者の実行可能な範囲内で環境影響をできる限り回避または低減していると評価する。

3. 環境に配慮する事項

工事施工ヤードおよび工事用道路等の設置、道路（地下式）の存在に係る影響はないものと考えられるため、環境保全措置の検討は行わないものとしたが、工事にあたっては、周辺の環境保全の観点から、以下に示す環境配慮事項を実施する。

3.1 工事中

1) 道路事業における一般的な配慮事項

a) 大気質

建設機械の稼働に伴う大気質への影響

- 計画的かつ効率的な工事計画を検討し、建設機械の集中稼働を避ける。
- 建設機械については、排出ガス対策型の機種の使用に努める。
- 建設機械のアイドリングストップを徹底する。
- 建設機械の整備、点検を徹底する。

資材運搬等の車両の走行に伴う大気質への影響

- 資材運搬等の車両による搬出入が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める。
- 資材運搬等の車両は、最新排出ガス規制適合車の使用に努める。
- 資材運搬等の車両のアイドリングストップを徹底する。
- 資材運搬等の車両の整備、点検を徹底する。

造成等の工事に伴う大気質への影響

- 造成箇所、資材運搬等の車両の仮設道路には適宜散水を行い、粉じんの飛散防止を行う。
- 計画地内の土砂等の運搬時には、必要に応じてシートで被覆する。
- 工事区域出口に洗浄用ホース等を設置し、資材運搬等の車両のタイヤに付着した土砂の払落しや場内清掃等を徹底する。

b) 騒音、振動

建設機械の稼働に伴う騒音、振動の影響

- 計画的かつ効率的な工事計画を検討し、建設機械の集中稼働を避ける。
- 建設機械については、低騒音・低振動型の建設機械の使用に努める。
- 建設機械のアイドリングストップを徹底する。
- 建設機械の整備、点検を徹底する。
- 住居等に近い箇所の工事では、必要に応じて仮囲い等の防音対策を講じる。

資材運搬等の車両の走行に伴う騒音、振動の影響

- 資材運搬等の車両による搬出入が一時的に集中しないよう、計画的かつ効率的な運行管理に努める。
- 資材運搬等の車両のアイドリングストップを徹底する。
- 資材運搬等の車両の整備、点検を徹底する。

2) 当該事業における配慮事項

a) 地下水位への配慮

- ・トンネル工事は地下水に影響を及ぼさない工法（シールド工法等）を採用し、影響を避けた施工に努める。

b) 動物・植物・生態系への配慮

周辺での作業における配慮

- ・保全対象動植物の生息地・生育地では工事を行わないが、必要に応じて作業員の教育を行うなどの配慮を行う。

道路照明や駐車場照明による光害への配慮

- ・道路照明や駐車場照明などの光が施設外へ漏れることにより、住民の生活、動物や昆虫の行動及び隣接する農作物に影響を及ぼしたり、天体観測に支障となる場合がある。その対策として後方への光漏れ防止タイプの照明や光源の小さい照明にし、光害の低減に努める。

自動車のヘッドライトによる光害への配慮

- ・希少動植物の繁殖地となっている樹林の側に道路を整備する場合は、自動車のヘッドライトによって生息環境に影響が及ぶ可能性があるため、遮光板、遮光トンネル、遮光植栽等の設置により影響を低減させる。

c) その他

- ・建設廃棄物の処理に当たっては、再資源化または有価物としての使用に努め、処理・処分量を抑制する。
- ・本事業の実施において余剰の建設発生土が生じる場合には、工事間流用に努めます。
- ・建設発生土の保管に際しては、乾燥による土埃対策（シートカバー、散水等）等を行う。
- ・トンネル坑口部周辺の改変部には、周辺と調和した景観を創出する。
- ・坑口周辺の緑化にあたっては、周辺の植生等に配慮した在来種の使用に努める。また、要注意外来生物を使用しない。
- ・適切な通行車両規制を行い、触れ合いの活動の場へのアクセスを確保する。

3.2 供用後

- ・影響が考えられる場合には、遮音壁、遮音築堤、裏面吸音材(高架部)、低騒音舗装等の設置を考慮する。
- ・工事に伴って一時的に改変する自然環境の復旧に努める。
- ・光漏れ防止タイプの照明や光源の小さい照明など、影響の低減を考慮する。
- ・構造物は周辺環境に調和するよう工夫し、良好な景観の創出に努める。

4. 環境モニタリング（監視）

4.1 調査の目的

本調査は、対象道路の工事中および供用後における動植物の生息・生育環境への影響の有無を把握するため、指標種を設定しモニタリングを行っていくことを目的とする。

また、地下水については、湿地等の状況を把握するため、モニタリングを行っていくことを目的とする。

4.2 動物・植物

1) 指標種の選定経緯

a) 指標種の定義

指標種は以下のように定義されている。

生態学的によく研究され、生息できる環境条件が限られていることが判明している生物を指標生物、もしくは環境指標種という。単に指標種と言われる場合もある。

生物は、それぞれが生息環境に適応することで、多様な生態系が分化し、繁栄してきた。特に生息できる環境が限られ、かつ、環境の変化に敏感な性質を持つ種を選定し、その分布状況等の調査をすることによって地域の環境を類推・評価することができる(生物指標)。

環境省が実施している自然環境保全基礎調査のうち「環境指標種調査(身近な生きもの調査)」では、居住地周辺の自然環境の動向を表わす種(環境指標種)の分布状況を調査している。

b) 指標種選定にあたっての着目観点

上記の定義より、指標種を選定するにあたっては、以下の点に留意する必要がある。

よく研究されていること。(調査しやすく、既往研究等の実績が豊富であること)

当該地域に生息していること。(これまでの調査で確認されていること)

環境の変化に敏感な性質を持つ種であること。(トンネル工事における影響を受ける可能性があると予測される種)

c) 指標種の生態系位置づけ

類似事例において、指標種の抽出に当たっては、「環境影響評価法(平成9年6月13日法律第81号、最終改正:平成23年8月30日法律第105号)第四条第9号の規定により主務大臣および国土交通大臣が定めるべき基準並びに同法第十一条第三項および第十二条第二項の規定により主務大臣が定めるべき指針に関する基本的事項」(平成9年12月12日環境庁告示第87号、最終改正:平成17年3月30日 環境省告示第26号)に基づき、表7-1に示す上位性、典型性、特殊性の観点から調査地域の生態系の特性を効率的かつ効果的に把握できるような種・群集を抽出している。

本業務では、当該地域の面積・規模や確認種数、地域特性を考慮すると、指標種は典型性および特殊性から選定することが適切であると考えられる。なお、上位性を選定しない理由は以下に示すとおりである。

上位性: 食物連鎖の上位を占める大型の動物が確認されていないため。

表 4-1 上位性・典型性・特殊性の考え方

区分	考え方
上位性	生態系を形成する生物群集において栄養段階の上位に位置する種を対象とする。該当する種は相対的に栄養段階の上位の種で、生態系の攪乱や環境変化などの影響を受けやすい種が対象となる。また、対象地域における生態系内での様々な食物連鎖にも留意し、小規模な湿地やため池などでの食物連鎖にも着目する。そのため、哺乳類、鳥類などの行動範囲の広い大型の脊椎動物以外に、爬虫類、魚類などの小型の脊椎動物や、昆虫類などの無脊椎動物も対象とする。
典型性	対象地域の生態系の中で生物間の相互作用や生態系の機能に重要な役割を担うような種・群集（例えば、植物では現存量や占有面積の大きい種、動物では個体数が多い種や個体重量が大きい種、代表的なギルド ^注 ）に属する種など）、生物群集の多様性を特徴づける種や生態遷移を特徴づける種などが対象となる。また、環境の階層的構造にも着目し、選定する。
特殊性	小規模な湿地、洞窟、噴気口の周辺、石灰岩地域などの特殊な環境や、砂泥底海域に孤立した岩礁や貝殻礁などの対象地域において、占有面積が比較的小規模で周囲にはみられない環境に注目し、そこに生息する種・群集を選定する。該当する種・群集としては特殊な環境要素や特異な場の存在に生息が強く規定される種・群集があげられる。

出典) 環境アセスメント技術ガイド(生態系)(平成 14 年 財団法人自然環境研究センター)

注) 同一の栄養段階に属し、ある共通の資源に依存して生活している複数の種または個体群を示す。

d) 指標種の選定

以上の選定経緯を踏まえて、表 4-2 に示す種を指標種として選定した。

表 4-2 指標種および選定理由

区分	生息・生育基盤		指標種	選定理由
典型性	複合環境	湿地	両-1	谷戸の湿地に生息し、目視によって卵のうの確認も可能であるため、湿地を代表する種と考えられる。
			ヨシ群落	水辺周辺などに広く分布し、植生調査により被度群度などの把握が可能であるため、湿地を代表する種と考えられる。
		谷戸湿地・樹林	両-4	谷戸の樹林に生息し、湿地に産卵するため目視によって卵のうの確認も可能であるため、谷戸を代表する種と考えられる。
		水田沢・水路	ホタル類	ゲンジボタルは流水と林縁に、底-8 は止水と草地に生息しており、底生動物調査によって幼虫の確認も可能であるため、水田・水路とその周辺を代表する種と考えられる。また、生活環境や生活史等についての知見が集積されている種であり、知名度も高く、広く一般的に知られている種である。
特殊性	特殊環境	湧水部	魚-2	流れの緩やかな細流の砂泥底に見られ、採取によって個体数の確認が可能であり、稚魚も多く確認されていることから、湧水部という特殊環境を特徴づける種であると考えられる。

e) 調査内容

調査時期

調査時期は指標種ごとに表 4-3 に示すとおりとする。

表 4-3 指標種ごとの調査時期

指標種	冬季（2月～3月）	春季（4月）	夏季（6月～8月）
両-1	産卵期であり、両生類にとって最も重要な産卵環境における卵塊の状態が確認できるため。	幼体の孵化期であり、卵塊の確認と併せて、孵化率を確認できるため。	個体の成熟期であり、幼体から成体に変態した個体の割合を確認できるため。
ヨシ群落			年間を通じて最も繁茂する時期であるため。
両-4	産卵期であり、両生類にとって最も重要な産卵環境における卵塊の状態が確認できるため。	幼体の孵化期であり、卵塊の確認と併せて、孵化率を確認できるため。	
ホタル類	幼虫のサイズが安定している時期であるため。		成虫の発生時期であり、分布や個体数を確認できるため。
魚-2	非繁殖期であり、個体数が最も安定する時期であるとともに、越冬環境の把握ができるため。		繁殖期であり、その年に産まれた稚魚が把握できるため。

調査手法

調査手法は指標種ごとに表 4-4 に示すとおりとする。

調査においては個体数の変遷から客観的定量的なデータ収集に務めるものとし、その他、以下の点に留意する。

【両-1、両-4】

両生類にとっては産卵環境の維持が生息環境の維持と同等の意味を持っているため、卵塊調査をメインとする。卵塊のデータは、谷戸内の水路を 10m ごとにブロックに区切り、データをとる。

【ヨシ群落】

Braun-Blanquet（1964 Pflanzensoziologie, 3 Aufl., Springer-Verlag, Wien）の植物社会学的手法により、各種の被度と群度を測定・記録する。

植生調査と併せて、現存植生図の見直しを行う。

面積の変遷を定量的に把握するために、植生図は GIS を用いて作図する。

【ホタル類】

幼虫の誕生の有無を確認する。冬季にコドラート定量採集を基本とし、調査は調査努力量を決めて実施する。

成虫は、5～8月に発生する。

夜間、踏査して谷戸ごとに個体数を計測する。

【魚-2】

魚-2の生息には湧水の減少・枯渇がもっとも大きく影響するため、流量も同時に計測する。

調査は、1箇所あたり2人×30分と、調査努力量を決めて実施する。

年級群を把握するため、なるべく多くの個体の体長を計測する。

表 4-4 指標種ごとの調査手法

指標種	冬季(2月～3月)	春季(4月)	夏季(6月～8月)
両-1	直接観察法	直接観察法	直接観察法
ヨシ群落	-	-	直接観察法
両-4	直接観察法	直接観察法	-
ホタル類	コドラート法(幼虫)	-	直接観察法(成虫)
魚-2	直接観察法および採取 流量計測(渇水期)	-	直接観察法および採取 流量計測(豊水期)

調査年数

調査年数は、類似事例を参考に、工事期間中および供用後5年間とする。

調査票

モニタリングにおいては、経年変化を横並びで評価する必要があるため、努力量を揃えなければならない。また、取得するデータも揃える必要があることから、調査票を同一のものとするのが望ましい。よって、調査計画段階で調査票を作成しておく必要がある。

4.3 地下水

1) 地下水位の継続監視

工事における地下水位および地下水質の変動状況を把握するため調査を実施する。

a) 調査地点

設置観測井 5 地点とする。

b) 調査時期

地下水位の調査は、連続観測とする。

地下水質の調査は、降雨の直接的影響を避けた時期とする。

c) 調査年数

調査年数は、工事期間中および供用後おおむね 5 年間とする。

d) 調査方法

観測井において地下水位を測定し、水位変動を把握する。

観測井において地下水を採取し、pH、EC、主要溶存成分(Na^+ 、 K^+ 、 Ca^{2+} 、 Mg^{2+} 、 SO_4^{2-} 、 HCO_3^- 、 Cl^- 、 NO_3^-)を対象に水質調査を実施する。

2) 地表水のモニタリング

水質に変化が生じた場合に、工事との因果関係を究明するために調査を実施する。

a) 調査地点

設置流量堰 5 地点とする。

b) 調査時期

調査時期は、年間の降水傾向から推定される豊水期・渇水期を基準として年 4 回とする。

地表水の流量および水質の調査は、降雨の直接的影響を避けた時期とする。

c) 調査方法

流量堰において表流量を測定し、流量変動を把握する。

表流水を採取し、pH、EC、主要溶存成分(Na^+ 、 K^+ 、 Ca^{2+} 、 Mg^{2+} 、 SO_4^{2-} 、 HCO_3^- 、 Cl^- 、 NO_3^-)を対象に水質調査を実施する。

3) 地盤沈下の監視

工事における地盤沈下の有無を把握するため調査を実施する。

a) 調査地点

工事中調査は工事実施区域周辺の既存水準点とする。

b) 調査方法

工事実施区域周辺の既存水準点および設置する測定点において、地盤高を測定する。

4.4 調査結果の公表

モニタリングの結果は事務所ホームページ等を用いることが考えられるが、広く市民に向けて公表することが望ましい。ただし、公表の際には、重要種保護の観点に留意し、公開できる情報と非公開にすべき情報の選別を慎重に行うものとする。

4.5 環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応方針

モニタリングの結果、環境への影響が確認された場合には、速やかに関係機関および有識者と連携をとり、必要な措置を講ずるものとする。

卷末資料

【哺乳類確認種目録】

No.	目	科	種名	学名	現地調査		既往文献	
					現地 まとめ	川名 緑地 新林公園	川名	川名
1	モグラ	モグラ	アズマモグラ	<i>Mogera imaizumii</i>				
2	コウモリ	ヒナコウモリ	ヒナコウモリ科の一種(45kHz前後)	<i>Vespertilionidae sp.</i>				
3	ネズミ	リス	タイワンリス	<i>Callosciurus erythraeus</i>				
4		ネズミ	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus speciosus</i>				
5	ネコ	アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>				
6		イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides viverrinus</i>				
7		イタチ	哺乳-1	哺乳-1				
8		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>				
合計 4目 8科 8種					8種	6種		

既往文献

「平成12年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2001、藤沢市環境部緑課、アジア航測株式会社)

「平成13年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2002、藤沢市環境部緑課、アジア航測株式会社)

「神奈川県複数の流域におけるイタチの分布と生息環境に関する研究」(2007、神奈川自然誌資料)

注1)種名及び分類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(平成24年度版)」(リバーフロント整備センター, 2012)に従った。

注2)重要種の選定基準は以下のとおりである。

:「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号、改正:平成19年3月30日 法律第7号)に基づく国の特別天然記念物及び天然記念物

:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年6月5日 法律第75号、改正:平成17年7月26日 法律第87号)

に基づく国内希少野生動植物種

:「第4次レッドリストの公表について」(平成24年8月 環境省)における掲載種

:「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(平成18年7月 神奈川県)における掲載種

NT:準絶滅危惧

注3)既存調査においての種名が「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(平成22年度版)」(リバーフロント整備センター, 2010)に

該当しない種については、以下の通りに変更した。

ヒナコウモリ類:ヒナコウモリ科の一種

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

【鳥類確認種目録】(1/2)

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献	生息環境	渡り区分
					現地まとめ		川名緑地宮前御霊神社		
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>				水域	留鳥
2			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>				水域	冬鳥
3	ベリカン	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>				水域	留鳥
4			鳥-1	鳥-1				水域	冬鳥
5	コウノトリ	サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>				水域周辺	留鳥
6			鳥-2	鳥-2				水域周辺	旅鳥
7			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>				水域周辺	冬鳥
8			鳥-3	鳥-3				水域周辺	旅鳥
9			コサギ	<i>Egretta garzetta</i>				水域周辺	留鳥
10			アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>				水域周辺	留鳥
11	カモ	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>				水域周辺	冬鳥
12			カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>				水域周辺	留鳥
13			コガモ	<i>Anas crecca</i>				水域周辺	冬鳥
14			ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>				水域周辺	冬鳥
15			オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>				水域周辺	冬鳥
16			ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>				水域	冬鳥
17			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>				水域周辺	冬鳥
18			ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>				水域	冬鳥
19			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>				水域	冬鳥
20			スズガモ	<i>Aythya marila</i>				水域	冬鳥
21			コスズガモ	<i>Aythya affinis</i>				水域	迷鳥
22			ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>				水域周辺	冬鳥
23	タカ	タカ	鳥-4	鳥-4				水域周辺	冬鳥
24			トビ	<i>Milvus migrans</i>				その他	留鳥
25			鳥-5	鳥-5				森林周辺	留鳥
26			鳥-6	鳥-6				森林周辺	冬鳥
27			鳥-7	鳥-7				森林周辺	冬鳥
28			鳥-8	鳥-8				森林周辺	夏鳥
29			鳥-9	鳥-9				草地	冬鳥
30		ハヤブサ	鳥-10	鳥-10				その他	留鳥
31			チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>				草地	留鳥
32	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>				草地	留鳥
33	ツル	クイナ	パン	<i>Gallinula chloropus</i>				水域周辺	留鳥
34			オオバン	<i>Fulica atra</i>				水域周辺	冬鳥
35	チドリ	チドリ	鳥-11	鳥-11				水域周辺	冬鳥
36			鳥-12	鳥-12				水域周辺	冬鳥
37			鳥-13	鳥-13				水域周辺	夏鳥
38		シギ	鳥-14	鳥-14				水域周辺	冬鳥
39			鳥-15	鳥-15				水域周辺	旅鳥
40			鳥-16	鳥-16				水域周辺	旅鳥
41			鳥-17	鳥-17				水域周辺	留鳥
42			鳥-18	鳥-18				水域周辺	旅鳥
43			鳥-19	鳥-19				水域周辺	冬鳥
-			タシギ属の一種	<i>Gallinago sp.</i>				-	-
44		カモメ	ヨリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>				水域	冬鳥
45			セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>				水域	冬鳥
46			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>				水域	冬鳥
47			ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>				水域	留鳥
48	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>				その他	留鳥
49			鳥-20	鳥-20				森林	旅鳥
50	カッコウ	カッコウ	ホトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>				森林	旅鳥
51	アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>				その他	旅鳥
52			鳥-21	鳥-21				その他	留鳥
53	ブッボウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>				水域	留鳥
54	キツツキ	キツツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>				森林	冬鳥
55			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>				森林	留鳥
56			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>				森林	冬鳥
57			コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>				森林	留鳥
58	スズメ	ヒバリ	鳥-22	鳥-22				草地	留鳥
59		ツバメ	鳥-23	鳥-23				人里	夏鳥
60			鳥-24	鳥-24				人里	夏鳥
61			イワツバメ	<i>Delichon urbica</i>				その他	夏鳥
62		セキレイ	鳥-25	鳥-25				水域周辺	冬鳥
63			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>				水域周辺	留鳥
64			鳥-26	鳥-26				水域周辺	留鳥
65			鳥-27	鳥-27				森林周辺	冬鳥
66			タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i>				水域周辺	冬鳥
67		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>				森林周辺	留鳥
68		モズ	鳥-28	鳥-28				森林周辺	留鳥
69		ツグミ	鳥-29	鳥-29				森林	旅鳥
70			鳥-30	鳥-30				森林	冬鳥
71			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>				森林周辺	冬鳥
72			ノビタキ	<i>Saxicola torquata</i>				草地	旅鳥
73			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>				水域周辺	留鳥
74			鳥-31	鳥-31				森林	旅鳥
75			鳥-32	鳥-32				森林	冬鳥

【鳥類確認種目録】(2/2)

No.	目	科	種名	学名	現地調査		既往文献 川名緑地 宮前御霊 神社	生息環境	渡り区分	
					現地 まとめ	聞き取り 調査				
76	スズメ	ツグミ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>				森林	冬鳥	
77			ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>				森林周辺	冬鳥	
78		ウグイス	鳥-33	鳥-33				森林	旅鳥	
79			ウグイス	<i>Cettia diphone</i>				森林周辺	留鳥	
80			鳥-34	鳥-34				草地	夏鳥	
81			鳥-35	鳥-35				森林	旅鳥	
82			鳥-36	鳥-36				森林	旅鳥	
83			鳥-37	鳥-37				草地	留鳥	
84			ヒタキ	鳥-38	鳥-38				森林	旅鳥
85		鳥-39		鳥-39				森林	旅鳥	
86		エゾヒタキ		<i>Muscicapa griseisticta</i>				森林周辺	旅鳥	
87		鳥-40		鳥-40				森林	旅鳥	
88		カササギヒタキ	鳥-41	鳥-41				森林	旅鳥	
89		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>				森林	留鳥	
90		シジュウカラ	鳥-42	鳥-42				森林	留鳥	
91			ヤマガラ	<i>Parus varius</i>				森林	留鳥	
92			シジュウカラ	<i>Parus major</i>				森林	留鳥	
93		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>				森林	留鳥	
94		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>				森林周辺	留鳥	
95			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>				森林周辺	冬鳥	
96			鳥-43	鳥-43				森林周辺	冬鳥	
97			鳥-44	鳥-44				森林	冬鳥	
98		アトリ	鳥-45	鳥-45				森林周辺	留鳥	
99			マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>				森林	冬鳥	
100			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>				その他	冬鳥	
101			イカル	<i>Eophona personata</i>				森林	冬鳥	
102			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>				森林周辺	冬鳥	
103		ハタオリドリ	スズメ	<i>Passer montanus</i>				人里	留鳥	
104		ムクドリ	ムクドリ	<i>Sturnus cineraceus</i>				人里	留鳥	
105		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>				森林周辺	冬鳥	
106			オナガ	<i>Cyanopica cyana</i>				森林	留鳥	
107			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>				その他	留鳥	
108			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>				その他	留鳥	
109		キジ	キジ	<i>Bambusicola thoracica</i>				森林周辺	留鳥	
110		スズメ	チメドリ	ガビチョウ	<i>Garrulax canorus</i>			森林周辺	留鳥	
計 16目35科110種(外来種を含む)					35種	108種	48種	-	-	

聞き取り調査

藤沢探鳥クラブに聞き取りを行った。(川名通年探鳥会(1980年9月~2012年10月)での確認種)

既往文献

- 「平成12年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2001, 藤沢市環境部みどり課, アジア航測株式会社)
- 「平成13年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2002, 藤沢市環境部みどり課, アジア航測株式会社)

注1) 種の分類、配列は「日本鳥類目録 改訂第6版」(日本鳥学会, 2000)に従った。

注2) 重要種の選定基準は以下のとおりである。

- : 文化財保護法(1950, 法律214)に基づく国の特別天然記念物及び天然記念物
- : 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992, 法律75)に基づく国内希少野生動植物種
- : 国内-国内希少野生動植物種
- : 「第4次レッドリストの公表について」(環境省, 2012)における掲載種
- : NT-準絶滅危惧種
- : 「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(神奈川県立生命の星・地球博物館, 2006)における掲載種
- : VU-絶滅危惧 類、NT-準絶滅危惧種、減少種、希少種、注目種

注3) 生息環境、渡り区分は以下のとおりである。

【生息環境】

- ・森林: 森林性種 - 主に森林に生息する種
 - ・森林周辺: 森林周辺性種 - 森林のほか、その周辺の草地、農耕地等に生息する種
 - ・草地: 草地性種 - 主に草地や農耕地、裸地に生息する種
 - ・水域: 水辺性種 - 主に池、川、湖沼、海上といった水辺に生息する種
 - ・水域周辺: 水辺周辺性種 - 水辺のほか、その周辺の草地、農耕地、森林等に生息する種
 - ・人里: 人里周辺性種 - 主に村落、市街地、公園といった人里の周辺に生息する種
 - ・その他: 生息環境選択幅が広く、様々な環境に出現する種主に空中で生活する種上記の区分に該当しない種
- 生息環境区分は「原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>及び<水鳥編>」(中村登流・中村雅彦, 1995)を参考にした。

【渡り区分】

- ・留鳥: 一年を通じてみられる種
 - ・夏鳥: 主に夏期に渡来し、生息する種
 - ・冬鳥: 主に冬期に渡来し、生息する種
 - ・旅鳥: 主に春・秋の渡りの時期に短期間だけ出現する種
- 渡り区分は「藤沢の鳥」(藤沢市, 2011)を参考にした。

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

【両生類・爬虫類確認種目録】

No.	綱	目	科	種名	学名	現地調査 現地 まとめ	聞き取り 調査	既往文献 川名緑地 新林公園
1	両生	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Hyla japonica</i>			
2			アカガエル	ウシガエル	<i>Rana catesbeiana</i>			
3				両-1	両-1			
-				アカガエル科の一種	<i>Rana sp.</i>			
4				ヌマガエル	<i>Fejervarya limnocharis</i>			
5				アオガエル	両-2	両-2		
6				ヒキガエル	両-3	両-3		
7		有尾	サンショウウオ	両-4	両-4			
8	爬虫	カメ	イシガメ	クサガメ	<i>Chinemys reevesii</i>			
9				アカミミガメ	<i>Trachemys scripta</i>			
10		有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	<i>Gekko japonicus</i>			
11				トカゲ	爬-1	爬-1		
12				カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>		
13				ナミヘビ	爬-2	爬-2		
14					爬-3	爬-3		
15					爬-4	爬-4		
合計 2綱 3目 10科 15種						11種	12種	8種

聞き取り調査

藤沢探鳥クラブに聞き取りを行った。(平成24年12月現在の情報)

既往文献

「平成12年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2001、藤沢市環境部緑課、アジア航測株式会社)

「平成13年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2002、藤沢市環境部緑課、アジア航測株式会社)

注1) 種名及び分類は「日本産爬虫両生類標準和名」(日本爬虫両棲類学会、2009)に従った。

注2) 重要種の選定基準は以下のとおりである。

: 「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号、改正:平成23年5月2日 法律第37号)に基づ(国の特別天然記念物及び天然記念物

: 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年6月5日 法律第75号、改正:平成17年7月26日 法律第87号)

に基づく国内希少野生動植物種

: 「第4次レッドリストの公表について」(平成24年12月 環境省)における掲載種

VU:絶滅危惧 類

: 「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(平成18年7月 神奈川県)における掲載種

CR+EN:絶滅危惧 類、VU:絶滅危惧 類、NT:準絶滅危惧、要注:要注意種

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献 川名緑地 新林公園
					現地 まとめ		
1	クモ	ウズグモ	マネキグモ	<i>Miagrammopes orientalis</i>			
2		ヤチグモ	クロヤチグモ	<i>Coelotes exitalis</i>			
3			アズマヤチグモ	<i>Coelotes kitazawai</i>			
4		タナグモ	コクサグモ	<i>Allagelena opulenta</i>			
5			タナグモ科の一種	Agelenidae Gen. et sp.			
6		キシダグモ	イオウイロハシリグモ	<i>Dolomedes sulfureus</i>			
7		コモリグモ	シツココモリグモ	<i>Hygrolycosa umidicola</i>			
8			クラークコモリグモ	<i>Pirata clercki</i>			
9			ミナミコモリグモ	<i>Pirata meridionalis</i>			
10			ヒノマルコモリグモ	<i>Tricca japonica</i>			
11			イナダハリゲコモリグモ	<i>Pardosa agraria</i>			
12			ウツキコモリグモ	<i>Pardosa astrigera</i>			
13			ハラクコモリグモ	<i>Lycosa coelestis</i>			
14			コモリグモ科の一種	Lycosidae Gen. et sp.			
15		ササグモ	ササグモ	<i>Oxyopes sertatus</i>			
16		サラグモ	アトグロアカムネグモ	<i>Ummeliata feminea</i>			
17			セスジアカムネグモ	<i>Ummeliata insecticeps</i>			
18			デーニツサラグモ	<i>Doenitzius peniculus</i>			
19			タテヤマテナガグモ	<i>Microbathypantes tateyamaensis</i>			
20		ヒメグモ	ヒシガタグモ	<i>Episinus affinis</i>			
21			ムナボシヒメグモ	<i>Keijia sternotata</i>			
22			ハラナガヒシガタグモ	<i>Moneta caudifer</i>			
23			ツクネグモ	<i>Phoroncidia pilula</i>			
24			オナガグモ	<i>Ariamnes cylindrogaster</i>			
25			シモフリミジグモ	<i>Dipoena punctisparsa</i>			
26			ヒメグモ科の一種	Theridiidae Gen. et sp.			
27			アシブトヒメグモ	<i>Anelosimus crassipes</i>			
28			シロカネイソウロウグモ	<i>Argyrodus bonadea</i>			
29		アシナガグモ	オオシロカネグモ	<i>Leucauge magnifica</i>			
30			コシロカネグモ	<i>Leucauge subblanda</i>			
31			Leucauge 属の一種	<i>Leucauge</i> sp.			
32			アシナガグモ	<i>Tetragnatha praedonia</i>			
33			メガネドヨウグモ	<i>Metleucauge yunohamensis</i>			
34			Tetragnatha 属の一種	<i>Tetragnatha</i> sp.			
35		ジョロウグモ	ジョロウグモ	<i>Nephila clavata</i>			
36		コガネグモ	コガタコガネグモ	<i>Argiope minuta</i>			
37			Argiope 属の一種	<i>Argiope</i> sp.			
38			ゴミグモ	<i>Cyclosa octotuberculata</i>			
39			ヨツデゴミグモ	<i>Cyclosa sedeculata</i>			
40			サガオニグモ	<i>Eriophora astridae</i>			
41			Eriophora 属の一種	<i>Eriophora</i> sp.			
42			ワキグロサツマノミダマシ	<i>Neoscona melloteei</i>			
43			コガネグモ科の一種	Araneidae Gen. et sp.			
44			マルツメオニグモ	<i>Araneus semilunaris</i>			
45			カラフトオニグモ	<i>Eriophora sachalinensis</i>			
46			スズミグモ	<i>Cyrtophora moluccensis</i>			
47			オオトリノフンダマシ	<i>Cyrtarachne inaequalis</i>			
48		コマチグモ	Chiracanthium 属の一種	<i>Chiracanthium</i> sp.			
49		エビグモ	Philodromus 属の一種	<i>Philodromus</i> sp.			
50			シャコグモ	<i>Tibellus japonicus</i>			
51			アサヒエビグモ	<i>Philodromus subaureolus</i>			
52			シャコグモ	<i>Tibellus japonicus</i>			
53		カニグモ	ワカバグモ	<i>Oxytate striatipes</i>			
54			ハナグモ	<i>Misumenops tricuspidatus</i>			
55			コハナグモ	<i>Diaea subdola</i>			
56			ガザミグモ	<i>Pistius undulatus</i>			
57			アズチグモ	<i>Thomisus labefactus</i>			
58			セマルトラフカニグモ	<i>Tmarus rimosus</i>			
59			Tmarus 属の一種	<i>Tmarus</i> sp.			
60			ヤミイロカニグモ	<i>Xysticus croceus</i>			
61			Xysticus 属の一種	<i>Xysticus</i> sp.			
62		ネコグモ	コムラウラシマグモ	<i>Otacilla komurai</i>			
63			ネコグモ	<i>Trachelas japonicus</i>			
64		ハエトリグモ	Myrmarachne 属の一種	<i>Myrmarachne</i> sp.			
65			ネコハエトリ	<i>Carrhotus xanthogramma</i>			
66			マミジロハエトリ	<i>Evarcha albaria</i>			
67			ヨダンハエトリ	<i>Marpissa pulla</i>			
68			Phintella 属の一種	<i>Phintella</i> sp.			
69			デーニツハエトリ	<i>Plexippoides doenitzi</i>			
70			カラスハエトリ	<i>Rhene atrata</i>			
71			ヒメカラスハエトリ	<i>Rhene albiger</i>			
72			Rhene 属の一種	<i>Rhene</i> sp.			
73			ハエトリグモ科の一種	Salticidae Gen. et sp.			
74			メスジロハエトリ	<i>Phintella versicolor</i>			
75			チャイロアサヒハエトリ	<i>Phintella abnormis</i>			
76			アリグモ	<i>Myrmarachne japonica</i>			
77		イツツグモ	イツツグモ	<i>Anyphaena pugil</i>			
78		フクログモ	ヤギヌマフクログモ	<i>Clubiona yaginumai</i>			
79		カネコトタテグモ	虫-1				
80	トビムシ	アヤトビムシ	アヤトビムシ科の一種	Entomobryidae Gen. et sp.			

【陸上昆虫類等確認種目録】(2/13)

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献 川名緑地 新林公園
					現地 まとめ		
81	イシノミ	イシノミ	<i>Pedetontus</i> 属の一種	<i>Pedetontus</i> sp.			
82	トンボ	イトトンボ	虫-2	虫-2			
83		モノサシトンボ	虫-3	虫-3			
84		アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>			
85			虫-4	虫-4			
86		カワトンボ	アサヒナカワトンボ	<i>Mnais pruinosa</i>			
87		サナエトンボ	虫-5	虫-5			
88			ウチウヤンマ	<i>Sinictinogomphus clavatus</i>			
89		オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>			
90		ヤンマ	虫-6	虫-6			
91			ヤブヤンマ	<i>Polycanthagyna melanictera</i>			
92	マルタンヤンマ		<i>Anaciaeschna martini</i>				
93	クロスジギンヤンマ		<i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>				
94	ギンヤンマ		<i>Anax parthenope</i>				
95	エゾトンボ	オオヤマトンボ	<i>Ephthalmia elegans</i>				
96	トンボ	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>				
97		虫-7	虫-7				
98		オオシオカラトンボ	<i>Orthetrum triangulare melania</i>				
99		ショウジョウトンボ	<i>Crocothemis servilia mariannae</i>				
100		ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>				
101		虫-8	虫-8				
102		虫-9	虫-9				
103		アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>				
104		ネキトンボ	<i>Sympetrum speciosum speciosum</i>				
105		コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>				
106	ウスバキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>					
107	カワゲラ	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ科の一種	Nemouridae Gen. et sp.			
108	ゴキブリ	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>			
109	カマキリ	カマキリ	コカマキリ	<i>Statilia maculata</i>			
110		ハラビロカマキリ	<i>Hierodula patellifera</i>				
111		オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>				
112		チョウセンカマキリ	<i>Tenodera angustipennis</i>				
113		ヒナカマキリ	<i>Amantis nawai</i>				
114	バッタ	コロギス	ハネナシコロギス	<i>Nippancistroger testaceus</i>			
115		ササキリモドキ	クロスジコバネササキリモドキ	<i>Cosmetura ficifolia</i>			
116		キリギリス	キリギリス	<i>Eobiana</i> 属の一種	<i>Eobiana</i> sp.		
117			ヤブキリ	<i>Tettigonia orientalis</i>			
118			シブイロカヤキリ	<i>Xestophrys javanicus</i>			
119			虫-10	虫-10			
120			ヒメギス	<i>Eobiana engelhardti subtropica</i>			
121			クサキリ	<i>Homorocoryphus lineosus</i>			
122			クビキリギス	<i>Euconocephalus varius</i>			
123			ホシササキリ	<i>Conocephalus maculatus</i>			
124			コバネササキリ	<i>Conocephalus japonicus</i>			
125			ハヤシノウマオイ	<i>Hexacentrus hareyamai</i>			
126		ツコムシ	ツコムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>			
127			セスジツコムシ	<i>Ducetta japonica</i>			
128			ヒメクダマキモドキ	<i>Phaulula macilenta</i>			
129		クダマキモドキの一種	<i>Holochlora</i> sp.				
130	コオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>				
131		モリオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus sylvestris</i>				
132		ハラオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus campestris</i>				
133		ミツカドコオロギ	<i>Loxoblemmus doenitzi</i>				
134		ツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus micado</i>				
135	クマズムシ	<i>Sclerogryllus punctatus</i>					
136	マツムシ	アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>				
137		虫-11	虫-11				
138	ヒバリモドキ	ウスグモズ	<i>Mettiochodes genji</i>				
139		キンヒバリ	<i>Natula matsurai</i>				
140		クサヒバリ	<i>Svistella bifasciata</i>				
141		ヤチスズ	<i>Pteronemobius ohmachi</i>				
142		マダラスズ	<i>Dianemobius nigrofasciatus</i>				
143		シバズ	<i>Polionemobius mikado</i>				
144		カネタタキ	カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>			
145	ヒシバッタ	トゲヒシバッタ	<i>Criotettix japonicus</i>				
146		ハラヒシバッタ	<i>Tetrix japonica</i>				
147	ケラ	虫-12	虫-12				
148	オンブバッタ	オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>				
149		タンザワフキバッタ	<i>Parapodisma tanzawaensis</i>				
150		ツチイナゴ	<i>Patanga japonica</i>				
151		コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>				
152		ショウリョウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>				
153		虫-13	虫-13				
154		クルマバッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>				
155		イボバッタ	<i>Trilophidia annulata</i>				
156	ナナフシ	ナナフシモドキ	<i>Baculum irregulariterdentatum</i>				
157		トゲナナフシ	<i>Neohirasea japonica</i>				
158	ニホンヒナナフシ	<i>Micadina phluctainoides</i>					
159	ハサミムシ	マルムネハサミムシ	<i>Gonolabis marginalis</i>				
160	カメムシ	ワタフキカイガラムシ	<i>Drosicha corpulenta</i>				

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献
					現地 まとめ		川名緑地 新林公園
161	カメムシ	ヒシウンカ	ヤナギカウウンカ	<i>Andes marmoratus</i>			
162			<i>Cixius</i> 属の一種	<i>Cixius</i> sp.			
163			<i>Trirhacus</i> 属の一種	<i>Trirhacus</i> sp.			
164		ウンカ	<i>Stenocranus</i> 属の一種	<i>Stenocranus</i> sp.			
165			テラウチウンカ	<i>Terauchiana singularis</i>			
166		コガシラウンカ	アカフコガシラウンカ	<i>Deferunda rubrostigma</i>			
167		マルウンカ	マルウンカ	<i>Gergithus variabilis</i>			
168		ハネナガウンカ	アヤヘリハネナガウンカ	<i>Losbanosia hibarenis</i>			
169		アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>			
170		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>			
171		セミ	アブラゼミ	<i>Graptopsaltria nigrofuscata</i>			
172			ミンミンゼミ	<i>Hyalessa maculaticollis</i>			
173			クマゼミ	<i>Cryptotympana facialis</i>			
174			ツクツクボウシ	<i>Meimuna opalifera</i>			
175			ニイニイゼミ	<i>Platypleura kaempferi</i>			
176			ヒグラシ	<i>Tanna japonensis japonensis</i>			
177		ツノゼミ	トビイロツノゼミ	<i>Machaerotypus sibiricus</i>			
178		コガシラアワフキムシ	コガシラアワフキ	<i>Eoscarta assimilis</i>			
179		ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>			
180			オオヨコバイ	<i>Cicadella viridis</i>			
181			マエジロオオヨコバイ	<i>Kolla atramentaria</i>			
182			<i>Pagaronia</i> 属の一種	<i>Pagaronia</i> sp.			
183			ズキンヨコバイ亜科の一種	Idiocerinae Gen. et sp.			
184			クロヒラタヨコバイ	<i>Penthimia nitida</i>			
185			<i>Hishimonus</i> 属の一種	<i>Hishimonus</i> sp.			
186			トバヨコバイ	<i>Albaldia tobae</i>			
187			チャイロヨコバイ	<i>Matsumurella praesul</i>			
188			ヒメヨコバイ亜科の数種	Typhlocybinae Gen. et spp.			
189			クロスジホソサジヨコバイ	<i>Sophonia orientaris</i>			
190			ミミズク	<i>Ledra auditura</i>			
191			コムミズク	<i>Ledropsis discolor</i>			
192		キジラミ	キジラミ科の一種	Psyllidae Gen. et sp.			
193			クワキジラミ	<i>Anomoneura mori</i>			
194		アメンボ	シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>			
195			アメンボ	<i>Aquarius paludum</i>			
196			ヒメアメンボ	<i>Gerris lacustris latiabdominis</i>			
197			コセアカアメンボ	<i>Gerris gracilicornis</i>			
198			ヤスマツアメンボ	<i>Gerris (Magrogerris) insularis</i>			
199		マツモムシ	コマツモムシ	<i>Anisops ogasawarensis</i>			
200		メミズムシ	メミズムシ	<i>Ochterus marginatus</i>			
201		カスミカメムシ	ズアカシダカスミカメ	<i>Monalocoris filicis</i>			
202			ヒメセダカカスミカメ	<i>Charagochilus angusticollis</i>			
203			<i>Lygocoris</i> 属の数種	<i>Lygocoris</i> spp.			
204			オオクロセダカカスミカメ	<i>Proboscidoecoris varicornis</i>			
205			フタトゲムギカスミカメ	<i>Stenodema (Brachystira) calcarata</i>			
206			ケブカキベリナガカスミカメ	<i>Dryophilocoris miyamotoi</i>			
207			クロヒョウタンカスミカメ	<i>Pilophorus typicus</i>			
208			カスミカメムシ科の数種	Miridae Gen. et spp.			
209		グンバイムシ	アワダチソウグンバイ	<i>Corythucha marmorata</i>			
210		サシガメ	アカサシガメ	<i>Cydnocoris russatus</i>			
211			シマサシガメ	<i>Sphedanolestes impressicollis</i>			
212			アカシマサシガメ	<i>Haematoloecha nigrorufa</i>			
213			ヤニサシガメ	<i>Velinus nodipes</i>			
214			ヨコツナサシガメ	<i>Agriosphodrus dohrni</i>			
215			クビグロアカサシガメ	<i>Haematoloecha delibuta</i>			
216			ヒゲナガサシガメ	<i>Endochus stalianus</i>			
217			オオトビサシガメ	<i>Isyndus obscurus</i>			
218		ナガカメムシ	ヒメジュウジナガカメムシ	<i>Tropidothorax belogolowi</i>			
219			コバネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus pallipes</i>			
220			ホソコバネナガカメムシ	<i>Macropes obrubilis</i>			
221			コガシラコバネナガカメムシ	<i>Pirkimerus japonicus</i>			
222			オオメカメムシ	<i>Picocoris varius</i>			
223			ヒゲナガカメムシ	<i>Pachygrontha antennata</i>			
224			クロスジヒゲナガカメムシ	<i>Pachygrontha similis</i>			
225			オオモンシロナガカメムシ	<i>Metochus abbreviatus</i>			
226			チャモンナガカメムシ	<i>Paradieuches dissimilis</i>			
227			コバネヒョウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>			
228		メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	<i>Chauliops fallax</i>			
229		オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	<i>Physopelta gutta</i>			
230			ヒメホシカメムシ	<i>Physopelta parviceps</i>			
231		ホソヘリカメムシ	ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus clavatus</i>			
232			クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>			
233			ヒメクモヘリカメムシ	<i>Paraplesius unicolor</i>			
234		ヘリカメムシ	オオクモヘリカメムシ	<i>Anacanthocoris stricicornis</i>			
235			ハリカメムシ	<i>Cletus rusticus</i>			
236			ホソハリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>			
237			ホシハラビロヘリカメムシ	<i>Homoeocerus unipunctatus</i>			
238			ツマキヘリカメムシ	<i>Hygia (Hygia) opaca</i>			
239			ホオズキヘリカメムシ	<i>Acanthocoris sordidus</i>			
240		ヒメヘリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus (Aeschynteles) maculatus</i>			

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献
					現地まとめ		川名緑地新林公園
241	カメムシ	キンカメムシ	オオキンカメムシ	<i>Eucorysses grandis</i>			
242			アカスジキンカメムシ	<i>Poecilocoris lewisi</i>			
243		クヌギカメムシ	ヘラクヌギカメムシ	<i>Urostylis annulicornis</i>			
244			Urostylis属の一種	<i>Urostylis</i> sp.			
245		マルカメムシ	タデマルカメムシ	<i>Coptosoma parvipictum</i>			
246			マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>			
247		カメムシ	オオウロカメムシ	<i>Scotinophara horvathi</i>			
248			シロヘリカメムシ	<i>Aenalia lewisi</i>			
249			ムラサキシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris annamita</i>			
250			クサギカメムシ	<i>Halyomorpha halys</i>			
251			チャバネアオカメムシ	<i>Plautia crossota stali</i>			
252			タマカメムシ	<i>Sepontia aenea</i>			
253			アカスジカメムシ	<i>Graphosoma rubrolineatum</i>			
254			ウシカメムシ	<i>Alicimocoris japonensis</i>			
255		ツノカメムシ	モンキツノカメムシ	<i>Sastragala scutellata</i>			
256			エサキモンキツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>			
257			ヒメツノカメムシ	<i>Elasmucha putoni</i> ?			
258			虫-14	虫-14			
259			セアカツノカメムシ	<i>Acanthosoma denticauda</i>			
260			オオツノカメムシ	<i>Anaxandra gigantea</i>			
261	ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>			
262	アミメカゲロウ	ヒロバカゲロウ	キマダラヒロバカゲロウ	<i>Spilosmylus flavicornis</i>			
263		クサカゲロウ	スズキクサカゲロウ	<i>Chrysoperla suzukii</i>			
264			クロヒゲフタモンクサカゲロウ	<i>Pseudomallada ussurensis</i>			
265			アミメクサカゲロウ	<i>Nacaura matsumurae</i>			
266		コマダラウスバカゲロウ	ウスバカゲロウ	<i>Hagenomyia micans</i>			
267			コマダラウスバカゲロウ	<i>Dendroleon jezoensis</i>			
268		センブリ	虫-15	虫-15			
269	コウチュウ	ヒゲフトオサムシ	エグリゴミムシ	<i>Eustra japonica</i>			
270		ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	<i>Cicindela kalea yedoensis</i>			
271			コハンミョウ	<i>Myriochile speculifera</i>			
272		オサムシ	アオオサムシ	<i>Carabus insulicola insulicola</i>			
273			ヒメヒョウタンゴミムシ	<i>Clivina niponensis</i>			
274			セダカコミスギワゴミムシ	<i>Elaphropus nipponicus</i>			
275			ウスオビコミスギワゴミムシ	<i>Paratachys sericans</i>			
276			ウスモンコミスギワゴミムシ	<i>Tachyura fuscicauda</i>			
277			ヨツモンコミスギワゴミムシ	<i>Tachyura laetifica</i>			
278			ムネミゾマルゴミムシ	<i>Caelostomus picipes japonicus</i>			
279			オオゴミムシ	<i>Lesticus magnus</i>			
280			虫-16	虫-16			
281			虫-17	虫-17			
282			コガシラナガゴミムシ	<i>Pterostichus microcephalus</i>			
283			ヒメホソナガゴミムシ	<i>Pterostichus rotundangulus</i>			
284			虫-18	虫-18			
285			ヨリトモナガゴミムシ	<i>Pterostichus yoritomus</i>			
286			アオグロヒラタゴミムシ	<i>Agonum chalconus</i>			
287			オオアオモリヒラタゴミムシ	<i>Colpodes buchani</i>			
288			ルリヒラタゴミムシ	<i>Dicranoncus femoralis</i>			
289			オオヒラタゴミムシ	<i>Platynus magnus</i>			
290			マルガタツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>			
291			クロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus cycloclerus</i>			
292			ヒメツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus dulcigradus</i>			
293			オオクロツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus nitidus</i>			
294			セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>			
295			キアシマルガタゴミムシ	<i>Amara ampliata</i>			
296			ニセマルガタゴミムシ	<i>Amara congrua</i>			
297			ナガマルガタゴミムシ	<i>Amara macronota ovalipennis</i>			
298			ホシボシゴミムシ	<i>Anisodactylus punctatipennis</i>			
299			オオホシボシゴミムシ	<i>Anisodactylus sadoensis</i>			
300			ヒメケゴモクムシ	<i>Harpalus jurecki</i>			
301			クロゴモクムシ	<i>Harpalus niigatanus</i>			
302			ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>			
303			アカアシマルガタゴモクムシ	<i>Harpalus tinctulus</i>			
304			コゴモクムシ	<i>Harpalus tridens</i>			
305			カラカネゴモクムシ	<i>Platymetopus flavilabris</i>			
306			クビアカツヤゴモクムシ	<i>Trichotichnus longitarsis</i>			
307			キイロチビゴモクムシ	<i>Acupalpus inornatus</i>			
308			マルヒメゴモクムシ	<i>Bradycellus fimbriatus</i>			
309			コクロヒメゴモクムシ	<i>Bradycellus subditus</i>			
310			マメゴモクムシ	<i>Stenolophus fulvicornis</i>			
311			虫-19	虫-19			
312			ムネアカマメゴモクムシ	<i>Stenolophus propinquus</i>			
313			虫-20	虫-20			
314			コキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius circumdatus</i>			
315			ヒメキベリアオゴミムシ	<i>Chlaenius inops</i>			
316			ニセコガシラアオゴミムシ	<i>Chlaenius kurosawai</i>			
317			オオアトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius micans</i>			
318			アトボシアオゴミムシ	<i>Chlaenius naeviger</i>			
319			アオゴミムシ	<i>Chlaenius pallipes</i>			
320			スジアオゴミムシ	<i>Haplochlaenius costiger</i>			

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献 川名緑地 新林公園
					現地 まとめ		
321	コウチュウ	オサムシ	ニセトクリゴミムシ	<i>Oodes helopioides tokyoensis</i>			
322			チャバネクビナガゴミムシ	<i>Odacantha aegrota</i>			
323			カドツブゴミムシ	<i>Pentagonica angulosa</i>			
324			アオアトキリゴミムシ	<i>Calleida onoha</i>			
325			ミスギワアトキリゴミムシ	<i>Demetrius marginicollis</i>			
326			コヨツボシアトキリゴミムシ	<i>Dolichoctis striatus striatus</i>			
327			ペーツホソアトキリゴミムシ	<i>Dromius batesi</i>			
328			フタホシアトキリゴミムシ	<i>Lebia bifenestrata</i>			
329			コルリアトキリゴミムシ	<i>Lebia viridis</i>			
330			ヒラタアトキリゴミムシ	<i>Parena cavipennis</i>			
331			クロヘリアトキリゴミムシ	<i>Parena nigrolineata nipponensis</i>			
332		ホソクビゴミムシ	オオホソクビゴミムシ	<i>Brachinus scotomedes</i>			
333		ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ	<i>Agabus japonicus</i>			
334			ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus pulverosus</i>			
335			ハイイロゲンゴロウ	<i>Eretes sticticus</i>			
336		ガムシ	ヒメセマルガムシ	<i>Coelostoma orbiculare</i>			
337			セマルマダガムシ	<i>Magasternum gibbulum</i>			
338			コウセンマルケシガムシ	<i>Peratogonus reversus</i>			
339			キベリヒラタガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>			
340		エンマムシ	コエンマムシ	<i>Margarinotus (Grammostethus) niponicus</i>			
341		ムクゲキ/コムシ	Wankowiczium 属の一種	<i>Wankowiczium</i> sp.			
342		タマキ/コムシ	オチバヒメタマキ/コムシ	<i>Colenis terrena</i>			
343			チャイロヒメタマキ/コムシ	<i>Pseudoliodes strigosulus</i>			
344			セマルタマキ/コムシ	<i>Cyrtoplastus seriepunctatus</i>			
345		チビシテムシ	ニセチビシテムシ	<i>Ptomaphagus sibiricus</i>			
346		シテムシ	ヨツボシモンシテムシ	<i>Nicrophorus quadripunctatus</i>			
347			オオヒラタシテムシ	<i>Eusilpha japonica</i>			
348		ハネカクシ	セスジチビハネカクシ	<i>Micropeplus fulvus japonica</i>			
349			セマルハバビロハネカクシ	<i>Megarthus convexus</i>			
350			シリプトヨツメハネカクシ	<i>Euedectus rufulus</i>			
351			ネアカヨツメハネカクシ	<i>Lesteva plagiata</i>			
352			アロウヨツメハネカクシ	<i>Olophrum arrowi</i>			
353			フトツハネカクシ	<i>Osoarius angustulus</i>			
354			ホソフタホシメダカハネカクシ	<i>Stenus alienus</i>			
355			アシマダラメダカハネカクシ	<i>Stenus cicidelooides</i>			
356			ルイスメダカハネカクシ	<i>Stenus lewisius</i>			
357			コクロメダカハネカクシ	<i>Stenus melanarius verecundus</i>			
358			ザウルテルメダカハネカクシ	<i>Stenus sauteri</i>			
359			クロツヤメダカハネカクシ	<i>Stenus velox</i>			
360			Stenus 属の一種	<i>Stenus</i> sp.			
361			フタホシシリグロハネカクシ	<i>Astenus bicolor</i>			
362			Astenus 属の一種	<i>Astenus</i> sp.			
363			クロズトガリハネカクシ	<i>Lithocharis nigriceps</i>			
364			ヒメアバタコバネハネカクシ	<i>Nazeris optatus</i>			
365			クロナガエハネカクシ	<i>Ochtheophilum densipenne</i>			
366			アオバアリガタハネカクシ	<i>Paederus fuscipes</i>			
367			クビボンハネカクシ	<i>Rugilus rufescens</i>			
368			クロヒゲオレハネカクシ	<i>Acylophorus honshuensis</i>			
369			ムネビロハネカクシ	<i>Algon grandicollis</i>			
370			チャムネハラホソハネカクシ	<i>Atanygnathus terminalis</i>			
371			ツマグロアカバハネカクシ	<i>Hesperus tiro</i>			
372			オオドウガネコガシラハネカクシ	<i>Philonthus lewisius</i>			
373			キヌコガシラハネカクシ	<i>Philonthus sericans</i>			
374			ヘリアカバコガシラハネカクシ	<i>Philonthus solidus</i>			
375			ドウガネハネカクシ	<i>Platyracus circumcinctus</i>			
376			ヤマトイクビハネカクシ	<i>Mycetoporus discoidalis</i>			
377			クロヒゲヒメキノコハネカクシ	<i>Sepedophilus armatus</i>			
378			クロズシリホソハネカクシ	<i>Tachyporus celatus</i>			
379			Atheta 属の一種	<i>Atheta</i> sp.			
380			キバナセミソハネカクシ	<i>Falagna sapida</i>			
381		アリヅカムシ	ハケスネアリヅカムシ	<i>Batriscenaulax furuhatai</i>			
382			Batrisoplisus sagamianus	<i>Batrisoplisus sagamianus</i>			
383			ヒゲブトムネトゲアリヅカムシ	<i>Petaloscopus basicornis</i>			
384			Bryaxis 属の一種	<i>Bryaxis</i> sp.			
385			Morana elegans	<i>Morana elegans</i>			
386			Nipponobythus 属の一種	<i>Nipponobythus</i> sp.			
387			オオトゲアリヅカムシ	<i>Lasinus spinosus</i>			
388			コヤマトヒゲブトアリヅカムシ	<i>Diatiger fossulatus fossulatus</i>			
389		コケムシ	ムナビロコケムシ	<i>Cephennium japonicum</i>			
390			シリプトヒメコケムシ	<i>Euconnus fustiger</i>			
391		デオキ/コムシ	エグリデオキ/コムシ	<i>Scaphidium emarginatum</i>			
392			ヤマトデオキ/コムシ	<i>Scaphidium japonum</i>			
393			クワイロケシデオキ/コムシ	<i>Scaphisoma castaneipenne</i>			
394			ツマキケシデオキ/コムシ	<i>Scaphisoma haemorrhoidale</i>			
395			アカミケシデオキ/コムシ	<i>Scaphisoma rubrum</i>			
396			ササゴケシデオキ/コムシ	<i>Scaphisoma sasagoense</i>			
397			Scaphisoma 属の一種	<i>Scaphisoma</i> sp.			
398			アカホソケシデオキ/コムシ	<i>Scaphobaeocera gracilis</i>			
399		マルハナノミ	アカチャチビマルハナノミ	<i>Cyphon japonicola</i>			
400			ウスチャチビマルハナノミ	<i>Cyphon sasagawai</i>			

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献 川名緑地 新林公園		
					現地 まとめ				
401	コウチュウ	マルハナミ	Cyphon属の一種	Cyphon sp.					
402			コキムネマルハナミ	Sacodes nakanei					
403			クワガタムシ	クワガタ	Dorcus rectus rectus				
404			センチュウガネ	センチュウガネ	Phelotrupes (Eogeotrupes) laevistriatus				
405			コガネムシ	マメダルマコガネ	Panelus parvulus				
406				コブマルエンマコガネ	Onthophagus (Gibbonthophagus) atripennis				
407				ツヤエンマコガネ	Onthophagus (Parascatonomus) nitidus				
408				クロマルエンマコガネ	Onthophagus (Phanaeomorphus) ater				
409				マグソコガネ	Aphodius (Phaeaphodius) rectus				
410				ナガチャコガネ	Heptophylla picea				
411				クロコガネ	Holotrichia (Holotrichia) kiotonensis				
412				コクロコガネ	Holotrichia (Holotrichia) picea				
413				ハイロピロウドコガネ	Paraserica gricea				
414				コイチャコガネ	Adoretus (Lepadoretus) tenuimaculatus				
415				アオドウガネ	Anomala albopilosa albopilosa				
416				サクラコガネ	Anomala daimiana				
417				ヒメコガネ	Anomala rufocuprea				
418				スジコガネ	Anomala testaceipes				
419				コフキコガネ	Melolontha japonica				
420				オオコフキコガネ	Melolontha frater				
421				セマダラコガネ	Blitopertha orientalis				
422				マメコガネ	Popilla japonica				
423				ヒラタハナムグリ	Nipponovalgus angusticollis angusticollis				
424				アオハナムグリ	Cetonia (Eucetonia) roelofsi roelofsi				
425				コアオハナムグリ	Oxyctetonia jucunda				
426				カナブン	Pseudotorynorrhina japonica				
427				クロカナブン	Rhomborhina (Rhomborhina) polita				
428				虫-21	虫-21				
429				カブトムシ	Trypoxylus (Trypoxylus) dichotomus septentrionalis				
430				ナガハナノミ	ヒゲナガハナノミ	Paralichas pectinatus			
431				タマムシ	ウグイスナガタマムシ	Agrilus tempestivus			
432			Agrilus属の一種		Agrilus sp.				
433			クズノチビタマムシ		Trachys auricollis				
434			コウソチビタマムシ		Trachys broussonetiae				
435			マメチビタマムシ		Trachys reitteri				
436			サシゲチビタマムシ		Trachys robusta				
437			アカガネチビタマムシ		Trachys tsushimae				
438			コメツキムシ		ヒゲコメツキ	Pectocera hige hige			
439				サビキコリ	Agrypnus (Agrypnus) binodulus binodulus				
440				ムナビロサビキコリ	Agrypnus (Agrypnus) cordicollis				
441				ヒメサビキコリ	Agrypnus (Colaulon) scrofa scrofa				
442				オオクシヒゲコメツキ	Tetrigus lewisi				
443	マダラチビコメツキ	Prodrasterius agnatus							
444	オオシモフリコメツキ	Actenicerus orientalis							
445	アカヒゲヒラタコメツキ	Neopristiphorus serrifer serrifer							
446	アカハラクロコメツキ	Ampedus (Ampedus) hypogastricus hypogastricus							
447	ヒメクロコメツキ	Ampedus (Pseudelater) carbunculus							
448	アラハダチャイロコメツキ	Reitterelater rugipennis							
449	クリイロニセコメツキ	Podeonius aquilus aquilus							
450	キバネホソコメツキ	Dolerosomus gracilis							
451	ヒメオオナガコメツキ	Nipponoelater kometsuki							
452	オオナガコメツキ	Nipponoelater sieboldi sieboldi							
453	キバネクチボソコメツキ	Glyphonyx bicolor bicolor							
454	クチブトコメツキ	Silesis musculus musculus							
455	ヒラタクロクシコメツキ	Melanotus correctus correctus							
456	コガタクシコメツキ	Melanotus erythropygus erythropygus							
457	マルクビクシコメツキ	Melanotus fortnumi fortnumi							
458	クシコメツキ	Melanotus legatus legatus							
459	ルイスクシコメツキ	Melanotus lewisi lewisi							
460	Melanotus属の一種	Melanotus sp.							
461	ヒラタクシコメツキ	Spheniscosomus koikei							
462	ヒゲフトコメツキ	Aulonothroscus longulus							
463	コメツキダマシ	Dirrhagus foveolatus							
464	ベニボタル	ベニボタル		Lycostomus modestus					
465		クロハナボタル	Plateros coracinus						
466	ホタル	ゲンジボタル	Luciola cruciata						
467		虫-22	虫-22						
468		オハボタル	Lucidina biplagiata						
469		ムネクイロボタル	Cyphonocerus ruficollis						
470		クロマドボタル	Pyrocoelia fumosa						
471	ジョウカイボン	ウスイロクビボソジョウカイ	Asiopodabrus temporalis						
472		ムネアカクロジョウカイ	Lycocerus adusticollis						
473		ウスチャジョウカイ	Athemellus insulsus						
474		ニセヒメジョウカイ	Lycocerus lineatipennis						
475		オカベセボソジョウカイ	Lycocerus okabei okabei						
476		ジョウカイボン	Lycocerus suturellus suturellus						
477		セボソジョウカイ	Lycocerus vitellinus						
478		ヤトセスジョウカイ	Lycocerus yato						
479	Podabrus属の一種	Podabrus sp.							
480		ヒガシマルムネジョウカイ	Prothemus reini						

【陸上昆虫類等確認種目録】(7/13)

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献	
					現地 まとめ		川名緑地 新林公園	
481	コウチュウ	ジョウカイボン	アオジョウカイ	<i>Themus (Themus) cyanipennis</i>				
482			クロツマキジョウカイ	<i>Malthinus japonicus</i>				
483		カツオブシムシ	ヒメマルカツオブシムシ	<i>Anthrenus verbasci</i>				
484			シバンムシ	ヒメトサカシバンムシ	<i>Anhedobia capucina</i>			
485			ツツガタシバンムシ	<i>Gastrallus affinis</i>				
486		コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト	<i>Ancyrona haroldi</i>				
487		カッコウムシ	ムナグロナガカッコウムシ	<i>Opilo niponicus</i>				
488		ジョウカイモドキ	クギヌキヒメジョウカイモドキ	<i>Ebaeus oblongulus</i>				
489			ツマキアオジョウカイモドキ	<i>Malachius prolongatus</i>				
490		ケシキスイ	クリイロデオキスイ	<i>Carpophilus marginellus</i>				
491			クロモンムクゲケシキスイ	<i>Aethina maculicollis</i>				
492			ナガコゲチャケシキスイ	<i>Amphicrossus lewisi</i>				
493			モンチビヒラタケシキスイ	<i>Haptoncus ocularis</i>				
494			キノコヒラタケシキスイ	<i>Physoronia explanata</i>				
495			マルガタカケシキスイ	<i>Pocadites japonus</i>				
496			キマダラケシキスイ	<i>Soronia japonica</i>				
497			クロキマダラケシキスイ	<i>Soronia lewisi</i>				
498			マルキマダラケシキスイ	<i>Stelidota multiguttata</i>				
499			キベリチビケシキスイ	<i>Meligethes violaceus</i>				
500			ヨツボシケシキスイ	<i>Librodor japonicus</i>				
501			ヒメハナムシ	ベニモンアシナガヒメハナムシ	<i>Heterolitus coronatus</i>			
502				キイロアシナガヒメハナムシ	<i>Heterolitus nipponicus</i>			
503			トビイロヒメハナムシ	<i>Olibrus consanguineus</i>				
504		ツツヒラタムシ	ツツヒラタムシ	<i>Ancistria apicalis</i>				
505		ホソヒラタムシ	カドコブホソヒラタムシ	<i>Ahasverus advena</i>				
506			ホソムネホソヒラタムシ	<i>Silvanoprus angusticollis</i>				
507			ミツカドコナヒラタムシ	<i>Silvanoprus scuticollis</i>				
508			ミツモンセマルヒラタムシ	<i>Psammoecus triguttatus</i>				
509		キスイムシ	Cryptophagus 属の一種	<i>Cryptophagus</i> sp.				
510			クロノコムネキスイ	<i>Henoticus japonicus</i>				
511			ケナガセマルキスイ	<i>Atomaria horridula</i>				
512			マルガタキスイ	<i>Curelius japonicus</i>				
513		オオキスイムシ	ヨツボシオオキスイ	<i>Helota gemmata</i>				
514		ムクゲキスイムシ	ハスモンムクゲキスイ	<i>Biphyllus rufopictus</i>				
515			クリイロムクゲキスイ	<i>Biphyllus throscooides</i>				
516		コメツキモドキ	ヒメムクゲオオキノコ	<i>Cryptophilus propinquus</i>				
517			ケナガマルキスイ	<i>Toramus glisonothoides</i>				
518			チビコメツキモドキ	<i>Henoticus triphylloides</i>				
519			ケシコメツキモドキ	<i>Microlanguria jansoni</i>				
520		オオキノコムシ	クロチビオオキノコ	<i>Tritoma niponensis</i>				
521			ヒメオビオオキノコ	<i>Episcapha fortunei</i>				
522		ミジンムシ	チャイロミジンムシ	<i>Alloparmulus rugosus</i>				
523			マエキミジンムシ	<i>Arthrolips oblongus</i>				
524			ベニモンツヤミジンムシ	<i>Parmulus politus</i>				
525		テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ	<i>Ancylopus pictus asiaticus</i>				
526			キボシテントウダマシ	<i>Mycetina amabilis</i>				
527		テントウムシ	ハレヤヒメテントウ	<i>Pseudoscymnus hareja</i>				
528			クビアカヒメテントウ	<i>Pseudoscymnus sylvaticus</i>				
529			ツマアカヒメテントウ	<i>Scymnus (Pullus) dorcatomoides</i>				
530			カグヤヒメテントウ	<i>Scymnus (Pullus) kaguyahime</i>				
531	カワムラヒメテントウ		<i>Scymnus (Pullus) kawamurai</i>					
532	コクロヒメテントウ		<i>Scymnus (Pullus) postalialis</i>					
533	ナガヒメテントウ		<i>Scymnus (Pullus) ruficeps</i>					
534	Scymnus 属の一種		<i>Scymnus</i> sp.					
535	ミスジキイロテントウ		<i>Brumoides ohtai</i>					
536	ヒメアカホシテントウ		<i>Chilocorus kuwanae</i>					
537	フタモンクロテントウ		<i>Cryptogonus orbiculus</i>					
538	ヨツボシテントウ		<i>Phymatosternus lewisii</i>					
539	クロテントウ		<i>Telsimia nigra</i>					
540	シロジュウシホシテントウ		<i>Calvia (Anisocadvia) quatuordecimguttata</i>					
541	ムーアシロホシテントウ		<i>Calvia (Eocaria) muiri</i>					
542	ナナホシテントウ		<i>Coccinella septempunctata</i>					
543	ナミテントウ		<i>Harmonia axyridis</i>					
544	キイロテントウ	<i>Illeis koebelei koebelei</i>						
545	ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>						
546	トホシテントウ	<i>Epilachna admirabilis</i>						
547	ルイヨウマダラテントウ	<i>Epilachna yasutomii ?</i>						
548	ヒメマキムシ	クビレヒメマキムシ	<i>Cartodere constricta</i>					
549		ニセクロオビケシマキムシ	<i>Corticaria geisha</i>					
550		ヤマトケシマキムシ	<i>Melanophthalma japonica</i>					
551	ムキヒゲホソカタムシ	虫-23	虫-23					
552	ツツキノコムシ	ツヤヒメツツキノコムシ	<i>Ceracis japonus</i>					
553		ゴマフツツキノコムシ	<i>Cis hieroglyphicus</i>					
554		Cis 属の一種	<i>Cis</i> sp.					
555		マダラホソツツキノコムシ	<i>Orthocis ornatus</i>					
556	ナガクチキムシ	アヤモンヒメナガクチキ	<i>Holostrophus orientalis</i>					
557		ビロウドホソナガクチキ	<i>Phloeotrya obscura</i>					
558		クロホソナガクチキ	<i>Phloeotrya rugicollis</i>					
559	ハナノミ	Ermischella 属の一種	<i>Ermischella</i> sp.					
560		カミキリモドキ	カトウカミキリモドキ	<i>Nacerdes (Xanthochroa) katoi</i>				

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献 川名緑地 新林公園		
					現地 まとめ				
561	コウチュウ	カミキリモドキ	モモブトカミキリモドキ	<i>Oedemera (Oedemera) lucidicollis</i>					
562			キアシカミキリモドキ	<i>Oedemera (Oedemera) manicata</i>					
563		アリモドキ	キアシクビボソムシ	<i>Macratris japonica</i>					
564			ホソクビアリモドキ	<i>Formicomus braminus coffaiti</i>					
565		ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ	<i>Anaspis marseuli</i>					
566		チビキカワムシ	クリイロチビキカワムシ	<i>Lissodema (Lissodema) dentatum</i>					
567	ハムシダマシ		ニセハムシダマシ	<i>Lagria nigricollis</i>					
568			ハムシダマシ	<i>Lagria rufipennis</i>					
569			チビヒサゴゴミムシダマシ	<i>Laena rotundicollis rotundicollis</i>					
570	クチキムシ		ヒゲブトゴミムシダマシ	<i>Luprops orientalis</i>					
571			オオクチキムシ	<i>Allecula fuliginosa</i>					
572			クチキムシ	<i>Allecula melanaria</i>					
573			ウスイロクチキムシ	<i>Allecula simiola</i>					
574			ホソアカクチキムシ	<i>Allecula tenuis</i>					
575			<i>Allecula</i> 属の一種	<i>Allecula</i> sp.					
576			ゴミムシダマシ		ニジゴミムシダマシ	<i>Tetraphyllus lunuliger</i>			
577	ナガニジゴミムシダマシ	<i>Ceropria induta</i>							
578	モンキゴミムシダマシ	<i>Diaperis lewisi lewisi</i>							
579	ツノボソキノゴミムシダマシ	<i>Platydemia recticorne</i>							
580	アメイロホソゴミムシダマシ	<i>Hypophloeus gentilis</i>							
581	エグリゴミムシダマシ	<i>Uloa marseuli marseuli</i>							
582	ズビロキマワリモドキ	<i>Gnesis helopioides helopioides</i>							
583	ミツノゴミムシダマシ	<i>Toxicum tricomutum</i>							
584	キマワリ	<i>Plesiophthalmus nigrocyaneus nigrocyaneus</i>							
585	セズジナガキマワリ	<i>Strongylium cultellatum</i>							
586	ホソカミキリムシ	ホソカミキリ	<i>Distenia gracilis gracilis</i>						
587	カミキリムシ		ウスバカミキリ	<i>Megopsis sinica</i>					
588			ツマグロハナカミキリ	<i>Leptura modicenotata</i>					
589			ヨツスジハナカミキリ	<i>Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata</i>					
590			キマダラミヤマカミキリ	<i>Aeolesthes (Pseudaeolesthes) chrysothrix chrysothrix</i>					
591			カッコウメダカカミキリ	<i>Stenhomalus cleroides</i>					
592			コジマヒゲナガコバネカミキリ	<i>Glaphyra (Glaphyra) kojimai</i>					
593			ヨツスジトラカミキリ	<i>Chlorophorus quinquefasciatus</i>					
594			キンケトラカミキリ	<i>Clytus auripilis</i>					
595			トゲヒゲトラカミキリ	<i>Demonax transilis</i>					
596			ヒメクロトラカミキリ	<i>Rhaphuma diminuta diminuta</i>					
597			カノコサビカミキリ	<i>Apomecyna naevia naevia</i>					
598			シナノクロフカミキリ	<i>Asaperda agapanthina</i>					
599			コブスジサビカミキリ	<i>Atimura japonica</i>					
600			ヒシカミキリ	<i>Microtera ptinoides</i>					
601			ニイジマチビカミキリ	<i>Egesina (Nijimaia) bifasciana bifasciana</i>					
602			ナカジロサビカミキリ	<i>Pterolophia (Ale) jugosa jugosa</i>					
603			アトモンサビカミキリ	<i>Pterolophia (Pterolophia) granulata</i>					
604			アトジロサビカミキリ	<i>Pterolophia (Pterolophia) zonata</i>					
605			ベニカミキリ	<i>Purpuricenus (Sternoplistes) temminckii</i>					
606			ピロウドカミキリ	<i>Acalolepta fraudatrix fraudatrix</i>					
607			センノキカミキリ	<i>Acalolepta luxuriosa luxuriosa</i>					
608			ニセピロウドカミキリ	<i>Acalolepta sejuncta sejuncta</i>					
609			ヒメヒゲナガカミキリ	<i>Monochamus (Monochamus) subfasciatus subfasciatus</i>					
610			キボシカミキリ	<i>Psacotheta hilaris hilaris</i>					
611			ヤハズカミキリ	<i>Uraecha bimaculata bimaculata</i>					
612			チャボヒゲナガカミキリ	<i>Xenicotelia pardalina</i>					
613			チビコブカミキリ	<i>Miccolamia (Isomiccolamia) verrucosa</i>					
614			ケシカミキリ	<i>Sciades (Miaenia) tonsus</i>					
615			シラハタリンゴカミキリ	<i>Oberea shirahatai</i>					
616			ラミーカミキリ	<i>Paraglenea fortunei</i>					
617			ハムシ		ネムノキマメソウムシ	<i>Bruchidius terrenus</i>			
618					キオビクビボソハムシ	<i>Lema delicatula</i>			
619					アカクビボソハムシ	<i>Lema diversa</i>			
620					ヤマイモハムシ	<i>Lema honorata</i>			
621					キイロクビナガハムシ	<i>Lilioceris rugata</i>			
622					バラルリツツハムシ	<i>Cryptocephalus approximatus</i>			
623					カシワコブハムシ	<i>Chlamisus consimilis</i>			
624					ムシクソハムシ	<i>Chlamisus spilotus</i>			
625					ドウガネツヤハムシ	<i>Oomorhoides cupreatus</i>			
626					アオグロツヤハムシ	<i>Oomorhoides nigrocaeruleus</i>			
627	アカガネサルハムシ	<i>Acrothinium gaschkevitchii gaschkevitchii</i>							
628	アオバネサルハムシ	<i>Basilepta fulvipes</i>							
629	チビカサハラハムシ	<i>Demotina decorata</i>							
630	マダラアラゲサルハムシ	<i>Demotina fasciculata</i>							
631	クロオビカサハラハムシ	<i>Hyperaxis fasciata</i>							
632	<i>Pagria</i> 属の一種	<i>Pagria</i> sp.							
633	ドウガネサルハムシ	<i>Scelodonta lewisii</i>							
634	ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>							
635	フジハムシ	<i>Gonioctena rubripennis</i>							
636	ウリハムシ	<i>Aulacophora femoralis</i>							
637	クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>							
638	キバラヒメハムシ	<i>Exosoma flaviventre</i>							
639	クワハムシ	<i>Fleutiauxia armata</i>							
640	イチゴハムシ	<i>Galerucella griseescens</i>							

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献
					現地 まとめ		川名緑地 新林公園
641	コウチュウ	ハムシ	フタスジヒメハムシ	<i>Medythia nigrobilineata</i>			
642			イチモンジハムシ	<i>Morphosphaera japonica</i>			
643			ブタクサハムシ	<i>Ophraella communa</i>			
644			アトボシハムシ	<i>Paridea angulicollis</i>			
645			ヨツボシハムシ	<i>Paridea quadriplagiata</i>			
646			キタカミナリハムシ	<i>Altica japonica</i>			
647			アカバナカミナリハムシ	<i>Altica oleracea</i>			
648			ヤナギルリハムシ	<i>Plagiodera versicolora</i>			
649			ツブノミハムシ	<i>Aphthona perminuta</i>			
650			サメハダツブノミハムシ	<i>Aphthona strigosa</i>			
651			ホソルリトビハムシ	<i>Aphthona altica angustata</i>			
652			テントウノミハムシ	<i>Argopistes biplagiatus</i>			
653			クラークマルノミハムシ	<i>Argopus clarki</i>			
654			オオアカマルノミハムシ	<i>Argopus clypeatus</i>			
655			ヒサゴトビハムシ	<i>Chaetocnema ingenua</i>			
656			キバナマルノミハムシ	<i>Hemipyxis flavipennis</i>			
657			キアシノミハムシ	<i>Luperomorpha tenebrosa</i>			
658			Neocrepidodera 属の一種	<i>Neocrepidodera</i> sp.			
659			タマアシトビハムシ	<i>Philopona vibex</i>			
660			フタボシオノミハムシ	<i>Pseudodera xanthospila</i>			
661			キイロタマノミハムシ	<i>Sphaeroderma unicolor</i>			
662			ガマズミトビハムシ	<i>Zipangia obscura</i>			
663			ジンガサハムシ	<i>Aspidomorpha indica</i>			
664			イノコヅチカメノコハムシ	<i>Cassida piperata</i>			
665		ヒゲナガゾウムシ	キスジヒゲナガゾウムシ	<i>Aphaulmia debilis</i>			
666			ウスモンツツヒゲナガゾウムシ	<i>Ozotomerus japonicus japonicus</i>			
667			カオジロヒゲナガゾウムシ	<i>Sphinctotropis laxa</i>			
668			スネアカヒゲナガゾウムシ	<i>Autotropis distinguenda</i>			
669			コモンヒメヒゲナガゾウムシ	<i>Rhaphitropis guttifer guttifer</i>			
670			アカアシヒゲナガゾウムシ	<i>Araecerus tarsalis</i>			
671		オトシブミ	ヒメクロオトシブミ	<i>Apoderus (Compsapoderus) erythrogaster</i>			
672			ウスモンオトシブミ	<i>Apoderus (Leptapoderus) balteatus</i>			
673			ルリオトシブミ	<i>Euops (Synaptops) punctatostriatus</i>			
674			カシルリオトシブミ	<i>Euops (Synaptops) splendidus</i>			
675		チョッキリゾウムシ	チャイロチョッキリ	<i>Aderorhinus crioceroides</i>			
676			ブドウハマキチョッキリ	<i>Byctiscus (Aspidobyctiscus) lacunipennis</i>			
677			ルリイキビチョッキリ	<i>Deporaus (Caenorhinus) mannerheimi</i>			
678		ホソクチゾウムシ	アカクチホソクチゾウムシ	<i>Microconapion pallidirostre</i>			
679		チビゾウムシ	Nanophyes 属の一種	<i>Nanophyes</i> sp.			
680		オサゾウムシ	ササコクゾウムシ	<i>Diocalandra sasa</i>			
681			トホシオサゾウムシ	<i>Aplotes roelofsi</i>			
682		ゾウムシ	Otibazo 属の一種	<i>Otibazo</i> sp.			
683			ホソアナアキゾウムシ	<i>Pimelocerus elongatus</i>			
684			マダラアシゾウムシ	<i>Ectatorhinus adamsii</i>			
685			オジロアシナガゾウムシ	<i>Ornatolcides (Mesalcidodes) trifidus</i>			
686			シバタカレキゾウムシ	<i>Acicnemis shibatai</i>			
687			ダルマカレキゾウムシ	<i>Trachodes (Trachodes) subfasciatus</i>			
688			ハスジカツオゾウムシ	<i>Lixus acutipennis</i>			
689			Shirahoshizo 属の一種	<i>Shirahoshizo</i> sp.			
690			ヒサゴクチカクシゾウムシ	<i>Simulatacalles simulator</i>			
691			タカオマルクチカクシゾウムシ	<i>Orochlesis takaosana</i>			
692			ヒメクチカクシゾウムシ	<i>Syrotelus umbrosus</i>			
693			チャバネクイゾウムシ	<i>Kojimazo lewisii</i>			
694			オオナガクイゾウムシ	<i>Oxydema longula</i>			
695			メダカケブカクイゾウムシ	<i>Pholidoforus squamosus</i>			
696			ヒレアマメクイゾウムシ	<i>Choerorhinus explanatus</i>			
697			マツクチブトクイゾウムシ	<i>Stenoscelis (Stenoscelis) gracilitarsis</i>			
698			レロフチビシギゾウムシ	<i>Archarius (Toptana) roelofsi</i>			
699			ヒゲブシギゾウムシ	<i>Curculio (Curculio) breviscapus</i>			
700			ユアサハナゾウムシ	<i>Anthonomus (Anthonomus) yuasai</i>			
701			ムネスジノミゾウムシ	<i>Orchestes (Orchestes) amurensis</i>			
702			エノキノミゾウムシ	<i>Orchestes (Orchestes) horii</i>			
703			カシワノミゾウムシ	<i>Orchestes (Orchestes) japonicus</i>			
704			アカアシノミゾウムシ	<i>Orchestes (Orchestes) sanguinipes</i>			
705			タバゲササラゾウムシ	<i>Demimaea fascicularis</i>			
706			カナムグラヒメゾウムシ	<i>Psilarthroides czerskyi</i>			
707			クワヒメゾウムシ	<i>Moreobaris deplanata</i>			
708			サメハダヒメゾウムシ	<i>Nespilobaris nipponica</i>			
709			カナムグラサルゾウムシ	<i>Cardipennis shaowuensis</i>			
710			ケナガサルゾウムシ	<i>Trichocoeliodes excavatus</i>			
711			Mecysmoderes 属の一種	<i>Mecysmoderes</i> sp.			
712			トゲハラヒサセクモゾウムシ	<i>Metialma cordata</i>			
713			Metialma 属の一種	<i>Metialma</i> sp.			
714			オオミスジマルゾウムシ	<i>Phaeopholus major</i>			
715			ミスジマルゾウムシ	<i>Phaeopholus ornatus</i>			
716			ケブカヒメカタゾウムシ	<i>Arrhaphogaster pilosa</i>			
717			カシワクチブトゾウムシ	<i>Myllocerus griseus</i>			
718			チビヒョウタンゾウムシ	<i>Myosides seriehispidus</i>			
719			シロコブゾウムシ	<i>Episomus turritus</i>			
720			ヒメシロコブゾウムシ	<i>Dermatoxenus caescicollis</i>			

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献
					現地まとめ		川名緑地新林公園
721	コウチュウ	ゾウムシ	Asphaltus属の一種	Asphaltus sp.			
722			ヒラスネヒゲボソゾウムシ	Phyllobius (Phyllobius) intrusus			
723			コフキゾウムシ	Eugnathus distinctus			
724			サビヒョウタンゾウムシ	Scepticus griseus			
725			ウスモンカレキゾウムシ	Acicnemis palliata			
726			スグリゾウムシ	Pseudocteniorhinus bifasciatus			
727		キクイムシ	ユメノキクイムシ	Phloeosinus pulchellus			
728			タブノキクイムシ	Scolytogenes expers			
729			カナクギノキクイムシ	Indocryphalus pubipennis			
730			コーヒーキクイムシ	Taphrorychus coffeae			
731			サクキクイムシ	Xylosandrus crassiusculus			
732			ハンノキクイムシ	Xylosandrus germanus			
733			ミカドクイムシ	Scolytotplatypus mikado			
734	ハチ	ハバチ	シダハバチ亜科の一種	Selandriinae Gen. et sp.			
735			セグロカブラハバチ	Athalia infumata			
736			Pachyprotasis属の一種	Pachyprotasis sp.			
737			ハバチ亜科の数種	Tenthredininae Gen. et spp.			
738			ハバチ科の一種	Tenthredinidae Gen. et sp.			
739		コマユバチ	コマユバチ科の数種	Braconidae Gen. et spp.			
740		ヒメバチ	アメバチ亜科の一種	Ophioninae Gen. et sp.			
741			ヒメバチ科の数種	Ichneumonidae Gen. et spp.			
742		シリボソクロバチ	シリボソクロバチ科の一種	Proctotrupidae Gen. et sp.			
743		ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科の一種	Diapriidae Gen. et sp.			
744		カタビロコバチ	カタビロコバチ科の一種	Eurytomidae Gen. et sp.			
745		トビコバチ	トビコバチ科の一種	Encyrtidae Gen. et sp.			
746		ヒメコバチ	ヒメコバチ科の一種	Eulophidae Gen. et sp.			
747		アリガタバチ	アリガタバチ科の数種	Bethylidae Gen. et spp.			
748		アリ	オオハリアリ	Pachycondyla chinensis			
749			アシナガアリ	Aphaenogaster famelica			
750			テラニシシリアゲアリ	Crematogaster (Crematogaster) teranishii			
751			キイロシリアゲアリ	Crematogaster (Orthocrema) osakensis			
752			ヒメアリ	Monomorium intrudens			
753			カドフシアリ	Myrmecina nipponica			
754			シワクシケアリ	Myrmica kotokui			
755			アミメアリ	Pristomyrmex pungens			
756			ムネボソアリ	Temnothorax congruus			
757			ハリナガムネボソアリ	Temnothorax spinosior			
758			トビイロシワアリ	Tetramorium tsushimae			
759			ウメマツアリ	Vollenhovia emeryi			
760			シベリアカタアリ	Dolichoderus sibiricus			
761			クロオオアリ	Camponotus (Camponotus) japonicus			
762			イトウオオアリ	Camponotus (Myrmamblys) itoi			
763			ウメマツオオアリ	Camponotus (Myrmamblys) vitiosus			
764			ヤマヨツボシオオアリ	Camponotus (Myrmamblys) yamaokai			
765			クサオオアリ	Camponotus (Myrmentoma) keihitoi			
766			ミカドオオアリ	Camponotus (Paramyrmamblys) kiusiuiensis			
767			クロヤマアリ	Formica japonica			
768			キイロケアリ	Lasius (Cautolasius) flavus			
769			アメイロケアリ	Lasius (Chthonolasius) umbratus			
770			クサアリモドキ	Lasius (Dendrolasius) spathepus			
771			トビイロケアリ	Lasius (Lasius) japonicus			
772			アメイロアリ	Paratrechina flavipes			
773		ツチバチ	オオモンツチバチ	Scolia histrionica			
774		ドロバチ	オオフタオビドロバチ	Anterhynchium flavomarginatum			
775			スズバチ	Oreumenes decoratus			
776		スズメバチ	ムモンボソアシナガバチ	Parapolybia indica indica			
777			セグロアシナガバチ	Polistes jokahamae jokahamae			
778			虫-24	虫-24			
779			キアシナガバチ	Polistes rothneyi			
780			コアシナガバチ	Polistes snelleni			
781			コガタスズメバチ	Vespa analis			
782			オオスズメバチ	Vespa mandarina			
783			キイロスズメバチ	Vespa simillima			
784			クロスズメバチ	Vespula flaviceps			
785		アナバチ	ククロアナバチ	Isodontia nigella			
786			ククロアナバチ	Sphex argentatus fumosus			
787		ギングチバチ	シロスジギングチ	Ectemnius (Metacrabro) iridifrons			
788		ヒメハナバチ	キバナヒメハナバチ	Andrena (Chlorandrena) knuthi			
789			Andrena属の一種	Andrena sp.			
790		コハナバチ	Lasioglossum属の一種	Lasioglossum sp.			
791		コシブトハナバチ	クマバチ (キムネクマバチ)	Xylocopa (Alloxylocopa) appendiculata circumvolans			
792			Nomada属の数種	Nomada spp.			
793			ニッポンヒゲナガハナバチ	Eucera (Synhalonia) nipponensis			
794			スジボソコシブトハナバチ	Amegilla florea florea			
795			虫-25	虫-25			
796		ミツバチ	コムルハナバチ	Bombus (Pyrobombus) ardens ardens			
797			セイヨウミツバチ	Apis mellifera			
798			ニホンミツバチ	Apis cerana japonica			
799	シリアゲムシ	シリアゲムシ	ヤマトシリアゲ	Panorpa japonica			
800		ガガンボモドキ科	ヤマトガガンボモドキ	Bittacus nipponicus			

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献
					現地まとめ		川名緑地新林公園
801	ハエ	ガガンボ	カスリガガンボ	<i>Tipula (Acutipula) bubo</i>			
802			キリウジガガンボ	<i>Tipula (Yamatotipula) aino</i>			
803			<i>Tipula</i> 属の一種	<i>Tipula</i> sp.			
804			ミカドガガンボ	<i>Ctenacrosceles mikado</i>			
805			ミスジガガンボ	<i>Gymnastes (Paragymnastes) flavitibia flavitibia</i>			
806			ヒメガガンボ亜科の数種	Limoniinae Gen. et spp.			
807			ガガンボ科の一種	Tipulidae Gen. et sp.			
808			ベッコウガガンボ	<i>Dictenidia pictipennis fasciata</i>			
809	チョウバエ	チョウバエ科の一種	Psychodidae Gen. et sp.				
810	ヌカカ	ヌカカ科の一種	Ceratopogonidae Gen. et sp.				
811	ユスリカ	<i>Cricotopus</i> 属の一種	<i>Cricotopus</i> sp.				
812		ユスリカ科の数種	Chironomidae Gen. et spp.				
813	タマバエ	タマバエ科の数種	Cecidomyiidae Gen. et spp.				
814	キノコバエ	キノコバエ科の一種	Mycetophilidae Gen. et sp.				
815	クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科の数種	Sciaridae Gen. et spp.				
816	ミスアブ	<i>Actina</i> 属の一種	<i>Actina</i> sp.				
817		キバラトゲナシミスアブ	<i>Allognosta japonica</i>				
818		キイロコウカアブ	<i>Ptecticus aurifer</i>				
819		アメリカミスアブ	<i>Hermetia illucens</i>				
820	シギアブ	シギアブ科の一種	Rhagionidae Gen. et sp.				
821	ツリアブ	ビロードツリアブ	<i>Bombylius major</i>				
822		クロバネツリアブ	<i>Ligyra tantalus</i>				
823	ムシヒキアブ	オオイシアブ	<i>Laphria mitsukurii</i>				
824		シオヤアブ	<i>Promachus yesonicus</i>				
825		アオメアブ	<i>Cophinopoda chinensis</i>				
826		ナミマガリケムシヒキ	<i>Neoitamus angusticornis</i>				
827	アシナガバエ	マダラアシナガバエ	<i>Mesohaga nebulosus</i>				
828		アシナガバエ科の一種	Dolichopodidae Gen. et sp.				
829	ノミバエ	ノミバエ科の一種	Phoridae Gen. et sp.				
830	ハナアブ	ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>				
831		カオグロオビホソヒラタアブ	<i>Meliscaeva omogensis</i>				
832		<i>Melanostoma</i> 属の一種	<i>Melanostoma</i> sp.				
833		キアシマヒラタアブ	<i>Paragus haemorrhous</i>				
834		<i>Cheilosia</i> 属の一種	<i>Cheilosia</i> sp.				
835		ベッコウハナアブ	<i>Volucella jeddona</i>				
836		スイセンハナアブ	<i>Merodon equestris</i>				
837		シマハナアブ	<i>Eristalis (Eoseristalis) cerealis</i>				
838		アシブトハナアブ	<i>Helophilus (Parhelophilus) virgatus</i>				
839		シマアシブトハナアブ	<i>Mesembrius flaviceps</i>				
840	オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>					
841	アリノスアブ	<i>Microdon japonicus</i>					
842	シマバエ	ヒラヤマシマバエ	<i>Homoneura (Homoneura) hirayamae</i>				
843		シマバエ科の一種	Lauxaniidae Gen. et sp.				
844	キモグリバエ	<i>Chlorops</i> 属の一種	<i>Chlorops</i> sp.				
845		キモグリバエ科の一種	Chloropidae Gen. et sp.				
846	ミギワバエ	ミギワバエ科の一種	Ephydriidae Gen. et sp.				
847	ショウジョウバエ	<i>Drosophila</i> 属の数種	<i>Drosophila</i> spp.				
848	フンコバエ	フンコバエ科の一種	Sphaeroceridae Gen. et sp.				
849	フンバエ	ヒメフンバエ	<i>Scathophaga stercoraria</i>				
850	ハナバエ	ハナバエ科の一種	Anthomyiidae Gen. et sp.				
851	イエバエ	<i>Atherigona</i> 属の一種	<i>Atherigona</i> sp.				
852		<i>Phaonia</i> 属の一種	<i>Phaonia</i> sp.				
853		ハナレメイバエ族の一種	Coenosiini Gen. et sp.				
854		イエバエ科の一種	Muscidae Gen. et sp.				
855	クロバエ	<i>Chrysomya</i> 属の一種	<i>Chrysomya</i> sp.				
856	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の数種	Tachinidae Gen. et spp.				
857	ミバエ	ミスジミバエ	<i>Zeugodacus scutellatus</i>				
858	チョウ	ヒゲナガガ	ホソオビヒゲナガ	<i>Nemophora aurifera</i>			
859		ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ	<i>Ippa conspersa</i>			
860		コナガ	コナガ	<i>Plutella xylostella</i>			
861		ヒゲナガキバガ	ゴマフシロハビロキバガ	<i>Scythrioides leucostola</i>			
862			キベリハイヒゲナガキバガ	<i>Homaloxestia myeloxesta</i>			
863			オビカクバネヒゲナガキバガ	<i>Deltoplastis apostatis</i>			
864		Autostichidae	ミツボシキバガ	<i>Autosticha modicella</i>			
865		キバガ	ナラクロオビキバガ	<i>Nuntia incognitella</i>			
866			カバヒロキバガ	<i>Dichomeris heriguronis</i>			
867		ハマキガ	トビモンコハマキ	<i>Neocalyptis congruentana</i>			
868			オオギンスジハマキ	<i>Ptycholoma lecheanum circumclusanum</i>			
869			ヤマモモヒメハマキ	<i>Eudemis gyrotis</i>			
870			コモンギンスジヒメハマキ	<i>Olethreutes subtilanus</i>			
871		マドガ	アカジマドガ	<i>Striglina cancellata</i>			
872		メイガ	フタスジツツリガ	<i>Eulophopalpia pauperalis</i>			
873			ウスベントガリメイガ	<i>Endotricha olivacealis</i>			
874			アオフトメイガ	<i>Orthaga olivacea</i>			
875		ツトガ	ヨシツトガ	<i>Chilo luteellus</i>			
876			シバツトガ	<i>Parapediasia teterella</i>			
877			ヒトスジオオメイガ	<i>Scirpophaga lineata</i>			
878			<i>Bradina</i> 属の一種	<i>Bradina</i> sp.			
879			シロテンノメイガ	<i>Diathrausta brevifascialis</i>			
880			シロテンキノメイガ	<i>Nacoleia commixta</i>			

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献
					現地まとめ		川名緑地新林公園
881	チョウ		<i>Ostrinia</i> 属の一種	<i>Ostrinia</i> sp.			
882			ヘリジロキンノメイガ	<i>Paliq auratalis</i>			
883			クビシロノメイガ	<i>Pileocera aegimiusalis</i>			
884			キムジノメイガ	<i>Prodasyncnemis inornata</i>			
885			シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>			
886			クロスジノメイガ	<i>Tyspanodes striatus striatus</i>			
887	セセリチョウ		ダイミョウセセリ	<i>Daimio tethys</i>			
888			イチモンジセセリ	<i>Pamara guttata guttata</i>			
889			キマダラセセリ	<i>Potanthus flavum</i>			
890			コチャバネセセリ	<i>Thoessa varia</i>			
891			チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias</i>			
892	アゲハチョウ		ジャコウアゲハ	<i>Byasa alcinous alcinous</i>			
893			ホソオチョウ	<i>Sericinus montela</i>		迷蝶	
894			アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon nipponum</i>			
895			カラスアゲハ	<i>Papilio bianor dehaanii</i>			
896			モンキアゲハ	<i>Papilio helenus nicconicolens</i>			
897			キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>			
898			オナガアゲハ	<i>Papilio macilentus</i>			
899			クロアゲハ	<i>Papilio protenor demetrius</i>			
900			ナミアゲハ	<i>Papilio xuthus</i>			
901			ナガサキアゲハ	<i>Papilio memnon</i>			
902	シロチョウ		キタキチョウ	<i>Eurema hecabe</i>			
903			スジグロシロチョウ	<i>Pieris (Artogeia) melete melete</i>			
904			モンシロチョウ	<i>Pieris (Artogeia) rapae crucivora</i>			
905			モンキチョウ	<i>Colias erate</i>			
906			ツマキチョウ	<i>Anthocharis scolymus</i>			
907	シジミチョウ		ムラサキシジミ	<i>Narathura japonica</i>			
908			ムラサキツバメ	<i>Narathura bazalus</i>			
909			ミズイロオナガシジミ	<i>Antigius attilia attilia</i>			
910			アカシジミ	<i>Japonica lutea</i>			
911			オオミドリシジミ	<i>Favonius orientalis</i>			
912			トラフシジミ	<i>Rapala arata</i>			
913			ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>			
914			ヤマトシジミ	<i>Pseudozizeeria maha</i>			
915			ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas daimio</i>			
916			ツバメシジミ	<i>Everes arglades</i>			
917			ウラナミシジミ	<i>Lampides boeticus</i>			
918			ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>			
919	タテハチョウ		テングチョウ	<i>Libythea celtis</i>			
920			アサギマダラ	<i>Parantica sita nipponica</i>			
921			ツマクロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>			
922			イチモンジチョウ	<i>Ladoga camilla japonica</i>			
923			コムスジ	<i>Neptis sappho intermedia</i>			
924			カタテハ	<i>Polygonia c - aureum c - aureum</i>			
925			アカタテハ	<i>Vanessa indica</i>			
926			ヒメアカタテハ	<i>Vanessa cardui</i>			
927			ルリタテハ	<i>Kaniska canace</i>			
928			ゴマダラチョウ	<i>Hestina persimilis japonica</i>			
929			アカボシゴマダラ	<i>Hestina assimilis assimilis</i>			
930			ヒカゲチョウ	<i>Lethe sicelis</i>			
931			サトキマダラヒカゲ	<i>Neope goschkevitschii</i>			
932			クロコノマチョウ	<i>Melanitis phedima oitensis</i>			
933			コジャノメ	<i>Mycalesis francisca perdiccas</i>			
934			ヒメジャノメ	<i>Mycalesis gotama fulginia</i>			
935			ヒメウラナミジャノメ	<i>Ypthima argus</i>			
936			ジャノメチョウ	<i>Minois dryas</i>			
937	ミノガ		チャミノガ	<i>Eumeta minuscula</i>			
938			虫-26	虫-26			
939	スズメガ		モモスズメ	<i>Marumba gaschkewitschii echephron</i>			
940			シモフリスズメ	<i>Psilogamma increta</i>			
941			ピロードスズメ	<i>Rhagastis mongoliana</i>			
942			コスズメ	<i>Theretra japonica</i>			
943			ヒメクロホウジャク	<i>Macroglossum bombylans</i>			
944			ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrhosticta</i>			
945	ヤママユガ		シンジュサン	<i>Samia cynthia pryeri</i>			
946			オオミズアオ	<i>Actias aliena aliena</i>			
947	アゲハモドキガ		アゲハモドキ	<i>Epicopeia hainesii</i>			
948	ハマキガ		ピロードハマキ	<i>Cerace xanthocosma</i>			
949			オオギンズシハマキ	<i>Ptycholoma lecheanum circumclusanum</i>			
950	ハマキモドキガ		コウゾハマキモドキ	<i>Choreutis hyligenes</i>			
951	ヒロズコガ		マダラマルハヒロズコガ	<i>Gaphara conspersa</i>			
952	マダラガ		ホタルガ	<i>Pidorus atratus</i>			
953	スカシバガ		ムナブトヒメスカシバ	<i>Trichocrota constricta</i>			
954	マドガ		マドガ	<i>Thyris usitata</i>			
955	カレハガ		タケカレハ	<i>Euthrix albomaculata directa</i>			
956	カイコガ		クワコ	<i>Bombyx mandarina</i>			
957	ツバメガ		ギンツバメ	<i>Acropterus iphiata</i>			
958	カギバガ		ムラサキカガリバ	<i>Epipsestis ornata</i>			
959			スカシカギバ	<i>Macrauzata maxima maxima</i>			
960	シャクガ		ナカウスエダシャク	<i>Alcis angulifera</i>			

【陸上昆虫類等確認種目録】 (13/13)

No.	目	科	種名	学名	現地調査	聞き取り調査	既往文献
					現地 まとめ		川名緑地 新林公園
961	チョウ	シャクガ	オオヨシカエダシャク	<i>Astygia chlororhynodes</i>			
962			シロジマエダシャク	<i>Euryobidia languidata languidata</i>			
963			ウスバミスジエダシャク	<i>Hypomecis punctinalis conferenda</i>			
964			スカシエダシャク	<i>Krananda semihyalina</i>			
965			オオマエキトビエダシャク	<i>Nothomiza oxygoniodes</i>			
966			ウスキツバメエダシャク	<i>Ourapteryx nivea</i>			
967			フタスジエダシャク	<i>Rhynchobapta cervinaria bilineata</i>			
968			モンシロツマキエダシャク	<i>Xerodes albonotarius nesiotis</i>			
969			ミジンキヒメシャク	<i>Idaea trisetata</i>			
970			ウンモンオオシロヒメシャク	<i>Somatina indicataria morata</i>			
971			クロスジアオナミシャク	<i>Chloroclystis v-ata lucinda</i>			
972			ナカアオナミシャク	<i>Eupithecia sophia</i>			
973			コウスグモナミシャク	<i>Heteropheps confusa confusa</i>			
974			フトジマナミシャク	<i>Xanthorhoe saturata</i>			
975			カキバアオシャク	<i>Tanaorhinus reciprocatus confuciaris</i>			
976			ウスキツバメエダシャク	<i>Ourapteryx maculicaudaria</i>			
977		カノコガ	カノコガ	<i>Amata fortunei fortunei</i>			
978		シャチホコガ	ブライヤエグリシャチホコ	<i>Lophontsia sinensis pryeri</i>			
979			キシヤチホコ	<i>Torigea straminea</i>			
980			モンクロシャチホコ	<i>Phalera flavescens</i>			
981		ヒトリガ	スジベニコケガ	<i>Barsine striata striata</i>			
982			ベニヘリコケガ	<i>Mitochrista miniata rosaria</i>			
983			クシヒゲコケガ	<i>Thumatha ochracea ochracea</i>			
984			ヨツボシソバ	<i>Lithosia quadra</i>			
985			ゴマダラヒトリの一種	<i>Spilosoma sp.</i>			
986		コブガ	ネジロキノカワガ	<i>Negritotripa hamptoni</i>			
987		ヤガ	フジロアツバ	<i>Adrapa notigera</i>			
988			ハナマガリアツバ	<i>Hadennia incongruens</i>			
989			ソトウスアツバ	<i>Hadennia obliqua</i>			
990			トビスジアツバ	<i>Herminea tarsicrinalis</i>			
991			オオシラナミアツバ	<i>Hipoepa fractalis</i>			
992			ソトウスグロアツバ	<i>Hydrilodes lentalis</i>			
993			ヒロオビウスグロアツバ	<i>Hydrilodes morosus</i>			
994			オオアカマエアツバ	<i>Simplicia niphona</i>			
995			ツマオビアツバ	<i>Zanclognatha griselda</i>			
996			クロテンカバアツバ	<i>Anachrostis nigripunctalis</i>			
997			シャドウクチバ	<i>Mecodina nubiferalis</i>			
998			ムラサキヒメクチバ	<i>Mecodina subviolacea</i>			
999			クロスジヒメアツバ	<i>Schrankia costaestrigalis</i>			
1000			ヒメネジロコヤガ	<i>Maliattha signifera</i>			
1001			フタホシコヤガ	<i>Micardia pulchra</i>			
1002			シロマダラコヤガ	<i>Protodeltote distinguenda</i>			
1003			ネモンシロフコヤガ	<i>Sugia idiostrygia</i>			
1004			シラホシコヤガ	<i>Enispa bimaculata</i>			
1005			ナシケンモン	<i>Viminia rumicis</i>			
1006			ネスジシラクモトウ	<i>Apamea hamptoni</i>			
1007			マダラキヨトウ	<i>Mythimna flavostigma</i>			
1008			シロスジアオヨトウ	<i>Trachea atriplicis gnoma</i>			
1009			ウリキンウワバ	<i>Anadevidia peponis</i>			
1010			カラスヨトウの一種	<i>Amphipyra sp.</i>			
1011			アカエグリバ	<i>Oraesia excavata</i>			
1012			トビイロトラガ	<i>Sarbanissa subflava</i>			
1013			キシタバ	<i>Catocala patala</i>			
1014	トビケラ	エグリトビケラ	ホタルトビケラ	<i>Nothopsyche ruficollis</i>			
合計	19目	231科	1014種		583種	343種	333種

聞き取り調査

藤沢探鳥クラブに聞き取りを行った。(平成25年6月現在の情報)
の種については、10年以内の記録なし。

既往文献

「平成11年度自然環境実態調査業務委託報告書 1999年度藤沢市産昆虫類採集目録(昆虫現地調査リスト)。(2000, 藤沢市環境部みどり課, アジア航測株式会社)

重要種選定基準

- 「文化財保護法」(1950, 法律214)における特別天然記念物及び天然記念物
- 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(1992, 法律75)における国内及び国際希少野生動物
- 「第4次レッドリストの公表について」(環境省, 2012)における掲載種
- NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足

「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(神奈川県立生命の星・地球博物館, 2006)における掲載種

VU: 絶滅危惧類 NT: 準絶滅危惧 要注: 要注意種

・国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公開とした。

【魚類確認種目録】

No.	目	科	種名	学名	現地調査	既存文献
					現地まとめ	川名大池
1	コイ	コイ	魚-1	魚-1		
2			ニシキゴイ	<i>Cyprinus carpio</i>		
3		ドジョウ	魚-2	魚-2		
4			魚-3	魚-3		
5	ダツ	メダカ	魚-4	魚-4		
6	スズキ	サンフィッシュ	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus</i>		
7			オオクチバス(ブラックバス)	<i>Micropterus salmoides</i>		
合計 3目 4科 7種					6種	3種

既存文献

「平成12年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2001、藤沢市環境部緑課、アジア航測株式会社)

「平成13年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2002、藤沢市環境部緑課、アジア航測株式会社)

注1)重要種の選定基準は以下のとおりである。

:「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号、改正:平成19年3月30日 法律第7号)に基づく

国の特別天然記念物及び天然記念物

:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年6月5日 法律第75号、

改正:平成17年7月26日 法律第87号)に基づく国内希少野生動植物種

:「第4次レッドリストの公表について」(平成25年2月 環境省)における掲載種

EN:絶滅危惧 B類、VU:絶滅危惧 類、DD:情報不足

:「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(平成18年7月 神奈川県)における掲載種

CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、不足:情報不足

注2)国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

[底生動物確認種目録] (1/2)

No.	綱	目	科	種名	学名	現地調査 全体まとめ	聞き取り 調査	既存文献 川名大池			
1	渦虫	ウスムシ	サンカクアタマウスムシ	ナミウスムシ	<i>Dugesia japonica</i>						
2	有針	ハリヒモムシ	マミズヒモムシ	<i>Prostoma</i> 属	<i>Prostoma</i>						
3	ハリガネムシ	ハリガネムシ	ザラハリガネムシ	ザラハリガネムシ科	CHORDODIDAE						
4	-	-	-	線形動物門	NEMATODA						
5	腹足	原始紐舌	タニシ	ヒメタニシ	<i>Sinotaia quadrata histrica</i>						
6				底-1	底-1						
7		盤足	カワニナ	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>						
8		基眼	カワコザラガイ	カワコザラガイ	<i>Laevapex nipponica</i>						
9	二枚貝	マルスダレガイ	マメシジミ	モノアラガイ	ハブタエモノアラガイ	<i>Pseudosuccinea columella</i>					
10				サカマキガイ	サカマキガイ	<i>Physa acuta</i>					
11				ドブシジミ	マメシジミ属	<i>Pisidium</i>					
12				シジミ	ドブシジミ	<i>Sphaerium japonicum</i>					
13	ミズ	ナガミミズ	ナガミミズ	底-2	底-2						
14				ナガミミズ	ナガミミズ属	<i>Haplotaxis</i>					
15				オヨギミズ	オヨギミズ科	LUMBRICULIDAE					
16				イトミミズ	ヒメミズ科	ENCHYTRAEIDAE					
17				イトミミズ	イトミミズ	エラオイミズミズ	<i>Branchiodrilus hortensis</i>				
18						ウチワミズ属	<i>Dero</i>				
19						ヤドリミズミズ属	<i>Chaetogaster</i>				
20						ミズミズ属	<i>Nais</i>				
21						クロオビミズミズ	<i>Ophidonais serpentina</i>				
22						トガリミズミズ属	<i>Pristina</i>				
23						ヨゴレミズミズ属	<i>Slavina</i>				
24						ヨゴレイトミズ属	<i>Emboloccephalus</i>				
25						ユリミズ	<i>Limnodrilus hoffmeisteri</i>				
26						ユリミズ属	<i>Limnodrilus</i>				
27						エラミズ	<i>Branchiura sowerbyi</i>				
28						イトミズ科	TUBIFICIDAE				
29						ツリミズ	ツリミズ	ビワミズ	ヤマトヒモミズ	<i>Biwadrilus bathybatas</i>	
30	フトミズ	フトミズ科	MEGASCOLECIDAE								
31	ツリミズ科	LUMBRICIDAE									
32	ヒル	吻蛭	グロシフォニ	ヌマビル	<i>Helobdella stagnalis</i>						
33			グロシフォニ科	GLOSSIPHONIIDAE							
34	軟甲	ワラジムシ	ミズムシ	Asellus hilgendorfi							
35		フナムシ	ニホンヒメフナムシ	<i>Ligidium japonicum</i>							
36		ヨコエビ	キタヨコエビ	アゴトゲヨコエビ	<i>Jesogammarus spinopalpus</i>						
37			ハマトビムシ	ニホンオカトビムシ	<i>Platorchestia japonica</i>						
38		エビ	ヌマエビ	トゲナシヌマエビ	<i>Caridina typus</i>						
39			アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	<i>Procambarus clarkii</i>						
40	昆虫	カゲロウ	コカゲロウ	フタバカゲロウ	<i>Cloeon dipterum</i>						
41		トンボ	カワトンボ	アサヒナカワトンボ	アサヒナカワトンボ	<i>Mnais pruinosa</i>					
42				カワトンボ属	<i>Mnais</i>						
43				アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>					
44				モノサシトンボ	底-3	底-3					
45				イトトンボ	底-4	底-4					
46				ヤンマ	底-5	底-5					
47				サナエトンボ	底-6	底-6					
48				オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>					
49				トンボ	オオシオカワトンボ	<i>Orthetrum triangulare melania</i>					
50					コシアキトンボ	<i>Pseudothemis zonata</i>					
51		カワゲラ	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ属	<i>Nemoura</i>						
52		カメムシ	アメンボ	底-7	底-7						
53				アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>						
54				コセアカアメンボ	<i>Gerris gracilicornis</i>						
55				ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>						
56				ヒメアメンボ	<i>Gerris lataabdominis</i>						
57				シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>						
58	アメンボ科			GERRIDAE							
59	イトアメンボ			ヒメイトアメンボ	<i>Hydrometra procera</i>						
60	ミズカメムシ	ミズカメムシ	<i>Mesovelia vittigera</i>								
61	ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>							
62			センブリ	センブリ属	<i>Sialis</i>						
63	コウチュウ	ゲンゴロウ	ヤマトセンブリ	<i>Sialis yamatoensis</i>							
64			マメゲンゴロウ	<i>Agabus japonicus</i>							
65			ガムシ	キベリヒラタガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>						
66			ガムシ科	HYDROPHILIDAE							
67			ナガハナノミ	ヒゲナガハナノミ	<i>Paralichas pectinatus</i>						
68			ホタル	ゲンジボタル	<i>Luciola cruciata</i>						
69	トビケラ	ムネカクトビケラ	底-8	底-8							
70			ムネカクトビケラ	ムネカクトビケラ属	<i>Ecnomus</i>						
71			エグリトビケラ	ホタルトビケラ	<i>Nothopsyche ruficollis</i>						
72			エグリトビケラ科	LIMNephilidae							

[底生動物確認種目録] (2/2)

No.	綱	目	科	種名	学名	現地調査 全体まとめ	聞き取り 調査	既存文献 川名大池	
73	昆虫	ハエ	ガガンボ	Nippotipula亜属	Tipula (Nippotipula)				
74				Yamatotipula亜属	Tipula (Yamatotipula)				
75				ガガンボ属	Tipula				
76				Limnophila属	Limnophila				
77				クロヒメガガンボ属	Hexatoma				
78				Pseudolimnophila属	Pseudolimnophila				
79				ホシヒメガガンボ族	Eriopterini				
80				ガガンボ科	TIPULIDAE				
81			チョウバエ	ナガレショウバエ属	Pericoma				
82			コシボソガガンボ	コシボソガガンボ属	Ptychoptera				
83			ホソカ	ホソカ属	Dixa				
84			ケヨソイカ	Chaoborus属	Chaoborus				
85			ヌカカ	ヌカカ科	CERATOPOGONIDAE				
86			ユスリカ	ボカシヌマユスリカ属	Macropelopia				
87				モンヌマユスリカ属	Natarsia				
88				ダンダラヒメユスリカ属	Ablabesmyia				
89				ウスギヌヒメユスリカ属	Rheopelopia				
90				ヤマトヒメユスリカ族	Pentaneurini				
91				カユスリカ属	Procladius				
92				コナユスリカ属	Corynoneura				
93				ツヤユスリカ属	Cricotopus				
94				フタユスリカ属	Diplocladius sp. undet				
95				キリカキケバネエリユスリカ属	Heterotrissocladius				
96				フユスリカ属	Hydrobaenus				
97				ニセケバネエリユスリカ属	Parametricnemus				
98				エリユスリカ亜科	ORTHOCLADIINAE				
99				ユスリカ属	Chironomus				
100				ナガコブナシユスリカ属	Cladopelma				
101				カマガタユスリカ属	Cryptochironomus				
102				ホソミユスリカ属	Dicrotendipes				
103				クロユスリカ属	Einfeldia				
104				セボリユスリカ属	Glyptotendipes				
105				ハケユスリカ属	Phaenopsectra				
106				ミナミユスリカ属	Nilodorum				
107				ニセコブナシユスリカ属	Parachironomus				
108				カワリユスリカ属	Paratendipes				
109				アカムシユスリカ	Prosilocerus akamusi				
110				ハモンユスリカ属	Polypedium				
111				キザキユスリカ属	Sergentia				
112				アシマダラユスリカ属	Stictochironomus				
113				ナガスネユスリカ属	Micropsectra				
114				ナガレユスリカ属	Rheotanytarsus				
115				ヒゲユスリカ属	Tanytarsus				
116				ユスリカ亜科	CHIRONOMINAE				
117			ナガレアブ	クロモンナガレアブ	Asuragina caerulescens				
118				サツモンナガレアブ	Suragina satsumana				
119			アシナガバエ	アシナガバエ科	DOLICHOPODIDAE				
120			オドリバエ	オドリバエ科	EMPIDIDAE				
121			ハナアブ	ハナアブ科	SYRPHIDAE				
合計 10綱 24目 58科 121種						種数	113種	19種	14種

聞き取り調査

藤沢探鳥クラブに聞き取りを行った。(平成24年12月現在の情報)

既存文献

「平成12年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2001、藤沢市環境部緑課、アジア航測株式会社)

「平成13年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2002、藤沢市環境部緑課、アジア航測株式会社)

注1)重要種の選定基準は以下のとおりである。

:「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号、改正:平成19年3月30日 法律第7号)に基づく国の特別天然記念物及び天然記念物

:絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年6月5日 法律第75号、改正:平成17年7月26日 法律第87号)に基づく国内希少野生動物

:「第4次レッドリストの公表について」(平成24年8月 環境省)における掲載種

VU:絶滅危惧 類 NT:準絶滅危惧 要注意:要注意種

:「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(平成18年7月 神奈川県)における掲載種

NT:準絶滅危惧 要注意:要注意種

注2)国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

【植物確認種目録】(1/8)

No.	分類群	科	種名	学名	現地調 現地 まとめ	聞き取り	備考	既往文献 川名緑地 新林公園	
1	シダ植物	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>					
2		ハナヤスリ	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>					
3		ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>					
4		フサシダ	カニクサ	<i>Lygodium japonicum</i>					
5		コケシノブ	ハイホラゴケ	<i>Lacosteopsis orientalis</i>					
6		コバノイシカグマ	フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i>					
7			フモトカグマ	<i>Microlepia pseudostrigosa</i>					
8			ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> var. <i>latiusculum</i>					
9		ホングウシダ	ホラシノブ	<i>Sphenomeris chinensis</i>					
10		ミスワラビ	植-1	植-1					
11			ホウライシダ	<i>Adiantum capillus-veneris</i>					
12			イワガネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i>					
13			イワガネソウ	<i>Coniogramme japonica</i>					
14			イヌイワガネソウ	<i>Coniogramme x fauriei</i>					
15			タチシノブ	<i>Onychium japonicum</i>					
16			イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i>				
17		イノモトソウ		<i>Pteris multifida</i>					
18		チャセンシダ	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i>					
19		シシガシラ	コモチシダ	<i>Woodwardia orientalis</i>					
20		オシダ	リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>					
21			ナガバヤブソテツ	<i>Cyrtomium devexiscapulae</i>					
22			オニヤブソテツ	<i>Cyrtomium falcatum</i>					
23			ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i>					
24			テリハヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> f. <i>laetevirens</i>					
25			ヤマヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>clivicola</i>					
26			ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>					
27			トウゴクシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i> var. <i>dilatata</i>					
28			オオベニシダ	<i>Dryopteris hondoensis</i>					
29			クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i>					
30			オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i>					
31			オオイタチシダ	<i>Dryopteris varia</i> var. <i>hikonensis</i>					
32			ヤマイタチシダ	<i>Dryopteris varia</i> var. <i>setosa</i>					
33			アイノクマワラビ	<i>Dryopteris x mituii</i>					
34			アスカイノデ	<i>Polystichum fibrilloso-paleaceum</i>					
35			イノデ	<i>Polystichum polyblepharum</i>					
36			ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i>					
37			ミウライノデ	<i>Polystichum x miuranum</i>					
38		ヒメシダ	ホシダ	<i>Cyclosorus acuminatus</i>					
39			ゲジゲジシダ	<i>Phegopteris decursive-pinnata</i>					
40			ミゾシダ	<i>Stegogramma pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>					
41			ハシゴシダ	<i>Thelypteris glanduligera</i>					
42			ハリガネワラビ	<i>Thelypteris japonica</i>					
43			ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i>					
44			ヒメワラビ	<i>Thelypteris torresiana</i> var. <i>calvata</i>					
45		ミドリヒメワラビ	<i>Thelypteris viridifrons</i>						
46		メシダ	イヌワラビ	<i>Athyrium niponicum</i>					
47			シケチシダ	<i>Comopteris decurrenti-alata</i>					
48			セイタカシケシダ	<i>Deparia dimorphophylla</i>					
49			シケシダ	<i>Deparia japonica</i>					
50		ウラボシ	クサソテツ	<i>Matteuccia struthiopteris</i>					
51			ミツデウラボシ	<i>Crypsinus hastatus</i>					
52			マメツタ	<i>Lemmaphyllum microphyllum</i>					
53			ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>					
54			クリハラン	<i>Neocheiropteris ensata</i>					
55		アカウキクサ	アゾラ・クリスタータ	<i>Azolla cristata</i>					
56	裸子植物	マツ	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>					
57			クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>					
58		スギ	スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>				植栽	
59		ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>				植栽	
60			サウラ	<i>Chamaecyparis pisifera</i>					
61		マキ	イヌマキ	<i>Podocarpus macrophyllus</i>					
62		イチイ	イヌガヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i>					
63			カヤ	<i>Torreya nucifera</i>					
64		離弁花類	クルミ	オニグルミ	<i>Juglans ailanthifolia</i>				
65	ヤナギ		ジャヤナギ	<i>Salix eriocarpa</i>					
66			カワヤナギ	<i>Salix gilgiana</i>					
67			イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>					
68			タチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>					
69	カバノキ		クマシデ	<i>Carpinus japonica</i>					
70			イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i>					
71	ブナ		クリ	<i>Castanea crenata</i>					
72			スタジイ	<i>Castanopsis cuspidata</i> var. <i>sieboldii</i>					
73			マテバシイ	<i>Lithocarpus edulis</i>					
74			クヌギ	<i>Quercus acutissima</i>					
75			アラカシ	<i>Quercus glauca</i>					
76			シラカシ	<i>Quercus myrsinaefolia</i>					
77			コナラ	<i>Quercus serrata</i>					
78	ニレ		ムクノキ	<i>Aphananthe aspera</i>					
79			エノキ	<i>Celtis sinensis</i> var. <i>japonica</i>					
80		ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>						

[植物確認種目録] (2/8)

No.	分類群	科	種名	学名	現地調 現地 まとめ	聞き取 り調査	備考	既往文献 川名緑地 新林公園
81	離弁花類	クワ	ヒメコウソ	<i>Broussonetia kazinoki</i>				
82			クワクサ	<i>Fatoua villosa</i>				
83			イヌビワ	<i>Ficus erecta</i>				
84			イタビカズラ	<i>Ficus oxyphylla</i>				
85			カナムグラ	<i>Morus australis</i>				
86			ヤマグワ	<i>Boehmeria japonica</i> var. <i>longispica</i>				
87		イラクサ	ヤブマオ	<i>Boehmeria nivea</i> ssp. <i>nipponivea</i>				
88			クサマオ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>concolor</i>				
89			カラムシ	<i>Boehmeria platanifolia</i>				
90			メヤブマオ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>tenacissima</i>				
91			ナンバンカラムシ	<i>Boehmeria spicata</i>				
92			コアカソ	<i>Nanocnide japonica</i>				
93			カテンソウ	<i>Pilea hamaoi</i>				
94			ミス	<i>Pilea pumila</i>				
95			アオミズ	<i>Antenoron filiforme</i>				
96		タデ	ミスヒキ	<i>Persicaria hydropiper</i>				
97			ヤナギタデ	<i>Persicaria longiseta</i>				
98			イヌタデ	<i>Persicaria posumbu</i> var. <i>laxiflora</i>				
99			ハナタデ	<i>Persicaria pubescens</i>				
100			ボントクタデ	<i>Persicaria senticosa</i>				
101			ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria sieboldii</i>				
102			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria thunbergii</i>				
103			ミソソバ	<i>Polygonum aviculare</i>				
104			ミチヤナギ	<i>Reynoutria japonica</i>				
105			イタドリ	<i>Rumex acetosa</i>				
106			スイバ	<i>Rumex acetosella</i>				
107			ヒメスイバ	<i>Rumex conglomeratus</i>				
108			アレチギシギシ	<i>Rumex japonicus</i>				
109			ギシギシ	<i>Phytolacca americana</i>				
110		ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	<i>Mollugo pentaphylla</i>			外来	
111		ザクロソウ	ザクロソウ	<i>Mollugo verticillata</i>				
112			クルマバザクロソウ	<i>Portulaca oleracea</i>			外来	
113		スベリヒコ	スベリヒコ	<i>Arenaria serpyllifolia</i>				
114		ナデシコ	ノミノツツリ	<i>Cerastium glomeratum</i>				
115			オランダミミナグサ	<i>Sagina japonica</i>			外来	
116			ツメクサ	<i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i>				
117			ノミノフスマ	<i>Stellaria aquatica</i>				
118			ウシハコベ	<i>Stellaria media</i>				
119			コハコベ	<i>Stellaria pallida</i>			外来	
120			イヌコハコベ	<i>Chenopodium album</i>				
121		アカザ	シロザ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>				
122		ヒコ	ヒカゲイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>				
123			ヒナタイノコズチ	<i>Amaranthus lividus</i>				
124			イヌビユ	<i>Magnolia praecocissima</i>				
125		モクレン	コブシ	<i>Kadsura japonica</i>				
126		マツブサ	サネカズラ	<i>Cinnamomum camphora</i>				
127		クスノキ	クスノキ	<i>Cinnamomum japonicum</i>				
128			ヤブニッケイ	<i>Cinnamomum sieboldii</i>				
129			ニッケイ	<i>Lindera glauca</i>			植栽	
130			ヤマコウバシ	<i>Machilus thunbergii</i>				
131			タブノキ	<i>Neolitsea aciculata</i>				
132			シロダモ	<i>Aconitum japonicum</i> ssp. <i>maritimum</i>				
133		キンボウゲ	ツクバトリカブト	<i>Aquilegia adoxoides</i>				
134			ヒメウス	<i>Cimicifuga japonica</i>				
135			イヌショウマ	<i>Clematis apiifolia</i> var. <i>bitemata</i>				
136			コボタンツル	<i>Clematis japonica</i>				
137			ハンショウツル	<i>Clematis terniflora</i>				
138			センニンソウ	<i>Ranunculus cantoniensis</i>				
139			ケキツネノボタン	<i>Ranunculus cantoniensis</i>				
140			タガラシ	<i>Ranunculus sceleratus</i>				
141			アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>				
142		メギ	メギ	<i>Berberis thunbergii</i>				
143			ナンテン	<i>Nandina domestica</i>			逸出	
144			ヒイラギナンテン	<i>Mahonia japonica</i>				
145		アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>				
146			ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i>				
147			ムベ	<i>Stauntonia hexaphylla</i>				
148		ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus orbiculatus</i>				
149		スイレン	ハス	<i>Nelumbo nucifera</i>			植栽	
150		ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>				
151			ハンゲショウ	<i>Saururus chinensis</i>				
152		センリョウ	ヒトリシズカ	<i>Chloranthus japonicus</i>				
153			フタリシズカ	<i>Chloranthus serratus</i>				
154		ウマノスズクサ	ウマノスズクサ	<i>Aristolochia debilis</i>				
155			オオバウマノスズクサ	<i>Aristolochia kaempferi</i>				
156			植-11	植-11				
157		マタタビ	オニマタタビ	<i>Actinidia chinensis</i>			逸出	
158		ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>				
159			ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>				
160			モッコク	<i>Ternstroemia gymnanthera</i>				

【植物確認種目録】(3/8)

No.	分類群	科	種名	学名	現地調 現地 まとめ	聞き取り 調査	備考	既往文献 川名緑地 新林公園	
161	離弁花類	ツバキ	チャ	<i>Thea sinensis</i>					
162		オトギリソウ	トモエソウ	<i>Hypericum ascyron</i>					
163			オトギリソウ	<i>Hypericum erectum</i>					
164		ケシ	ジロボウエンゴサク	<i>Corydalis decumbens</i>					
165			ムラサキケマン	<i>Corydalis incisa</i>					
166			タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i>					
167		アブラナ	ナガミヒナゲシ	<i>Papaver dubium</i>					
168			ナズナ	<i>Capsella bursapastoris var. triangularis</i>					
169			タネツケバナ	<i>Cardamine flexuosa</i>					
170			ミチタネツケバナ	<i>Cardamine hirsuta</i>					
171			オランダガラシ	<i>Nasturtium officinale</i>					
172			ショカツサイ	<i>Orychophragmus violaceus</i>					
173			イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>					
174			ベンケイソウ	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>				
175			ユキノシタ	ヤマネコノメソウ	<i>Chrysosplenium japonicum</i>				
176				ウツギ	<i>Deutzia crenata</i>				
177		マルバウツギ		<i>Deutzia scabra</i>					
178		タマアジサイ		<i>Hydrangea involucrata</i>					
179	ヤマアジサイ	<i>Hydrangea serrata</i>							
180	種-2	種-2							
181		ユキノシタ		<i>Saxifraga stolonifera</i>					
182	トベラ	トベラ		<i>Pittosporum tobira</i>					
183	バラ	キンミズヒキ		<i>Agrimonia japonica</i>					
184		ヘビイチゴ		<i>Duchesnea chrysantha</i>					
185		ヤブヘビイチゴ	<i>Duchesnea indica</i>						
186		ピワ	<i>Eriobotrya japonica</i>						
187		ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i>						
188		ヤマブキ	<i>Kerria japonica</i>						
189		キジムシロ	<i>Potentilla fragarioides var. major</i>						
190		ミツバツチグサ	<i>Potentilla freyniana</i>						
191		カマツカ	<i>Pourthiaea villosa var. laevis</i>						
192		ヤマザクラ	<i>Prunus jamasakura</i>						
193		シャリンバイ	<i>Rhaphiolepis umbellata</i>						
194		アズマイバラ	<i>Rosa luciae</i>						
195		ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i>						
196		テリハノイバラ	<i>Rosa wichuraiana</i>						
197		クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i>						
198		モミジチゴ	<i>Rubus palmatus var. coptophyllum</i>						
199		ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>						
200		カジイチゴ	<i>Rubus trifidus</i>						
201		ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>						
202		マメ	コゴメウツギ	<i>Stephanandra incisa</i>					
203			ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i>					
204			ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata ssp. edgeworthii var. japonica</i>					
205			ゲンゲ	<i>Astragalus sinicus</i>					
206			エビスグサ	<i>Cassia obtusifolia</i>				外来	
207			ヌスビトハギ	<i>Desmodium podocarpum ssp. oxyphyllum</i>					
208			ケヤブハギ	<i>Desmodium podocarpum ssp. fallax</i>					
209			ヤブハギ	<i>Desmodium podocarpum ssp. oxyphyllum var. mandshuricum</i>					
210			ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i>					
211			ツルマメ	<i>Glycine max ssp. soja</i>					
212			コマツナギ	<i>Indigofera pseudo-tinctoria</i>					
213	マルバヤハズソウ		<i>Kummerowia stipulacea</i>						
214	ヤハズソウ		<i>Kummerowia striata</i>						
215	メドハギ		<i>Lespedeza cuneata</i>						
216	クズ		<i>Pueraria lobata</i>						
217	トキリマメ		<i>Rhynchosia acuminatifolia</i>						
218	シロツメクサ		<i>Trifolium repens</i>						
219	ヤハズエンドウ		<i>Vicia angustifolia</i>						
220	ナンテンハギ	<i>Vicia unijuga</i>							
221	カタバミ	フジ	<i>Wisteria floribunda</i>						
222		イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>						
223		ベニカタバミ	<i>Oxalis brasiliensis</i>						
224		カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>						
225		オウチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>				外来		
226	フウロソウ	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>						
227	トウダイグサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>						
228		トウダイグサ	<i>Euphorbia helioscopia</i>						
229		ナツトウダイ	<i>Euphorbia sieboldiana</i>						
230		コニシキソウ	<i>Euphorbia supina</i>				外来		
231		アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>						
232		コミカンソウ	<i>Phyllanthus urinaria</i>						
233	ユズリハ	ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i>						
234	ミカン	コクサギ	<i>Orixa japonica</i>						
235		カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>						
236		サンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>						
237	ニガキ	ニガキ	<i>Picrasma quassioides</i>						
238	センダン	センダン	<i>Melia azedarach</i>						
239	ウルシ	ヌルデ	<i>Rhus javanica var. roxburgii</i>						
240		ハゼノキ(リュウキュウハゼ)	<i>Rhus succedanea</i>				逸出		

[植物確認種目録] (4/8)

No.	分類群	科	種名	学名	現地調	聞き取り	備考	既往文献 川名緑地 新林公園	
					現地 まとめ	調査			
241	離弁花類	カエデ	イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i>					
242		ツリフネソウ	ツリフネソウ	<i>Impatiens textori</i>					
243		ムクロジ	ムクロジ	<i>Sapindus mukorossi</i>					
244		モチノキ	イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i>					
245			モチノキ	<i>Ilex integra</i>					
246			クロガネモチ	<i>Ilex rotunda</i>					
247		ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus f. orbiculatus</i>					
248			ニシキギ	<i>Euonymus alatus</i>					
249			コマユミ	<i>Euonymus alatus f. ciliato-dentatus</i>					
250			ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei var. radicans</i>					
251			マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>					
252			マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>					
253		ミツバウツギ	ゴンズイ	<i>Euscaphis japonica</i>					
254		クロウメモドキ	クマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i>					
255			ケンボナシ	<i>Hovenia dulcis</i>					
256		ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa var. heterophylla</i>					
257			ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i>					
258			ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>					
259			エビツル	<i>Vitis ficifolia var. lobata</i>					
260		シナノキ	オオバボダイジュ	<i>Tilia maximowicziana</i>					
261		ジンチョウゲ	オニシバリ	<i>Daphne pseudo-mezereum</i>					
262		アオギリ	アオギリ	<i>Firmiana simplex</i>					
263		グミ	ツルグミ	<i>Elaeagnus glabra</i>					
264			オオバグミ(マルバグミ)	<i>Elaeagnus macrophylla</i>					
265	ナツグミ		<i>Elaeagnus multiflora var. crispa f. orbiculata</i>						
266	アキグミ		<i>Elaeagnus umbellata</i>						
267	スマレ		タチツボスマレ	<i>Viola grypoceras</i>					
268		コスミレ	<i>Viola japonica</i>						
269		スマレ	<i>Viola mandshurica</i>						
270		ニオイタチツボスマレ	<i>Viola obtusa</i>						
271		ツボスマレ	<i>Viola verecunda</i>						
272	キブシ	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i>						
273	ウリ	アマチャツル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i>						
274		スズメウリ	<i>Melothria japonica</i>						
275		アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>						
276		カラスウリ	<i>Trichosanthes cucumeroides</i>						
277		キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii var. japonica</i>						
278	ミソハギ	ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i>						
279		キカシグサ	<i>Rotala indica var. uliginosa</i>						
280	アカバナ	ミズタマソウ	<i>Circaea mollis</i>						
281		チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i>						
282		メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>				外来		
283		コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>						
284	アリノトウグサ	オオフサモ	<i>Myriophyllum brasiliense</i>						
285	ミズキ	アオキ	<i>Aucuba japonica</i>						
286		ミズキ	<i>Cornus controversa</i>						
287		クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i>						
288		ハナイカダ	<i>Helwingia japonica</i>						
289	ウコギ	オカウコギ	<i>Acanthopanax nipponicus</i>						
290		ウド	<i>Aralia cordata</i>						
291		タラノキ	<i>Aralia elata</i>						
292		カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i>						
293		ヤツデ	<i>Fatsia japonica</i>						
294		キツタ	<i>Hedera rhombea</i>						
295		ハリギリ	<i>Kalopanax pictus</i>						
296	セリ	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i>						
297		アシタバ	<i>Angelica keiskei</i>						
298		シシウド	<i>Angelica pubescens</i>						
299		ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>						
300		ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>						
301		チドメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i>						
302		セリ	<i>Oenanthe javanica</i>						
303		ヤブニンジン	<i>Osmorhiza aristata</i>						
304		ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i>						
305		ヤブジラミ	<i>Torilis japonica</i>						
306		オヤブジラミ	<i>Torilis scabra</i>						
307	合弁花類	ツツジ	ヤマツツジ	<i>Rhododendron obtusum var. kaempferi</i>					
308		ヤブコウジ	マンリョウ	<i>Ardisia crenata</i>					
309			ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i>					
310		サクラソウ	オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>					
311			コナスビ	<i>Lysimachia japonica f. subsessilis</i>					
312		カキノキ	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i>					
313		エゴノキ	エゴノキ	<i>Styrax japonica</i>					
314		モクセイ	ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i>					
315			トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>				植栽	
316			イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i>					
317			オオバイボタ	<i>Ligustrum ovalifolium</i>					
318		マチン	ホウライカズラ	<i>Gardneria nutans</i>					
319		リンドウ	フデリンドウ	<i>Gentiana zollingeri</i>					
320			ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i>					

【植物確認種目録】(5/8)

No.	分類群	科	種名	学名	現地調 現地 まとめ	聞き取り 調査	備考	既往文献 川名緑地 新林公園		
321	合弁花類	キョウチクトウ	テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i> var. <i>intermedium</i>						
322			ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>			外来			
323	ガガイモ	アカネ	コバノカモメツル	<i>Cynanchum sub lanceolatum</i>						
324			ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>						
325	アカネ	アカネ	ヤマムグラ	<i>Galium pogonanthum</i>						
326			ヤエムグラ	<i>Galium spurium</i> var. <i>echinospermon</i>						
327			ヨツバムグラ	<i>Galium trachyspermum</i>						
328			ハシカグサ	<i>Hedyotis lindleyana</i> var. <i>hirsuta</i>						
329			ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>						
330			フタバムグラ	<i>Hedyotis diffusa</i>						
331			アカネ	<i>Rubia argyi</i>						
332	ヒルガオ	ヒルガオ	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i>						
333			ヒルガオ	<i>Calystegia japonica</i>						
334	ムラサキ	ムラサキ	ハナイバナ	<i>Bothriospermum tenellum</i>						
335			ホタルカズラ	<i>Lithospermum zollingeri</i>						
336			キュウリグサ	<i>Trigonotis peduncularis</i>						
337	クマツツラ	クマツツラ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i>						
338			クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>						
339	アワゴケ	アワゴケ	アワゴケ	<i>Callitriche japonica</i>						
340			アワゴケ	<i>Callitriche japonica</i>						
341	シソ	シソ	キラソソウ	<i>Ajuga decumbens</i>						
342			ツクバキンモンソウ	<i>Ajuga yesoensis</i> var. <i>tsukubana</i>						
343			トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>						
344			ナギナタクウジュ	<i>Elsholtzia ciliata</i>						
345			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> var. <i>grandis</i>						
346			ホトケノザ	<i>Lamium amplexicaule</i>						
347			ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>						
348			ゴシロネ	<i>Lycopus ramosissimus</i> var. <i>japonicus</i>						
349			ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>						
350			イヌコウジュ	<i>Mosla punctulata</i>						
351			ヤマハッカ	<i>Rabdosia inflexa</i>						
352			アキノタムラソウ	<i>Salvia japonica</i>						
353			オカタツナミソウ	<i>Scutellaria brachyspica</i>						
354			ナス	ナス	クコ	<i>Lycium chinense</i>				
355					アメリカイヌホオズキ	<i>Solanum americanum</i>				
356					ウルナスビ	<i>Solanum carolinense</i>				
357	ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum lyratum</i>								
358	イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>								
359	ハダカホオズキ	<i>Tubocapsicum anomalum</i>								
360	ゴマノハグサ	ゴマノハグサ	スズメノトウガラシ	<i>Lindernia antipoda</i>						
361			ウリクサ	<i>Lindernia crustacea</i>						
362			トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i>						
363			タチイヌノフグリ	<i>Veronica arvensis</i>						
364			ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i>						
365			オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>						
366			植-3	植-3						
367	キツネノマゴ	キツネノマゴ	<i>Justicia procumbens</i>							
368	ハマウツボ	ナンバンギセル	<i>Aeginetia indica</i>							
369	イワタバコ	ケイワタバコ	<i>Conandron ramondioides</i> f. <i>pilosus</i>							
370	ハエドクソウ	ハエドクソウ	ナガバハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> var. <i>oblongifolia</i>						
371			ハエドクソウ	<i>Phryma leptostachya</i> ssp. <i>asiatica</i>						
372	オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i>							
373	スイカズラ	スイカズラ	ツクバネウツギ	<i>Abelia spathulata</i>						
374			オオツクバネウツギ	<i>Abelia tetrasepala</i>						
375			ウグイスカグラ	<i>Lonicera gracilipes</i> var. <i>glabra</i>						
376			スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>						
377			ニフトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i>						
378			ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>						
379			コバノガマズミ	<i>Viburnum erosum</i> var. <i>punctatum</i>						
380			ハコネウツギ	<i>Weigela coraeensis</i>						
381			オミナエシ	ツルカノコソウ	<i>Valeriana flaccidissima</i>					
382			キキョウ	キキョウ	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>				
383	ホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i>								
384	ヤマホタルブクロ	<i>Campanula punctata</i> var. <i>hondoensis</i>								
385	ツルニンジン	<i>Codonopsis lanceolata</i>								
386	タニギキョウ	<i>Peracarpa carnosus</i> var. <i>circaeoides</i>								
387	キク	キク	ノブキ	<i>Adenocaulon himalaicum</i>						
388			キッコウハグマ	<i>Ainsliaea apiculata</i>						
389			ブタクサ	<i>Ambrosia artemisiifolia</i> var. <i>elatiar</i>						
390			オオブタクサ	<i>Ambrosia trifida</i>						
391			ヨモギ	<i>Artemisia princeps</i>						
392			シロヨメナ	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>leiophyllus</i>						
393			ノコンギク	<i>Aster ageratoides</i> ssp. <i>ovatus</i>						
394			シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>						
395			ホウキギク	<i>Aster subulatus</i> var. <i>obtusifolius</i>						
396			オケラ	<i>Atractylodes japonica</i>						
397			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>				外来		
398			コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i>				外来		
399	シロノセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i> var. <i>radiata</i>								
400	ヤブタバコ	ヤブタバコ	<i>Carpesium abrotanoides</i>							

【植物確認種目録】 (6/8)

No.	分類群	科	種名	学名	現地調 現地 まとめ	聞き取り 調査	備考	既往文献 川名緑地 新林公園	
401	合弁花類	キク	ガンクビソウ	<i>Carpesium divaricatum</i>					
402			サジガンクビソウ	<i>Carpesium glossophyllum</i>					
403			トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>					
404			タイアザミ	<i>Cirsium nipponicum</i> var. <i>incomput</i>					
405			オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>				外来	
406			ベニバナボロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>				外来	
407			リュウノウギク	<i>Dendranthema japonicum</i>					
408			アメリカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>					
409			タカサブロウ	<i>Eclipta prostrata</i>					
410			ダンドボロギク	<i>Erechtites hieracifolia</i>					
411			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>				外来	
412			ハルジオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>				外来	
413			ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium chinense</i> var. <i>oppositifolium</i>					
414			ツワブキ	<i>Farfugium japonicum</i>					
415			ハキダメギク	<i>Galinsoga ciliata</i>				外来	
416			ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>					
417			タチチコグサ	<i>Gnaphalium calviceps</i>					
418			チチコグサモドキ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>					
419			チチコグサモドキ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>					
420			ウラジロチチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i>					
421			キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>					
422			オオチシバリ	<i>Ixeris debilis</i>					
423			ニガナ	<i>Ixeris dentata</i>					
424			イワニガナ	<i>Ixeris stolonifera</i>					
425			ユウガキク	<i>Kalimeris pinnatifida</i>					
426			カントウヨメナ	<i>Kalimeris pseudoyomena</i>					
427			アキノゲシ	<i>Lactuca indica</i>					
428			ムラサキニガナ	<i>Lactuca sororia</i>					
429			コオニタビラコ	<i>Lapsana apogonoides</i>					
430			ヤブタビラコ	<i>Lapsana humilis</i>					
431			カシワバハグマ	<i>Pertya robusta</i>					
432			コウヤボウキ	<i>Pertya scandens</i>					
433			フキ	<i>Petasites japonicus</i>					
434			コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> var. <i>glabrescens</i>					
435			シュウブンソウ	<i>Rhynchospermum verticillatum</i>					
436			ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>					
437			メナモミ	<i>Siegesbeckia orientalis</i> ssp. <i>pubescens</i>					
438			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>				外来	
439			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>				外来	
440			ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>					
441			ヒメジョオン	<i>Stenactis annuus</i>				外来	
442			ヤブレガサ	<i>Syneilesis palmata</i>					
443			シロバナタンポポ	<i>Taraxacum albidum</i>					
444			アカミタンポポ	<i>Taraxacum laevigatum</i>					
445			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>				外来	
446			カントウタンポポ	<i>Taraxacum platycarpum</i>					
447			オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>					
448			ヤクシソウ	<i>Youngia denticulata</i>					
449			オニタビラコ	<i>Youngia japonica</i>					
450	単子葉類	オモダカ ユリ	オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>					
451			ノビル	<i>Allium grayi</i>					
452			種-4	種-4					
453			ハラシ	<i>Aspidistra elatior</i>				逸出	
454			ハナニラ	<i>Brodiaea uniflora</i>					
455			ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i>					
456			チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>					
457			ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>kwanso</i>					
458			ノカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva</i> var. <i>longituba</i>					
459			オオバギボウシ	<i>Hosta montana</i>					
460			コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii</i> f. <i>lancifolia</i>					
461			ヤマユリ	<i>Lilium auratum</i>					
462			ウバユリ	<i>Lilium cordatum</i>					
463			シンテッポウユリ	<i>Lilium x formolongo</i>				外来	
464			ヤブラン	<i>Liriope muscari</i>					
465			ハタケニラ	<i>Nothoscordum gracile</i>					
466			ノシラン	<i>Ophiopogon jaburan</i>					
467			ジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>					
468			ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon ohwii</i>					
469			ナルコユリ	<i>Polygonatum falcatum</i>					
470			キチジョウソウ	<i>Reineckea carnea</i>					
471			オモト	<i>Rohdea japonica</i>					
472			ツルボ	<i>Scilla scilloides</i>					
473			サルトリイバラ	<i>Smilax china</i>					
474			タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>					
475			シオデ	<i>Smilax riparia</i> var. <i>ussuriensis</i>					
476			ホトギス	<i>Tricyrtis hirta</i>					
477			ヤマホトギス	<i>Tricyrtis macropoda</i>					
478			種-5	種-5					
479			ヒガンバナ	ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i>				
480				キツネノカミソリ	<i>Lycoris sanguinea</i>				

〔植物確認種目録〕 (7/8)

No.	分類群	科	種名	学名	現地調 現地 まとめ	聞き取り 調査	備考	既往文献 川名緑地 新林公園
481	単子葉類	ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>				
482			ヒメドコロ	<i>Dioscorea tenuipes</i>				
483			オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>				
484		ミズアオイ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i> var. <i>plantaginea</i>				
485			アヤメ	ヒメヒオウギズイセン	<i>Crococsmia x crocosmiflora</i>			
486			シャガ	<i>Iris japonica</i>				
487			キショウブ	<i>Iris pseudacorus</i>				
488			ニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>				
489			オオニワゼキショウ	<i>Sisyrinchium</i> sp.				
490		イグサ	イ	<i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i>				
491			コウガイゼキショウ	<i>Juncus leschenaultii</i>				
492			クサイ	<i>Juncus tenuis</i>				
493		ツククサ	スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>				
494			ツククサ	<i>Commelina communis</i>				
495			イボクサ	<i>Murdannia keisak</i>				
496			ヤブミョウガ	<i>Pollia japonica</i>				
497			トキワツククサ	<i>Tradescantia fluminensis</i>				外来
498		イネ	アオカモジグサ	<i>Agropyron racemiferum</i>				
499			カモジグサ	<i>Agropyron tsukushiense</i> var. <i>transiens</i>				
500			ヌカボ	<i>Agrostis clavata</i> ssp. <i>matsumurae</i>				
501			ヌカススキ	<i>Aira caryophylla</i>				
502			スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i>				
503			メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>				
504			コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>				
505			トダシバ	<i>Arundinella hirta</i>				
506			カラスムギ	<i>Avena fatua</i>				
507			カズノコグサ	<i>Beckmannia syzigachne</i>				
508			ヤマカモジグサ	<i>Brachypodium sylvaticum</i>				
509			ヒメコバンソウ	<i>Briza minor</i>				
510			イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>				
511			キツネガヤ	<i>Bromus pauciflorus</i>				
512			ノガリヤス	<i>Calamagrostis arundinacea</i> var. <i>brachytricha</i>				
513			ジュズダマ	<i>Coix lacrymajobi</i>				
514			ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>				
515			メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>				
516			コメヒシバ	<i>Digitaria radicata</i>				
517			アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>				
518			アラススキ	<i>Eccoilopus cotulifer</i>				
519			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>				
520			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>				
521			シナダレスズメガヤ	<i>Eragrostis curvula</i>				外来
522			カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>				
523			ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>				
524			コスズメガヤ	<i>Eragrostis poaeoides</i>				
525			ナルコビエ	<i>Eriochloa villosa</i>				
526			トボシガラ	<i>Festuca parvigluma</i>				
527			ムツオレグサ	<i>Glyceria acutiflora</i>				
528			ドジョウツナギ	<i>Glyceria ischyreneura</i>				
529			ウシノシッペイ	<i>Hemarthria sibirica</i>				
530			フシゲチガヤ(チガヤ)	<i>Imperata cylindrica</i>				
531			チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>				
532			エゾノサヤヌカグサ	<i>Leersia oryzoides</i>				
533			ネズミホソムギ	<i>Lolium x hybridum</i>				
534			ササガヤ	<i>Microstegium japonicum</i>				
535	ヒメアシボソ		<i>Microstegium vimineum</i>					
536	アシボソ		<i>Microstegium vimineum</i> var. <i>polystachyum</i>					
537	オギ		<i>Miscanthus sacchariflorus</i>					
538	ススキ		<i>Miscanthus sinensis</i>					
539	ケチヂミザサ		<i>Oplismenus undulatifolius</i>					
540	コチヂミザサ		<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>					
541	ヌカキビ		<i>Panicum bisulcatum</i>					
542	オオクサキビ		<i>Panicum dichotomiflorum</i>					
543	シマスズメノヒエ		<i>Paspalum dilatatum</i>					
544	スズメノヒエ		<i>Paspalum thunbergii</i>					
545	チカラシバ		<i>Pennisetum alopecuroides</i> f. <i>purpurascens</i>					
546	クサヨシ		<i>Phalaris arundinacea</i>					
547	ヨシ		<i>Phragmites australis</i>					
548	モウソウチク	<i>Phyllostachys pubescens</i>				植栽		
549	アズマネザサ	<i>Pleiblastus chino</i>						
550	メダケ	<i>Pleiblastus simonii</i>						
551	ミゾイチゴツナギ	<i>Poa acroleuca</i>						
552	スズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>						
553	イチゴツナギ	<i>Poa sphondylodes</i>						
554	オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>						
555	ヒエガエリ	<i>Polypogon fugax</i>						
556	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>						
557	キンエノコロ	<i>Setaria glauca</i>						
558	エノコログサ	<i>Setaria viridis</i>						
559	オオエノコロ	<i>Setaria x pycnocomma</i>						
560	チャボノカタビラ	<i>Poa bulbosa</i>						

[植物確認種目録] (8/8)

No.	分類群	科	種名	学名	現地調 現地 まとめ	聞き取 り調査	備考	既往文献 川名緑地 新林公園
561	単子葉類		ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i>				
562			カニツリグサ	<i>Trisetum bifidum</i>				
563		ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>			逸出	
564			トウジュロ	<i>Trachycarpus wagnerianus</i>			逸出	
565		サトイモ	ムラサキマムシグサ	<i>Arisaema serratum</i>				
566			ムサシアブミ	<i>Arisaema ringens</i>				
567			ムラサキマムシグサ	<i>Arisaema serratum f. ionochlamys</i>				
568			ウラシマソウ	<i>Arisaema thunbergii ssp. urashima</i>				
569			カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i>				
570		ウキクサ		<i>Spirodela polyrhiza</i>				
571		ガマ	ヒメガマ	<i>Typha angustifolia</i>				
572			ガマ	<i>Typha latifolia</i>				
573			コガマ	<i>Typha orientalis</i>				
574		カヤツリグサ	アオスゲ	<i>Carex leucochlora</i>				
575			メアオスゲ	<i>Carex candolleana</i>				
576			ヒメカンスゲ	<i>Carex conica</i>				
577			アゼナルコ	<i>Carex dimorpholepis</i>				
578			シラスゲ	<i>Carex doniana</i>				
579			ケスゲ	<i>Carex duvaliana</i>				
580			マスクサ	<i>Carex gibba</i>				
581			ホソバヒカゲスゲ(ヒメヒカゲスゲ)	<i>Carex humilis</i>				
582			カワラスゲ(タニスゲ)	<i>Carex incisa</i>				
583			ヒゴクサ(ヒゴスゲ)	<i>Carex japonica</i>				
584			ヒカゲスゲ	<i>Carex lanceolata</i>				
585			ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i>				
586			ノゲヌカスゲ	<i>Carex mitrata var. aristata</i>				
587			コジュズスゲ	<i>Carex parviflora var. macroglossa</i>				
588			ホンモンジスゲ	<i>Carex pisiformis</i>				
589			ヤワラスゲ	<i>Carex transversa</i>				
590			チャガヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i>				
591			ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius var. leirolepis</i>				
592			タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>				
593			メリケンガヤツリ	<i>Cyperus eragrostis</i>				
594			アゼガヤツリ	<i>Cyperus globosus</i>				
595			コゴメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>				
596			カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>				
597			ハマスゲ	<i>Cyperus rotundus</i>				
598			ヒメヒラテンツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>				
599			ヒデリコ	<i>Fimbristylis miliacea</i>				
600			ヤマイ	<i>Fimbristylis subbispicata</i>				
601		カンガレイ	<i>Schoenoplectus triangulatus</i>					
602		サンカクイ	<i>Schoenoplectus triquetar</i>					
603		ウキヤガラ	<i>Bolboschoenus fluviatilis</i>					
604	ラン	植-6		植-6				
605			ギンラン		<i>Cephalanthera erecta</i>			
606			植-7		植-7			
607			ササバギンラン		<i>Cephalanthera longibracteata</i>			
608			植-8		植-8			
609			サイハイラン		<i>Cremastra appendiculata</i>			
610			シュンラン		<i>Cymbidium goeringii</i>			
611			植-9		植-9			
612			植-10		植-10			
613			コ克蘭		<i>Liparis nervosa</i>			
614			オオバノトンボソウ		<i>Platanthera minor</i>			
615			ネジバナ		<i>Spiranthes sinensis var. amoena</i>			
合計 128科615種類					323種	574種		402種

聞き取り調査

神奈川県植物誌調査会に聞き取りを行った。(平成24年12月現在の情報)

既往文献

「平成12年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2)

「平成13年度自然環境実態調査業務委託報告書」(2)

注1) 種名及び分類は基本的に「環境庁植物目録」(環境庁、1988)に準拠した。

注2) 備考 植栽: タケ類やスギなど広範囲に植栽された植物 外来: 人間の活動によって外国から日本に持ち込まれ日本で野生化した
逸出: 栽培されていた植物が野外へ逃げ出したもの(現地に自然分布しない在来種も含む)

注3) 重要種の選定基準は以下のとおりである。

: 「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号、改正:平成23年5月2日 法律第37号)に基づく国の特別天然記念物及び天然記

: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日 法律第75号、改正:平成17年7月26日 法律第87号)।

: 「第4次レッドリストの公表について」(平成24年8月 環境省)における掲載種

VU: 絶滅危惧 類 NT: 準絶滅危惧

: 「神奈川県レッドデータ生物調査報告書2006」(平成18年7月 神奈川県)における掲載種

CR: 絶滅危惧 A類 EN: 絶滅危惧 B類 NT: 準絶滅危惧 VU: 絶滅危惧 類

注3) 国および県のレッドデータに記載されている重要種及び藤沢市として盗掘等が懸念される種の保全のため、公表を控えるように
配慮すべきと判断されるものについては、非公表とした。

(立木密度調査結果)

コドラート 1 コナラ群落

立木密度：2,000本/ha

面積：100 m² 傾斜：S30° 出現種数：26 地形：斜面・上部

土壌：褐色森林土 土湿：半乾 風当：中 日当：強

群落構造	高さ	植被率	優 占 種	胸高直径	種数
T1 高木層	15m	70%	コナラ	14~41cm	1
T2 亜高木層	8m	5%	-	6~13.5cm	3
S 低木層	5m	50%	ヒサカキ	~14cm	9
H 草本層	1.2m	40%	アオキ		17

階層	被度・群度	種 名	階層	被度・群度	種 名
T1	4・4	コナラ	H	2・2	アオキ
				1・1	アズマネザサ
T2	+	スダジイ		1・1	テイカカズラ
	+	ヒサカキ		1・1	キツタ
	+	コナラ		+	イヌビワ
				+	シュロ
S	2.2	ヒサカキ		+	スゲ属 sp.
	1.1	シロダモ		+	コナラ
	1・1	モチノキ		+	ヤマイタチシダ
	+	ヤマツツジ		+	ジャノヒゲ
	+	イヌビワ		+	シラカシ
	+	イヌツゲ		+	ヤツデ
	+	ウグイスカグラ		+	シュンラン
	+	キブシ		+	フジ
	+	ネズミモチ		+	ヤブマメ
				+	オニドコロ
				+	ノイバラ

立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)	立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)
1	コナラ	8.0	14.0	16	ヒサカキ	9.5	6.0
2	ヒサカキ	5.0	7.5	17	ヒサカキ	5.0	8.5
3	モチノキ	4.0	14.0	18	ヒサカキ	2.0	5.5
4	ネズミモチ	5.0	6.0	19	コナラ	15.0	41.0
5	コナラ	15.0	25.0	20	ヒサカキ	4.0	5.0
6	ヒサカキ	6.0	10.5				
7	スダジイ	7.0	13.5				
8	ヒサカキ	5.0	6.0				
9	ヒサカキ	5.0	12.0				
10	ウグイスカグラ	3.0	5.0				
11	ヒサカキ	7.0	12.0				
12	ヒサカキ	3.0	6.0				
13	ヒサカキ	5.0	10.0				
14	コナラ	15.0	25.0				
15	キブシ	5.0	5.0				

コドラート 2 コナラ群落

立木密度：2,800 本/ha

面積：100 m² 傾斜：N25° 出現種数：31 地形：斜面・上部

土壌：褐色森林土 土湿：半乾 風当：中 日当：強

群落構造	高さ	植被率	優 占 種	胸高直径	種数
T1	高木層	18m	コナラ	10~41cm	5
T2	亜高木層	-	-		
S	低木層	6m	アオキ	~12cm	19
H	草本層	0.5m	アオキ		12

階層	被度・群度	種 名	階層	被度・群度	種 名
T1	2・2	コナラ		+	ミツバアケビ
	2・2	ヤマザクラ		+	イヌツゲ
	1・1	エノキ		+	イロハモミジ
	1・1	ミズキ		+	キブシ
	+	クヌギ		+	ヤブニッケイ
				+	シュロ
S	3・3	アオキ	H	1・1	アオキ
	1・1	ケヤキ		1・1	テイカカズラ
	1・1	ムラサキシキブ		+	キツタ
	+	ムクノキ		+	スタジイ
	+	スタジイ		+	スゲ属.sp
	+	シラカシ		+	イタビカズラ
	+	シロダモ		+	イヌビワ
	+	イヌガヤ		+	ムクノキ
	+	モチノキ		+	ヤマイタチシダ
	+	ネズミモチ		+	ミツバアケビ
	+	サンショウ		+	ヤマノイモ
	+	クズ			
	+	キツタ			

立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)	立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)
1	シロダモ	4.0	5.0	16	エノキ	12.0	12.0
2	モチノキ	6.0	7.5	17	エノキ	10.0	10.0
3	コナラ	13.0	29.0	18	サンショウ	6.0	7.0
4	コナラ	12.0	22.0	19	ヤマザクラ	18.0	32.0
5	エノキ	12.0	20.0	20	ヤマザクラ	18.0	38.0
6	エノキ	12.0	24.0	21	ヤマザクラ	12.0	23.0
7	エノキ	12.0	20.0	22	ヤマザクラ	10.0	23.0
8	ヤマザクラ	10.0	20.0	23	ヤマザクラ	10.0	18.0
9	ヤマザクラ	10.0	15.0	24	ヤマザクラ	15.0	34.0
10	ヤマザクラ	9.0	12.0	25	モチノキ	4.0	6.0
11	イヌガヤ	5.0	12.0	26	ミズキ	15.0	21.0
12	ケヤキ	6.0	7.5	27	クヌギ	15.0	41.0
13	ケヤキ	6.0	11.0	28	モチノキ	6.0	6.0
14	ケヤキ	6.0	9.0				
15	エノキ	18.0	33.0				

コドラート 3 スギ・ヒノキ群落

立木密度：1,300 本/ha

面積：100 m² 傾斜：NE5° 出現種数：38 地形：斜面・下部

土壌：褐色森林土 土湿：半湿 風当：中 日当：弱

群落構造	高さ	植被率	優占種	胸高直径	種数
T1	高木層	23m	スギ	23.5～55cm	2
T2	亜高木層	7m	ムクノキ	7.5	1
S	低木層	2m	アオキ	～5.5	14
H	草本層	0.3m	アオキ・リョウメンシダ		26

階層	被度・群度	種名	階層	被度・群度	種名
T1	4・4	スギ	H	+	イワガネソウ
	1・1	ミズキ		+	ベニシダ
T2	1・1	ムクノキ	+	イノデ	
			+	ヤブラン	
S	3・3	アオキ	+	テイカカズラ	
	1・1	ヒサカキ	+	ドクダミ	
	1・1	シロダモ	+	トベラ	
	1・1	アズマネザサ	+	カラスウリ	
	1・1	スダジイ	+	ジャルヒゲ	
	+	ネズミモチ	+	ミズヒキ	
	+	シュロ	+	スゲ属.sp	
	+	カラスウリ	+	ヤブニッケイ	
	+	ヤツデ	+	ムクノキ	
	+	フジ	+	ホウチャクソウ	
	+	ムラサキシキブ	+	ヤブミョウガ	
	+	イヌビワ	+	フジ	
	+	サンショウ	+	アマチャヅル	
	+	イヌツゲ	+	アスカイノデ	
H	1・1	アオキ	+	ヤブマメ	
	1・1	リョウメンシダ	+	クサギ	
	+	コチヂミザサ	+	ネズミモチ	
			+	キツタ	

立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)	立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)
1	スギ	20.0	28.0				
2	スギ	23.0	55.0				
3	スギ	23.0	48.0				
4	ミズキ	20.0	24.0				
5	ムクノキ	7.0	7.5				
6	スギ	23.0	32.0				
7	スギ	23.0	29.0				
8	ヒサカキ	3.0	5.5				
9	スギ	23.0	27.0				
10	シロダモ	3.0	5.0				
11	スギ	23.0	23.5				
12	スギ	27.0	34.5				
13	スギ	23.0	27.0				

コドラート 4 コナラ群落

立木密度：2,800 本/ha

面積：100 m² 傾斜：S35° 出現種数：28 地形：斜面・上部

土壌：褐色森林土 土湿：半乾 風当：中 日当：強

群落構造	高さ	植被率	優 占 種	胸高直径	種数
T1	高木層	14m	コナラ	16.5~39.5cm	2
T2	亜高木層	8m	スダジイ	5~34cm	4
S	低木層	3m	シロダモ	~9.5cm	13
H	草本層	1.5m	アズマネザサ		15

階層	被度・群度	種 名	階層	被度・群度	種 名
T1	3・3	コナラ	S	+	イヌツゲ
	3・3	クヌギ			
T2	1・1	スダジイ	H	5・5	アズマネザサ
	+	ヒサカキ		1・1	ミツバアケビ
	+	コナラ		+	テイカカズラ
	+	ナツツタ		+	ヤブコウジ
S	1・1	シロダモ	+	ジャリヒゲ	
	+	アオキ	+	ナツツタ	
	+	ムラサキシキブ	+	オニシバリ	
	+	サンショウ	+	ヤブラン	
	+	モチノキ	+	ヒサカキ	
	+	キブシ	+	シロダモ	
	+	ヒイラギ	+	テイカカズラ	
	+	ミツバアケビ	+	フジ	
	+	トベラ	+	シュロ	
	+	フジ	+	スイカズラ	
	+	クズ	+	アオキ	
	+	ミズキ			

立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)	立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)
1	コナラ	10.0	16.5	16	コナラ	12.0	39.5
2	コナラ	12.0	36.0	17	コナラ	12.0	29.0
3	コナラ	10.0	30.5	18	ナツツタ	8.0	5.0
4	キブシ	3.0	6.0	19	ミズキ	5.0	6.5
5	キブシ	3.0	5.0	20	ミズキ	5.0	5.0
6	クヌギ	12.0	22.0	21	コナラ	12.0	22.5
7	ムラサキシキブ	3.0	5.0	22	コナラ	12.0	24.0
8	クヌギ	10.0	23.0	23	ヒサカキ	7.0	7.5
9	クヌギ	10.0	18.0	24	コナラ	12.0	26.5
10	イヌツゲ	3.0	9.5	25	クヌギ	14.0	27.0
11	ムラサキシキブ	3.0	8.5	26	クヌギ	10.0	19.0
12	ムラサキシキブ	3.0	8.5	27	スダジイ	8.0	34.0
13	ムラサキシキブ	3.0	7.0	28	コナラ	7.0	14.0
14	モチノキ	3.0	7.5				
15	サンショウ	2.0	6.5				

コドラート 5 スギ・ヒノキ群落

立木密度：1,700 本/ha

面積：100 m² 傾斜：NE20° 出現種数：24 地形：斜面・上部

土壌：褐色森林土 土湿：半乾 風当：中 日当：弱

群落構造	高さ	植被率	優占種	胸高直径	種数
T1	高木層	16m	スギ	20~32cm	3
T2	亜高木層	10m	ムクノキ	8~11.5cm	6
S0	低木層	4m	アオキ	~6.5	7
H	草本層	0.5m	アオキ		14

階層	被度・群度	種名	階層	被度・群度	種名
T1	3・3	スギ	H	1・1	アオキ
	2・2	ヒノキ		+	クサギ
	1・1	スダジイ		+	ベニシダ
T2				+	アズマネザサ
	2・2	ムクノキ		+	スゲ属.sp
	1・1	ヒノキ		+	ビナンカズラ
	1・1	スダジイ		+	シラカン
	+	ムベ		+	シロダモ
	+	イヌビワ		+	ナツツタ
S	+	タブノキ		+	ヤブニッケイ
				+	マルバグミ
	3・3	アオキ		+	チャ
	1・1	スダジイ		+	フジ
	+	シュロ		+	ヤブソテツ
	+	ムベ			
	+	ヒサカキ			
+	ヤツデ				
+	イヌビワ				

立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)	立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)
1	ヒノキ	15.0	26.0	16	ヒノキ	10.0	11.5
2	スダジイ	3.0	6.5	17	スダジイ	14.0	32.0
3	スギ	15.0	20.0				
4	スダジイ	6.0	5.5				
5	枯	6.0	24.0				
6	スギ	14.0	28.0				
7	イヌビワ	8.0	9.0				
8	タブノキ	7.0	17.0				
9	スギ	16.0	32.0				
10	スダジイ	7.0	10.5				
11	スダジイ	4.0	5.5				
12	スギ	15.0	25.5				
13	ムクノキ	10.0	10.0				
14	ムクノキ	10.0	8.0				
15	ムクノキ	10.0	8.5				

コドラート 6 スギ・ヒノキ群落

立木密度：1,700 本/ha

面積：100 m² 傾斜：E15° 出現種数：20 地形：斜面・下部

土壌：褐色森林土 土湿：半湿 風当：中 日当：弱

群落構造	高さ	植被率	優 占 種	胸高直径	種数
T1	高木層	23m	スギ	11.5~29cm	2
T2	亜高木層	-			
S	低木層	4m	アオキ	~5cm	6
H	草本層	0.5m	アオキ		18

階層	被度・群度	種 名	階層	被度・群度	種 名
T1	3・3	スギ	H	2・2	アオキ
	+	フジ		1・1	スタジイ
S	3・3	アオキ	+	アズマネザサ	
	2・2	スタジイ	+	イワガネソウ	
	1・1	イヌビロ	+	ベニシダ	
	+	ムクノキ	+	アマチャヅル	
	+	ヤツデ	+	フジ	
	+	シロダモ	+	イタビカズラ	
			+	シロダモ	
			+	ヤツデ	
		+	ヤマイタチシダ		
		+	リュウメンシダ		
		+	フモトシダ		
		+	イヌビロ		
		+	クサギ		
		+	オモト		
		+	アスカイノデ		
		+	ジャロビゲ		

立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)	立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)
1	スギ	20.0	18.0	16	スギ	20.0	15.0
2	スギ	23.0	23.5	17	スギ	22.0	21.0
3	スギ	22.0	24.0				
4	ムクノキ	5.0	5.0				
5	スギ	23.0	29.0				
6	スギ	22.0	20.0				
7	スギ	22.0	18.5				
8	スタジイ	4.0	6.0				
9	スタジイ	4.0	5.0				
10	スギ	22.0	29.0				
11	スタジイ	5.0	7.0				
12	スギ	20.0	19.0				
13	スギ	20.0	11.5				
14	アオキ	4.0	5.0				
15	スギ	22.0	23.0				

コドラート 8 スダジイ群落

立木密度：1,700 本/ha

面積：100 m² 傾斜：S30° 出現種数：17 地形：尾根部

土壌：褐色森林土 土湿：半乾 風当：強 日当：強

群落構造	高さ	植被率	優占種	胸高直径	種数
T1	高木層	15m	スダジイ	15～48cm	4
T2	亜高木層	10m	スダジイ・モチノキ	12～17cm	3
S	低木層	4m	モチノキ	～	9
H	草本層	1m	アオキ		7

階層	被度・群度	種名	階層	被度・群度	種名
T1	4・4	スダジイ	H	1・1	アオキ
	1・1	タブノキ		+	テイカカズラ
	+	ヒノキ		+	ムクノキ
	+	ケヤキ		+	アズマネザサ
T2	1・1	スダジイ		+	ミツバアケビ
	1・1	モチノキ		+	ヤマイタチシダ
	+	タブノキ		+	シロダモ
S	2・2	モチノキ			
	1・1	ヒサカキ			
	1・1	タブノキ			
	1・1	アオキ			
	+	シュロ			
	+	ヤツデ			
	+	ムラサキシキブ			
	+	カクレミノ			
	+	スダジイ			

立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)	立木	種名	樹高 (m)	胸高直径 (cm)
1	モチノキ	9.0	12.5	16	ケヤキ	12.0	46.0
2	モチノキ	6.0	5.5	17	タブノキ	4.0	7.0
3	スダジイ	10.0	16.0				
4	スダジイ	10.0	12.0				
5	スダジイ	15.0	37.0				
6	スダジイ	15.0	44.0				
7	モチノキ	4.0	8.5				
8	モチノキ	10.0	17.0				
9	モチノキ	2.0	7.5				
10	ヒサカキ	4.0	8.0				
11	タブノキ	12.0	18.5				
12	タブノキ	4.0	7.0				
13	ヒノキ	13.0	15.0				
14	スダジイ	15.0	48.0				
15	タブノキ	8.0	15.0				